

## 目 次

## 広島大学大学院医歯薬学総合研究科, 歯学部及び広島大学病院 (歯科領域)

○創生医科学専攻・探索医科学講座		
・生体材料学研究室	1	頁
・口腔生化学研究室	5	頁
・口腔解剖生物学的研究室	10	頁
・細菌学研究室	12	頁
○創生医科学専攻・病態探究医科学講座		
・口腔生理学研究室	18	頁
・歯科薬理学研究室	20	頁
○創生医科学専攻・先進医療開発科学講座		
・口腔顎顔面病理病態学研究室	25	頁
・歯周病態学研究室及び口腔維持修復歯科 (歯周病診療科)	31	頁
○展開医科学専攻・病態情報医科学講座		
・粘膜免疫学研究室	37	頁
・歯科放射線学研究室及び口腔再建外科 (歯科放射線診療室)	39	頁
○展開医科学専攻・病態制御医科学講座		
・口腔成長・発達生物学研究室	43	頁
・歯科麻酔学研究室及び口腔再建外科 (歯科麻酔科)	45	頁
○展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座		
・保存修復学研究室及び口腔維持修復歯科 (むし歯・変色歯診療室)	47	頁
・口腔外科学研究室及び口腔再建外科 (口腔顎顔面再建外科)	51	頁
・先端歯科補綴学研究室及び口腔維持修復歯科 (口腔インプラント診療科)	57	頁
・歯科補綴学研究室及び口腔維持修復歯科 (咬合・義歯診療科)	64	頁
・歯科矯正学研究室及び口腔健康発育歯科 (矯正歯科)	70	頁
・小児歯科学研究室及び口腔健康発育歯科 (小児歯科)	81	頁
○口腔保健・口腔保健衛生学講座		
・社会歯科保健学	87	頁
・チーム歯科医療学	91	頁
・口腔保健管理学	96	頁
○口腔保健・口腔保健工学講座		

・基礎口腔科学	100 頁
・生体材料工学	103 頁
・口腔機能修復学	106 頁
○中央研究室	109 頁
○歯系総合診療科（口腔総合診療科）	111 頁
○口腔健康発育歯科（予防歯科）	115 頁
○口腔健康発育歯科（障害者歯科）	118 頁
○特殊歯科総合治療部	120 頁
○口腔検査センター	122 頁
○歯科技工室	126 頁
○歯科衛生室	127 頁
○医療情報室	129 頁

# 創生医科学専攻・探索医科学講座（生体材料学研究室）

## （１）職員並びに学生

教授 : 岡崎 正之

助教授 : 若狭 邦男

助手 : 野村 雄二, 平田伊佐雄

大学院生 : 永金 幸治, イリヌーラ・テレウハン, 鈴木健夫, 錦織良, 増木恒平

## （２）主な研究活動

- 1 : 生体接着分子を付与した機能性生体材料の開発に関する研究
- 2 : アパタイト・コラーゲン複合体の生体親和性に関する研究
- 3 : 自己組織化単分子膜をモデルとした生体と材料の間の相互作用の研究
- 4 : 象牙質接着界面の力学特性および接着理論
- 5 : 光重合レジンフィラーの力学特性
- 6 : 内分泌攪乱物質のバイオアッセイに関する研究
- 7 : 分子レベルにおける歯質接着機構の解明に関する研究
- 8 : インプラントの表面改質に関する研究
- 9 : 多官能性モノマーの合成および重合特性に関する研究
- 10 : キャスタブルガラスセラミックスに関する研究

## （３）研究業績

### A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : SEM Observation of Collagen Fibrils Secreted from the Body Surface of Osteoblasts on a CO<sub>3</sub>apatite-collagen Sponge.:Hirata. I, Nomura Y, Tabata H, Miake Y, Yanagisawa T, Okazaki M :Dent Mater J 24,460-464, 2005.
- 2 : Advantages of TOF-SIMS Analysis of Hydroxyapatite and Fluorapatite in Comparison with XRD, HR-TEM and FT-IR.:Okazaki M, Hirata I, Matsumoto T , Takahashi J :Dent Mater J 24, 508-514, 2005.
- 3 : Association of Expression of Receptor for Advanced Glycation End Products and Invasive Activity of Oral Squamous Cell Carcinoma: Bhawal UK, Ozaki Y, Nishimura M, Sugiyama M, Sasahira T, Nomura Y, Sato F, Fujimoto K, Sasaki N, Ikeda MA, Tsuji K, Kuniyasu H, Kato Y. : Oncology 69(3),246-255, 2005
- 4 : Temporary Restorative Resins using Non-Phthalate Ester Plasticizers: N. Tanaka, Y. Nomura, W. Teshima, S. Shibata, K. Shirai, M. Fujitani, J :Dent 33, 577-583,2005.
- 5 : 象牙質接着界面の力学的モデル解析 : 池田敦治 : 広歯誌 37 巻 1 号, 42-51, 2005.

- 6 : 新世代「接着理論」の展開—破壊強さと破壊様式の定義— : 若狭邦男 : 広大歯誌 37 巻 1 号, 52-60, 2005.
- 7 : 新世代「接着理論」の展開—接着界面の定義— : 若狭邦男 : 広大歯誌 37 巻 2 号, 121-128, 2005.

## B) 総説

- 1 : 今後のバイオマテリアル研究に期待すべきもの : 岡崎正之 : バイオマテリアル 23 巻 1 号, 5-6, 2005
- 2 : LED 照射器の現状と将来性—波長および出力からみた歯科材料の硬化性について : 手島渉, 野村雄二, 名原行徳, 岡崎正之 : DE 154,30-32, 2005.
- 3 : 人工臓器—最近の進歩 人工材料 (無機) : 岡崎正之 : 人工臓器 34 巻 3 号, 180-183, 2005
- 4 : 表面プラズモン共鳴装置のためのチタンバイオセンサーの開発 : 平田伊佐雄 : DE 152 巻, 33-34, 2005

## C) 著書

- 1 : 3. 生体安全性. スタンダード歯科理工学 —歯科生体材料・歯科材料— (西山實 他編) : 岡崎正之 : 学建書院 (東京), 49-58, 2005.
- 2 : 生体に学ぶバイオセラミックス. 人体にやさしい医療材料 (中嶋英雄 編) : 岡崎正之 : クバプロ (東京), 79-87, 2005
- 3 : 歯科理工学教育用語集 (日本歯科理工学会編) : 平田伊佐雄 : 医歯薬出版株式会社 (東京), 2005

## D) その他の出版物

- 1 : 重粒子線の骨代謝におよぼす影響, 平成 16 年度放射線 : 澤尻昌彦, 野村雄二, 滝波修一, 谷本啓二 : 医学総合重粒子線がん治療装置等共同利用研究報告書, 98-99, 2005

## E) 学会発表

- 1 : ポリリン酸処理によるチタンインプラントへの細胞応答促進と成長因子吸着制御 : 前川賢治, 吉田靖弘, 平田伊佐雄, 岡崎正之, 鈴木一臣, 窪木拓男 : 第 45 回日本歯科理工学会 (東京), 2005
- 2 : 重粒子線照射アパタイト・コラーゲン複合体骨再生材料に関する研究 (第 1 報) 骨形成因子に及ぼす重粒子線照射コラーゲンの影響 : 錦織良, 野村雄二, 澤尻昌彦, 手島渉, 平田伊佐雄, 若狭邦男, 岡崎正之 : 第 45 回日本歯科理工学会 (東京), 2005
- 3 : 紫色 LED が各種光重合開始剤を用いたレジンの重合率に及ぼす影響 (第 3 報) 重合後の構成成分の溶出について : 手島渉, 野村雄二, 錦織良, 白井憲一, 田中伸征, 岡崎正之, 名原行徳 : 第 45 回日本歯科理工学会 (東京), 2005

- 4 : 新世代「接着理論」の展開 — hybrid layer のダイナミックス—: 若狭邦男, 池田敦治, 野村雄二, 平田伊佐雄, 岡崎正之, 新谷英章, 佐野英彦: 第 45 回日本歯科理工学会 (東京), 2005
- 5 : Nanoanalysis of adhesion strength in new generation biomaterials: Wakasa K: 12th International Conference of Composites/Nano Engineering(Canary Island, Spain), 2005
- 6 : 21 世紀の最新デンタルテクノロジー — 歯科医療における材料・技術の進歩発展 — 「新素材・技術の歯科への応用」: 岡崎正之: 日本歯科医学会平成 17 年度学術講演会 (上田) (基調講演), 2005
- 7: 自己組織化単分子膜の最外表面組成変化による細胞増殖への影響: 布施吉彦, 平田伊佐雄, 野村雄二, 岡崎正之: 第 46 回日本歯科理工学会 (長崎), 2005
- 8 : 新世代「接着理論」の展開 — hybrid interface のダイナミックス—: 若狭邦男, 宇野滋, 野村雄二, 平田伊佐雄, 岡崎正之: 第 46 回日本歯科理工学会 (長崎), 2005
- 9 : 表面プラズモン解析装置を用いたチタンと組織接着性因子とのリアルタイム相互解析: 平田伊佐雄, 野村雄二, 若狭邦男, 岡崎正之, 吉田靖弘, 鈴木一臣, 前川賢治, 窪木拓男: 第 46 回日本歯科理工学会 (長崎), 2005
- 10 : 還元剤固定化フィラーを用いたコンポジットレジン の物性: 増木恒平, 野村雄二, 柴田暁輝, 平田伊佐雄, 名原行徳, 岡崎正之: 第 46 回日本歯科理工学会 (長崎), 平成 17 年 9 月 16 日
- 11 : 炭酸含有量の異なるアパタイトの結晶学的性質: 林英貴, 横田理絵, 平田伊佐雄, 野村雄二, 若狭邦男, 岡崎正之: 第 46 回日本歯科理工学会 (長崎), 2005
- 12 : Effect of Fluoride on the Proliferation of Osteoblasts: Okazaki M, Hirata I: XXVIth ISFR (Wiesbaden, Germany), 2005.
- 13 : Effect of CO<sub>3</sub>apatite Contents on the Porosity of CO<sub>3</sub>Ap-collagen Sponges: Hirata I, Tieliewuhan Y, Itoh M, Okazaki M: ABC2005 (Sapporo, Japan), 2005.
- 14 : 21 世紀の最新デンタルテクノロジー — 歯科医療における材料・技術の進歩発展 — 「新素材・技術の歯科への応用」: 岡崎正之: 日本歯科医学会平成 17 年度学術講演会 (長崎) (基調講演), 2005
- 15 : 重粒子線の骨代謝におよぼす影響: 澤尻昌彦, 野村雄二, 滝波修一, 谷本啓二: 日本放射線影響学会 (広島), 2005
- 16 : Concept of Biomaterials: Okazaki M: The 53th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research (Okayama, Japan), 2005.
- 17 : Osteoblast Behavior at the Surface of CO<sub>3</sub>Ap-collagen Sponges: Okazaki M, Tieliewuhan Y, Hirata I: Bioceramics 18 (Kyoto, Japan), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 文部省科学研究費補助金 (基盤研究(B)) (継続): 岡崎正之歯槽骨再建・再生を目指した高次炭酸アパタイト・コラーゲン複合体の創製 (課題番号 14370634), 1,400 千円
- 2 : 文部省科学研究費補助金 (萌芽研究) (新規): 岡崎正之: エナメル質形成機構の解明に関する結晶学的アプローチと応用 (課題番号 15659465), 900 千円

- 3 : 文部省科学研究費補助金 (若手(B)) (継続) : 平田伊佐雄, チタンと組織接着性因子とのナノレベルでのリアルタイム相互作用解析 (課題番号 16791191) , 1,300 千円
- 4 : 住友財団 (新規) : 平田伊佐雄, 生体適合性を評価するためのナノレベル表面特性精密制御基板の作製と解析 (助成番号 040573), 1,300 千円
- 5 : 委任経理金 (東和科学株式会社) : 野村雄二 , 1,000 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

- 1 : Tieliewuhan Y, Hirata I, Sasaki A, Minagi H, Okazaki M : Osteoblast proliferation behavior and bone Formation on and in CO<sub>3</sub>apatite-collagen sponges reinforced with a porous hydroxyapatite frame. : 日本歯科理工学会論文賞, 2005

#### (6) 特許

## 創生医科学専攻・探索医科学講座（口腔生化学研究室）

### （１）職員並びに学生

教授 : 加藤幸夫  
助教授 : 能城光秀  
講師 : 河本健  
助手 : 藤本勝巳  
大学院生 : 本田清昌, 上嶋太一  
事務補佐員 : 倉本美佐乃  
技能補佐員 : 阪恵美

### （２）主な研究活動

- 1 : 間葉系幹細胞の基礎と臨床
- 2 : 軟骨細胞の分化機構
- 3 : 分子時計系の解明

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : Alveolar bone marrow as a cell source for regenerative medicine: differences between alveolar and iliac bone marrow stromal cells : Matsubara T, Suardita K, Ishii M, Igarashi A, Oda R, Nishimura M, Saito M, Nakagawa K, Yamanaka K, Miyazaki K, Shimizu M, Tsuji K, Nakamura K, Kato Y : Journal of Bone and Mineral Research 20(3), 399-409, 2005.
- 2 : Molecular Markers Distinguish Bone Marrow Mesenchymal Stem Cells from Fibroblasts. : Ishii M, Koike C, Igarashia, A, Yamanaka K, Pan H, Higashi Y, Kawaguchi H, Sugiyama M, Kamata N, Iwata T, Matsubara T, Nakamura K, Kurihara H, Tsuji K, and Kato Y : Biochemical and Biophysical Research Communication. 332(1), 297-303, 2005. (2005 年間ベスト 10 ダウンロード認定論文)
- 3 : Tissue-specific disruption of rhythmic expression of DEC1 and DEC2 in Clock mutant mice. : Noshiro M, Furukawa M, Honma S, Kawamoto T, Hamada T, Honma K, Kato Y : Journal of Biological Rhythms 20(5), 404-418, 2005.
- 4 : Clock gene expression in the submandibular glands. Journal of Dental Research : Furukawa M, Kawamoto T, Noshiro M, Honda K, Sakai M, Fujimoto K, Honma S, Honma K, Hamada T, Kato Y : 84(12), 1193-1197, 2005.
- 5 : Mechanical regulation of terminal chondrocyte differentiation via RGD-CAP : Ohno S, Tanaka N, Uekin M, Honda K, Tanimoto K, Yoneno K, Ohno-Nakahara M, Fujimoto K, Kato Y, Tanne K : Connective Tissue Research 46, 227-234, 2005.
- 6 : Collocational Analysis of Life Science English (2) Lists of common collocates of carry, confer, contribute, detect,

elucidate, give, know, obtain, raise, understand : Kawamoto T, Fujita N, Kaneko S, Morren B & Ohtake H :  
Studia Humana et Naturalia39, 55-88, 2005.

## B) 総説

- 1: 自家骨髄間葉系幹細胞移植による歯周組織再生療法の開発: 河口浩之、林秀昭、水野智仁、藤岡大助、内田雄士、平地昭雄、毛利吉宏、岩田倫幸、足利新、藤田剛、長谷川直彦、日野孝宗、吉野宏、辻紘一郎、加藤幸夫、栗原英見: 再生医療 4(1),69-77,2005.
- 2: 高分子ヒアルロン酸による半透過膜/包帯形成: HA-プロテオグリカン-フィブロクチンネットワークの傷害組織に対する保護作用-進化と保存: 加藤幸夫、西村正宏、中村茂夫: 臨床リウマチ 17(2),113-117,2005.
- 3: 歯周組織の細胞移植法 骨髄間葉系幹細胞を用いた歯周組織再生療法: 河口浩之、林秀昭、水野智仁、藤田剛、長谷川直彦、柴秀樹、中村茂夫、日野孝宗、吉野宏、栗原英見、田中英夫、木村昭郎、辻紘一郎、加藤幸夫: CINICAL CALCIUM15(7), 1197-1202, 2005.

## C) 著書

## D) その他の出版物

- 1: 再生医療 羊膜細胞、骨や神経に ツーセル (広島)・広島大事業化 : 加藤幸夫、ツーセル: 中国新聞 2005年4月21日付
- 2: 歯周病治療で共同研究 ツーセル・米大手 8年後の商品化狙う: 加藤幸夫、ツーセル: 中国新聞 2005年5月10日付
- 3: 広島大など歯周病治療簡単手術で米社と再生技術開発で提携: 加藤幸夫、ツーセル: 日経新聞 2005年5月10日付
- 4: 歯周再生 米社と共同開発へ 広島大学発ベンチャー企業: 加藤幸夫、ツーセル: 日本歯科新聞 2005年5月17日付
- 5: ニッポンのキラ星企業 ツーセル 骨・軟骨の再生 実用化を追求 細胞培養などで環境整備: 加藤幸夫、辻紘一郎、ツーセル: 日経産業新聞 2005年8月30日付

## E) 学会発表

- 1: 再生医療における移植用間葉系幹細胞の検定の重要性と検定方法の検討: 五十嵐晃, 河本健, 栗原英見, 河口浩之, 東幸仁, 鎌田伸之, 杉山勝, 邵金昌, 辻紘一郎, 加藤幸夫: 第4回日本再生医療学会総会 (吹田), 2005
- 2: 下顎骨からヒト間葉系幹細胞を採取・増幅するための骨髄液の質の評価方法: 山中克之, 五十嵐晃, 坂井将典, 吉松真一郎, 栗原英見, 河口浩之, 東幸仁, 杉山勝, 辻紘一郎, 加藤幸夫: 第4回日本再生医療学会総会 (吹田), 2005
- 3: ヒト間葉系幹細胞の特徴: 未分化状態での骨、軟骨、脂肪関連遺伝子の発現及びVD3に対する応答性: 原真依子, 瀬越和美, 邵金昌, 五十嵐晃, 石井正和, 辻紘一郎, 加藤幸夫: 第



- 4 回日本再生医療学会総会（吹田），2005（ポスター発表）
- 4：間葉系幹細胞の増幅・分化に適した生分解性 Scaffold（ポリ乳酸系）の表面構造：山中克之，山本克史，坂井裕大，金子正，辻紘一郎，加藤幸夫：第 4 回日本再生医療学会総会（吹田），2005（ポスター発表）
  - 5：間葉系幹細胞における時計遺伝子(DEC、Per、Bmal など)の発現：増殖と老化の影響：中島歩，河本健，本田清昌，五十嵐晃，藤本勝巳，能城光秀，加藤幸夫：第 18 回日本軟骨代謝学会（豊中）2005
  - 6：成長板における遺伝子発現の概日リズム：網羅的解析：本田清昌，河本健，上田泰己，能城光秀，藤本勝巳，佐藤冬樹，古川匡恵，中島歩，西村正宏，尾田良，中村茂夫，橋本誠一，加藤幸夫：第 18 回日本軟骨代謝学会（豊中），2005
  - 7：骨髄由来間葉系幹細胞の骨再生誘導能に関する検討（優秀ポスター賞受賞）：天井薫，河田俊嗣，加来真人，山中克之，加藤幸夫，辻紘一郎，藤田正，當麻愉衣子，丹根一夫：第 29 回日本口蓋裂学会総会・学術大会（東京），2005
  - 8：分子時計の解析 1：in vitro での検討（間葉系幹細胞）：中島歩，河本健，本田清昌，五十嵐晃，藤本勝巳，能城光秀，田原栄俊，加藤幸夫：日本組織培養学会第 78 回大会（広島），2005
  - 9：分子時計の解析 2：in vivo での検討（肋軟骨成長板）：本田清昌，河本健，上田泰己，能城光秀，藤本勝巳，中島歩，西村正宏，中村茂夫，橋本誠一，加藤幸夫：日本組織培養学会第 78 回大会（広島），2005
  - 10：bHLH 転写因子 DEC1 による間葉系幹細胞の分化制御：岩田倫幸，河本健，五十嵐晃，藤本勝巳，能城光秀，辻紘一郎，加藤幸夫，栗原英見：日本組織培養学会第 78 回大会（広島），2005
  - 11：骨髄間葉系幹細胞を用いた歯周組織に関する研究：長谷川直彦，水野智仁，平地昭雄，毛利吉宏，武田克浩，河口浩之，辻紘一郎，加藤幸夫，栗原英見：日本組織培養学会第 78 回大会（広島），2005
  - 12：ライフサイエンス辞書：英語での研究論文作成を支援する辞書システムⅡ：河本健，藤田信之，鵜川義弘，竹内浩昭，竹腰正隆，大武博，金子周司：第 38 回広島大学歯学会総会（広島），2005
  - 13：PubMed 英文コーパス検索システムを使った共起表現辞典作製の試み：河本健，藤田信之，鵜川義弘，竹内浩昭，竹腰正隆，金子周司，大武博：日本医学英語教育学会第 8 回総会（東京），2005
  - 14：間葉系幹細胞の遺伝子発現パターン解析Ⅰ：清水正和，河本健，五十嵐晃，阪恵美，山中克之，西村正宏，辻紘一郎，加藤幸夫：第 15 回中国・四国骨代謝研究会（岡山），2005
  - 15：間葉系幹細胞の遺伝子発現パターン解析Ⅱ：阪恵美，河本健，清水正和，五十嵐晃，西村正宏，辻紘一郎，加藤幸夫：第 15 回中国・四国骨代謝研究会（岡山），2005
  - 16：軟骨での概日リズム 分子機構の追究：本田清昌，河本健，中島歩，藤本勝巳，西村正宏，尾田良，中村茂夫，能城光秀，加藤幸夫：第 23 回日本骨代謝学会（大阪），2005（優秀演題賞受賞）
  - 17：ヒト骨髄間葉系幹細胞培養系において時計遺伝子発現の概日リズムの周期は正確に再現できる：中島歩，河本健，本田清昌，藤本勝巳，能城光秀，加藤幸夫：第 23 回日本骨代謝学

会（大阪），2005（ポスター発表）

- 18：唾液腺の概日リズム 各種時計遺伝子の発現に及ぼす Clock と Cry 遺伝子の変異および絶食の影響：河本健，能城光秀，田清昌，藤本勝巳，加藤幸夫：第 47 回歯科基礎医学会（仙台），2005
- 19：軟骨概日リズム遺伝子の同定：本田清昌，河本健，藤本勝巳，西村正宏，能城光秀，加藤幸夫：第 47 回歯科基礎医学会（仙台），2005（ポスター発表）
- 20：軟骨分化の概日リズム 網羅的解析：本田清昌，河本健，山田陸裕，上田泰己，能城光秀，中島歩，藤本勝巳，西村正宏，尾田良，中村茂夫，小島知子，橋本誠一，加藤幸夫：第 28 回日本分子生物学会（福岡），2005（ポスター発表）

#### F) 招待講演

- 1：Hyaluronan increases elasticity of cartilage matrix molecular weight-dependently and induces poorly permeable matrix around chondrocytes. : Y. Kato : 4th International Symposium on mechanobiology on cartilage and chondrocyte (Budapest-Hungary), 2005
- 2：骨髄間葉系幹細胞の不均質性/均質性および遺伝子発現パターン：加藤幸夫：日本組織培養学会第 78 回大会（広島），2005
- 3：ヒアルロン酸マトリックスの特徴（弾力性と半透膜形成）を利用した関節炎治療：加藤幸夫、西村正宏、中村茂夫：日本炎症再生医学会シンポジウム（東京），2005
- 4：Characterization of bone marrow mesenchymal stem cells using DNA microarrays: Application to regenerative medicine : Y. Kato : The 4<sup>th</sup> Scientific Meeting in Dentistry ( Surabaya, Indonesia) , 2005
- 5：間葉系幹細胞による再生医療 幹細胞としての特異的遺伝子発現と臨床応用：加藤幸夫：第 7 回鹿児島骨代謝研究会（鹿児島），2005
- 6：ヒト腸骨、顎骨/歯槽骨、大腿骨由来の間葉系幹細胞の遺伝子発現パターンの特徴：加藤幸夫，五十嵐晃，河本健，清水正和，Pan Haiou，阪恵美，金輪真佐美，辻紘一郎：口腔顔面頭蓋再生研究国際シンポジウム（岡山），2005
- 7：ヒト間葉系幹細胞のマーカー遺伝子を用いた品質検定：加藤幸夫：ナショナルバイオリソーププロジェクト「細胞」シンポジウム（東京），2005
- 8：間葉系幹細胞の分子マーカー、軟骨分化に伴う遺伝子発現の変化および軟骨概日リズム遺伝子の同定：加藤幸夫：第 14 回長崎骨粗鬆症研究会（長崎），2005
- 9：関節組織でのヒアルロン酸の生物利用および弾力維持作用：加藤幸夫，西村正宏，中村茂夫：第 33 回日本リウマチ・関節外科学会（東京），2005
- 10：間葉系幹細胞 移植用細胞としての現実と幹細胞としての本質：加藤幸夫：第 4 回再生歯科シンポジウム（東京），2005

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1：基盤研究(A)：加藤幸夫，能城光秀，河本健，藤本勝巳，：骨・軟骨の分子時計系の解明とその標的遺伝子の同定（課題番号：17209060），15,500 千円

- 2：厚生科研：土屋利江，加藤幸夫：ヒトゲノム・再生医療等研究事業 感染リスクの排除、同一性の確保、免疫反応、がん化等の抑制、及び培地等による有害作用の防止に関する研究。(H17-再生-022), 2,250 千円
- 3：(独) 科学技術振興機構 研究成果活用プラザ広島 事業化のための育成研究：加藤幸夫：歯周病と骨疾患に対する細胞治療の事業化・幹細胞治療法のシステム化, 27,800 千円
- 4：中外製薬(株)：加藤幸夫：ヒアルロン酸による保護膜形成メカニズムについての研究, 4,000 千円
- 5：パイオリソースプロジェクト：加藤幸夫：間葉系幹細胞の寄託, 6,000 千円
- 6：(独) 科学技術振興機構：加藤幸夫：歯周病と骨疾患に対する細胞治療の事業化, 100 千円
- 7：(株) ツーセル：加藤幸夫：骨・軟骨組織の再生療法, 3,780 千円
- 8：大正富山医薬品(株)：加藤幸夫：1,000,000 円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

- 1：Ishii M, Koike C, Igarashia A, Yamanaka K, Pan H, Higashi Y, Kawaguchi H, Sugiyama M, Kamata N, Iwata T, Matsubara T, Nakamura K, Kurihara H, Tsuji K, and Kato Y：Molecular Markers Distinguish Bone Marrow Mesenchymal Stem Cells from Fibroblasts：優秀論文賞受賞(2005 年間ベスト 10 ダウンロード認定論文)：Biochemical and Biophysical Research Communication 332(1),297-303,2005.
- 2：本田清昌，河本健，中島歩，藤本勝巳，西村正宏，尾田良，中村茂夫，能城光秀，加藤幸夫：軟骨での概日リズム 分子機構の追究：優秀演題賞受賞 第 23 回日本骨代謝学会(大阪)，2005

#### (6) 特許

- 1：加藤幸夫，河本健，辻紘一郎，五十嵐晃，清水正和：分子マーカーを用いた間葉系幹細胞の識別方法及びその利用(特願 2005-104563 号、2005) (出願人：科学技術振興機構、広島大学、(株) ツーセル)
- 2：二川浩樹，西村正宏，加藤幸夫，辻紘一郎：動物幹細胞培養用無血清培地(特願 2005-223242 号、2005) (出願人：(株) ツーセル、二川浩樹、加藤幸夫)
- 3：加藤幸夫，金輪真佐美，五十嵐晃，原真依子，辻紘一郎：間葉系幹細胞の均質性識別方法、その方法を利用して得られる均質間葉系幹細胞(特願 2005-276565 号、2005) (出願人：広島大学、(株) ツーセル)
- 4：加藤幸夫，河本健，本田清昌：軟骨生成促進剤(特願 2005-363796 号、2005) (出願人：広島大学、(株) ツーセル)

## 創生医科学専攻・探索医科学講座

### (口腔解剖生物学的研究室)

#### (1) 職員並びに学生

教授 : 内田 隆  
助教授 : 里田隆博 (3月末まで)  
助手 : 樋山伸二、山西恵美子  
大学院生 : Sarker Shishir Kumar

#### (2) 主な研究活動

- 1 : エナメル質形成機構の形態学的・分子生物学的研究
- 2 : 咀嚼運動を制御する脳内ニューロンの形態学的研究
- 3 : 骨形成機構の分子生物学的研究
- 4 : 歯髄幹細胞に関する分子生物学的研究
- 5 : 解剖学教育用模型の考案

#### (3) 研究業績

##### A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Cellular and molecular phenotypes osteogenic cells isolated from the medullary bone of the hen in vitro: Hiyama S, Sugiyama T, Kusuhara S, Uchida T, Comp : Biochem Physiol, Part B Biochem Mol Biol 142(2), 419-425, 2005.
- 2 : In vitro differentiation of dental epithelial progenitor cells through epithelial-mesenchymal interactions : Morotomi T, Kawano S, Toyono T, Kitamura C, Terashita M, Uchida T, Toyoshima K, Harada H : Arch Oral Biol 50(8),695-705, 2005.
- 3 : Induction of mononuclear cell infiltration into liver by Japanese herbal medicine. : Matsuda T, Uzuki M, Uchida T, Nakamura M, Tai M, Shiraishi N, Sasaki N, Yakushiji F, Tomiyama J, Suzuki S, Fujiki K, Taniguchi K. : Drugs Exp Clin Res 31(5-6),207-214, 2005.
- 4 : Ultrastructural images of enamel tufts in human permanent teeth. : Amizuka N, Uchida T, Nozawa-Inoue K, Kawano Y, Suzuki A, Li M, Nasu M, Kojima T, Sakagami N, Ozawa H, Maeda T. : J Oral Biosci 47(1),33-41, 2005.
- 5 : Control of oro-facio-lingual movements by the substantia nigra pars reticulata: high-frequency electrical microstimulation and GABA microinjection findings in rats. : Inchul P, Amano N, Satoda T, Murata T, Kawagishi S, Yoshino K, Tanaka K. : Neuroscience 134(2),677-89,2005.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : ラット切歯エナメル芽細胞におけるシースプロテイン (アメロプラスチン) の発現 : 内田 隆, 山西恵美子, 樋山伸二, 林田浩一, Shishir K Sarker, 里田隆博 : 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (富山) 2005.
- 2 : 中耳の機能説明に重点を置いた鼓室模型の制作 : 里田隆博, 樋山伸二, 山西恵美子, 内田 隆 : 第 110 回日本解剖学会総会・全国学術集会 (富山) 2005.
- 3 : ラット切歯成長端におけるシースプロテイン (アメロプラスチン) の発現 : 内田隆, 山西恵美子, 樋山伸二, Shishir K Sarker, 里田隆博 : 第 47 回歯科基礎医学会総会 (仙台) 2005.
- 4 : エナメル質形成不全を呈する突然変異ラットにおけるエナメル芽細胞の形態変化とエナメルタンパク質の局在について : 大沢 大, 鈴木啓展, 監物新一, 斉藤 力, 内田 隆, 大島勇人 : 第 47 回歯科基礎医学会総会 (仙台) 2005.
- 5 : Stage dependent expression of ameloblastin isoforms during amelogenesis : Ravindranathi R M H, Devarajani A, Uchida T : 83rd General Session & Exhibition of the IADR (Baltimore, USA), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金骨 (基盤研究 (C)) 継続 : 歯の発生におけるエナメル蛋白の分子多様性と相互作用の意義に関する分子生物学的研究, (課題番号 16591826), 1,700 千円
- 2 : 科学研究費補助金骨 (若手研究 (B)) 継続 : 骨代謝調節のメカニズムへの性ホルモンとその標的因子の役割に関する分子生物学的研究, (課題番号 16791107), 1,400 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許

## 創生医科学専攻・探索医科学講座（細菌学研究室）

### （１）職員並びに学生

教授	: 菅井 基行
助教授	: 小松澤 均
助手	: 小原 勝, 藤原 環
特別研究員	: 應原 一久
産学連携研究員	: 加藤 文紀
技術補佐員	: 西裕美 (3月31日まで), 武田愛子 (3月31日まで), 富田優子, 横木貴子 (4月18日～), 貴田直美 (4月18日～), 佐伯直美 (4月18日～)
大学院生	: 井倉正枝 D4, 澤田純子 D4, 森岡志摩 M2
研修生	: Panida Thanasrisung (東京医科歯科大)

### （２）主な研究活動

- 1 : 細菌細胞壁溶解酵素に関する研究
- 2 : MRSA の薬剤耐性機序と分子疫学に関する研究
- 3 : シグナル伝達分子を修飾する細菌毒素の研究
- 4 : 抗菌ペプチドの作用および耐性メカニズムのついての研究
- 5 : 歯周病原菌外膜タンパク質の病原因子としての機能についての研究
- 6 : ブドウ球菌属細菌の比較ゲノム解析
- 7 : 黄色ブドウ球菌の病原性についての比較ゲノム解析ならびに網羅的遺伝子発現解析

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : Mutation analysis of the Histidine residues in the glycylglycine endopeptidase ALE-1.: Fujiwara T, Aoki S, Komatsuzawa H, Nishida T, Ohara M, Suginaka H, Sugai M : Journal of Bacteriology 187, 480-487, 2005
- 2 : Susceptibilities of periodontopathogenic and cariogenic bacteria to antibacterial peptides;  $\beta$ -defensins and LL37, produced by human epithelial cells. : Ouhara K, Komatsuzawa H, Yamada S, Shiba H, Fujiwara T, Ohara M, Sayama K, Hashimoto K, Kurihara H, Sugai M : Journal of Antimicrobial Chemotherapy 55, 888-896, 2005
- 3 : Staphylococcus hyicus exfoliative toxins selectively digest porcine desmoglein 1 : Fudaba Y, Nishifuji K, L O Andresen, Yamagushi T, Komatsuzawa H, Amagai M, Sugai M :

Microbial Pathogenesis 39, 171-176, 2005

- 4 : Identification and molecular characterization of an N-acetylmuramyl-L-alanine amidase S1e1 involved in cell separation of Staphylococcus aureus : Kajimura J, Fujiwara T, Yamada S, Suzawa Y, Nishida T, Oyamada Y, Hayashi I, Yamagishi J, Komatsuzawa H, Sugai M : Molecular Microbiology 58 (8), 1087-1101, 2005
- 5 : The clinical manifestations of staphylococcal scalded skin syndrome depends on the serotypes of exfoliative toxins : Yamasaki O, Yamaguchi T, Sugai M, C F ois Arnaud, F ois Vandenesch, J Etienne, G Lina : Journal of Clinical Microbiology 43, 1890-1893, 2005
- 6 : New mechanisms of skin innate immunity : ASK-1-mediated keratinocyte differentiation regulates the expression of  $\beta$ -defensins, LL37, and TLR2. : Sayama K, Komatsuzawa H, Yamasaki K, Shirakata Y, Hanakawa Y, Ouhara K, Tokumaru S, X Dai, Tohyama M, Peter ten Dijke, Sugai M, Ichijo H, Hashimoto K : European Journal of Immunology 35, 1886-1895, 2005
- 7 : Isoglandine maleate influences the response of gap junctional intercellular communication and IL-8 of human gingival epithelial cells following periodontopathogenic bacterial challenge : Uchida Y, Shiba H, Komatsuzawa H, Hirono C, Ashikaga A, Fujita T, Kawaguchi H, Sugai M, Shiba Y, Kurihara H : Biochem Biophys Res Commun 333, 502-507, 2005
- 8 : Induction of keratinocyte migration via transactivation of the EGF receptor by the antimicrobial peptide LL-37 : Tokumaru S, Sayama K, Shirakata Y, Komatsuzawa H, Ouhara K, Hanakawa Y, Yahata Y, Xiuju Dai, Tohyama M, Nagai H, L Yang, Higashiyama S, Yoshimura A, Sugai M, Hashimoto K : Journal of Immunology 175Oct 1 ,175(7), 4662-8
- 9 : Cloning of swine desmoglein 1 and its direct proteolysis by Staphylococcus hyicus exfoliative toxins isolated from pigs with exudative epidermitis : Nishifuji K, Fudaba Y, Yamaguchi T , Iwasaki T, Sugai M and Amagai M : Veterinary Dermatology 16, 315-323, 2005

## B) 総説

- 1 : Bacterial toxins that control cell cycle progression : E Oswald, J P Nougayrede, F Taieb, M Sugai : Current Opinion in Microbiology 8, 1-9, 2005
- 2 : Cytotoxic Distending toxin and its implication in periodontal diseases : M Ohara, M Sugai : Journal of Oral Biosciences 47, 18-24, 2005

## C) 著書

- 1 : 口腔微生物学・免疫学 第2版 ; 浜田茂幸編: 菅井基行: 医歯薬出版 (東京)  
1章 微生物学の基礎 4.微生物の遺伝 2-39, 4章 感染症の予防と治療 3.感染症と化学療法 192-204, 2005
- 2 : 微生物感染学 -新しい感染の科学- ; 光山正雄編: 菅井基行: 南山堂 (東京), 「黄色ブドウ球菌」, 124-133, 2005.

- 3 : 細菌はなぜ病気を起こすのか ゲノムの特徴：林英夫編：菅井基行：クバプロ（東京）「主として化膿を起こす細菌のゲノム-ブドウ球菌：皮膚や粘膜に常在する化膿性細菌」 110-122,2005.

#### D) その他の出版物

- 1 : 水疱性膿痂疹とブドウ球菌性熱症様症候群(SSSS)：菅井 基行：最新医学 vol.60, No.2,48-53, 2005
- 2 : 伝染性膿痂疹と黄色ブドウ球菌：菅井 基行, 山口 隆之：化学療法の領域 vol.21 No.3, 83-90, 2005
- 3 : 齧蝕原因菌選択的溶解酵素の臨床応用を目指して：菅井 基行：太田川（広島市歯科医師会報）
- 4 : MRSA, VISA, VRSA：菅井 基行、小松澤 均：化学療法の領域 vol. 21(9), 1275-1281, 2005
- 5 : 伝染性膿痂疹（とびひ）診断キット：菅井 基行：日経ビジネス10月号別冊技術シーズ・レター ライフサイエンス分野 7, 2005.

#### E) 学会発表

- 1 : ブタ皮膚炎原因菌 *Staphylococcus hyicus* のゲノム解析： 山口隆之、札幌康之、山下敦士、平川英樹、藤英博、Lars Ole Andresen、久原哲、服部正平、林哲也、菅井基行：第7回ワークショップ 微生物ゲノム研究のフロンティア（千葉）, 2005.
- 2 : 洗口剤における抗菌効果の検討： 森岡志摩、小松澤均、菅井基行：第20回広島県歯科衛生士会研究発表会（広島）, 2005.
- 3 : Complete genome sequence of *Staphylococcus hyicus*, a pathogen causing exudative epidermitis in animals. : M Sugai, T Yamaguchi, Y Fudaba ,In Recent advance in bacterial genomics; new insights into the host-parasite interaction: 第78回日本細菌学会総会（東京）, 2005.
- 4 : 表皮剥脱毒素産生黄色ブドウ球菌臨床分離株の毒素産生性と agr タイピング：角本法子、小松澤均、藤原環、山口隆之、香西克之、菅井基行：第78回日本細菌学会総会（東京）, 2005.
- 5 : 細胞壁溶解酵素 Aml は *S. mutans* および *S. sobrinus* を特異的に溶解する： 富田優子、小松澤均、藤原環、吉村剛、香西克之、菅井基行：第78回日本細菌学会総会（東京）, 2005.
- 6 : 黄色ブドウ球菌選択的溶解酵素 ALE-1 cell wall targeting domain の基質特異性：藤原環、小松澤均、菅井基行：第78回日本細菌学会総会（東京）, 2005.
- 7 : 黄色ブドウ球菌のグルコサミン-6 リン酸合成に関与する因子についての解析：小松澤均、藤原環、西裕美、山田作夫、菅井基行：第78回日本細菌学会総会（東京）, 2005.
- 8 : *Actinobacillus actinomycetemcomitans* 外膜タンパク質 Omp100 は抗菌ペプチド発現



を誘導する：應原一久、小松澤均、栗原英見、菅井基行：第78回日本細菌学会総会（東京），2005.

- 9 : The complete genome sequence of *Staphylococcus hyicus* JCM2423, a pathogen causing exudative epidermitis in pig : M Sugai, T Yamaguchi, A Yamashita, H Hirakawa, Y Fudaba, H Toh, L O Andresen, S Kuhara, M Hattori, T Hayashi : Human Genome Meeting (京都), 2005.
- 10 : とびひ患者由来黄色ブドウ球菌の表皮剥脱毒素産生性と agr タイピング : 角本法子、小松澤均、藤原環、香西克之、菅井基行 : 第38回歯学会総会奨励賞セッション (広島), 2005.
- 11 : *Streptococcus mutans* の産生する細胞壁溶解酵素 Aml の菌種特異的な活性に関する研究 : 吉村 剛、香西 克之 (会員外 小松澤均、藤原環、林幾江、山田作夫、菅井基行) : 第43回日本小児歯科学会大会総会 (新潟), 2005.
- 12 : *Staphylococcus aureus* fibronectin-binding protein is a major inducer of the expression of the antimicrobial peptides in human keratinocyte. : K Ouhara, H Komatsuzawa and M Sugai : 5<sup>th</sup> Awaji Forum Infection and Immunity, Awaji Yumebutai, Hyogo (兵庫), 2005.
- 13 : 黄色ブドウ球菌由来 fibronectin binding protein はヒト皮膚由来上皮細胞における抗菌ペプチド誘導因子である : 應原 一久、小松澤 均、菅井 基行 : 第50回ブドウ球菌研究会 (岡山), 2005.
- 14 : 黄色ブドウ球菌由来 fibronectin binding protein はヒト皮膚由来上皮細胞における抗菌ペプチド誘導因子である : 應原 一久、小松澤 均、菅井 基行 : 第58回日本細菌学会中国・四国支部総会 (高知), 2005.
- 15 : Cdt のラット歯周組織に及ぼす影響 : 小原 勝、宮内 睦美、高田 隆、菅井 基行 : 第58回日本細菌学会中国・四国支部総会 (高知), 2005.
- 16 : 泌尿器科感染臨床分離 *Pseudomonas aeruginosa* のカルバペネム、ニューキノロン薬剤耐性機構の検討 : 甲田俊太郎、小原勝、板羽秀之、繁田正信、碓井亞、菅井基行 : 第18回広島感染症研究会 (広島); 2005.
- 17 : 広島地区における院内分離 *Pseudomonas aeruginosa* の薬剤耐性に関する検討  
*Staphylococcus aureus* の多様な病原性を説明するゲノム情報基盤の確立-現状報告 : 菅井基行 : 第18回広島感染症研究会 (広島), 2005.
- 18 : *S. hyicus* 由来新規表皮剥脱毒素群の結晶学的研究 : 山本賢治、札幌康之、山口隆之、菅井基行、片柳克夫 : 日本薬学会 (東京), 2005.
- 19 : 非貪食細胞に侵入した黄色ブドウ球菌のオートファジーによる排除機構の検討 : 桜井敦朗、中川一路、船尾純子、山口隆之、菅井基行、浜田茂幸 : 第78回日本細菌学会総会 (東京) 2005.

#### F) 招待講演・シンポジスト・その他の講演

- 1 : 伝染性膿痂疹における抗生剤の是非-細菌学からの提言- : 菅井 基行 : 多摩皮膚科専門医会 (東京) 2005.
- 2 : Complete genome sequence of *Staphylococcus hyicus*, a pathogen causing exudative

- epidermitis in animals. : M Sugai, T Yamaguchi, Y Fudaba : In Recent advance in bacterial genomics; new insights into the host-parasite interaction : 第78回日本細菌学会総会 (東京) 2005.
- 3 : Staphylococcal blistering skin diseases – emergence of C-MRSA in the community : M Sugai : International Symposium Molecular Bases Underlying Microbial Infections and the Host Responses, Hitotsubashi Memorial Hall (Tokyo) 2005
- 4 : 細菌感染時における宿主のプライマリーディフェンス : シンポジウム ホストパラサイトインターフェイス研究-基礎から応用へ- : 小松澤 均 : 第47回歯科基礎医学会 (仙台) 2005.
- 5 : Actinobacillus actinomycetemcomitans 外膜 タンパクの病原性 : 小松澤 均 : 愛知学院大学歯学部 招待講演 (名古屋) 2005.
- 6 : Actinobacillus actinomycetemcomitans cytolethal distending toxin : 菅井 基行 : 第53回国際歯科研究学会日本部会 (JADR) シンポジウム 歯周病原細菌の病原因子 (岡山) 2005.
- 7 : 産科研セミナー : 菅井 基行 (広島) 2005.
- 8 : 虫歯菌に選択的な溶菌酵素とその利用 : 菅井 基行 : 基行科学技術振興機構主催新技術説明会 キャンパスイノベーションセンター : (東京) 2005
- 9 : peptides in human gingival keratinocytes : 小松澤 均 : セミナー at Kawai Lab. In Forsyth Institute: (Boston) 2005.
- 10 : 解析に基づく院内感染原因菌の病原性評価のための情報基盤の確立 特定領域研究「ゲノム」4領域 05年度合同班会議 : 菅井 基行、後藤 直正 : (富山) 2005.
- 11 : 産科研セミナー : 小松澤 均 : (広島) 2005.
- 12 : Antimicrobial peptides in human gingival keratinocytes : 小松澤 均 : セミナー 金沢大学医学部細菌学 清水研究室 (金沢) 2005.
- 13 : 新しい虫歯予防法開発の試み : 菅井 基行 : 平成17年度広島大学公開講座 (歯学部) in 米子(鳥取) 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 基盤研究 C : 菅井基行 : 歯周病原性細菌病原因子の統合的解析
- 2 : 基盤研究 C : 小松澤均 : 黄色ブドウ球菌の糖代謝系の薬剤感受性に及ぼす影響についての研究
- 3 : 若手研究 B : 藤原環 : 口腔レンサ球菌の産生する自己溶解酵素 Aml に関する研究
- 4 : 特定研究(2) C : 菅井基行 : 表皮剥脱毒素スーパーファミリーの作用機構に関する研究
- 5 : 特定研究 : 菅井基行 : ゲノム解析に基づく院内感染原因菌の病原性評価のための情報基盤の確立
- 6 : 知的クラスター研究成果の特許化および育成課題 : 菅井基行 : 虫歯原因菌選択的溶解酵素の実用化

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

- 1 : 菅井 基行、小松澤 均: 齧蝕原因菌に選択的な殺菌剤、齧蝕原因菌を殺菌する方法 (特願 2005-216099)
  
- 2 : 菅井 基行、山口 隆之、小原 勝 他: T 細胞刺激活性を有するポリペプチド、それをコードするポリヌクレオチド、ポリペプチドの結晶、およびそれらの用途 (特願 2005-227294)

## 創生医科学専攻・病態探究医科学講座(口腔生理学研究室)

### (1) 職員並びに学生

教授：柴 芳樹

助教授：廣野 力

助手：杉田 誠, 岩佐 佳子

大学院生：大石 洋江, 新谷 隆英, 金剛 寛泰, 藤田 和也, 原 久美子, 丸山 たかね

### (2) 主な研究活動

- 1：味覚器・唾液腺等の機能と制御
- 2：分泌制御とイオンチャネル・トランスポーター機能の分子生理学的解析
- 3：味覚受容機構
- 4：口腔粘膜増殖分化制御と細胞間相互作用
- 5：咀嚼・嚥下と自律神経活動

### (3) 研究業績

#### A) 原著

- 1: Genetic tracing shows segregation of taste neuronal circuitries for bitter and sweet : Sugita M and Shiba Y: Science 309,781-785, 2005.
- 2 : Irsogladine maleate influences the response of gap junctional intercellular communication and IL-8 of human gingival epithelial cells following periodontopathogenic bacterial challenge : Uchida Y, Shiba H, Komatsuzawa H, Hirono C, Ashikaga A, Fujita T, Kawaguchi H, Sugai M, Shiba Y, Kurihara H : Biochem Biophys Res Commun. 333 ,502-507, 2005.

#### B) 総説

#### C) 著書

#### D) その他の出版物

#### E) 学会発表

- 1 : A  $\text{HCO}_3^-$  current induced by parasympathomimetic stimulation in rat parotid ductal cells : C Hirono : The Gordon Research Conferences Salivary Glands & Exocrine Secretion (Ventura), 2005.

- 2: カルバコールによるラット耳下腺導管細胞電流応答の多様性: 広野 力, 杉田 誠, 岩佐佳子, 柴 芳樹: 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 3: 細胞間連絡阻害剤のラット耳下腺アミラーゼ分泌に及ぼす影響: 金剛 寛泰, 広野 力, 杉田 誠, 岩佐 佳子, 柴 芳樹: 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 4: ラット耳下腺導管の重炭酸イオン輸送駆動機構: 廣野 力: 「動植物細胞における炭酸ガス/ 重炭酸イオンの輸送系」研究会 (名古屋), 2005.
- 5: Segregation of taste neuronal circuitries for bitter and sweet revealed by genetic tracing. : Sugita M and Shiba Y: The 3<sup>rd</sup> International Symposium on Molecular and Neural Mechanisms of Taste and Olfactory Perception (Fukuoka), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) : 柴 芳樹 : ギャップ・ジャンクション細胞間連絡による唾液分泌制御機構の解明, 1,200 千円
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) : 廣野 力 : 変異体の機能解析による唾液腺 $\text{Na}^+$ - $\text{K}^+$ - $2\text{Cl}^-$ 共輸送体活性制御機構の解明, 2,300千円
- 3: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) : 杉田 誠 : 発光工学的な神経回路トレース法を用いた味覚識別神経回路の構築機構の解明, 2,000千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許

## 創生医科学専攻・病態探究医科学講座（歯科薬理学研究室）

### （１）職員並びに学生

教授：土肥敏博

助教授：森田克也

助手：森岡徳光，北山友也

大学院生：濱本正弘，Md. Joynal Abdin，松本厚枝，本山直世，宋 莉秋，貴船幸基

### （２）主な研究活動

- 1：細胞機能発現の原点ともなるべき細胞内  $Ca^{2+}$  動態について、特に cyclic ADP-ribose を中心に、神経伝達物質、ホルモン及び唾液の分泌ならびに好中球活性化における役割の解析
- 2：細胞膜輸送蛋白、特に神経伝達物質トランスポーター、ヌクレオシドトランスポーターの神経疾患、脊髄痛覚伝導、薬物作用、薬物中毒、好中球活性化などにおける役割の解析
- 3：中枢神経系における痛覚伝導機構、神経因性疼痛発症機序など疼痛とその制御に関する研究
- 4：神経幹細胞を含む神経系前駆細胞の分化制御及び同細胞の口腔領域疾患への応用に関する研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1：Role of C-terminal region in the functional regulation of rat serotonin transporter(SERT): Mochizuki H, Amano T, Seki T, Matsubayashi H, Mitsuhashi C, Morita K, Kitayama S, Dohi T, Mishima K and Sakai N : Neurochem Int 46, 93-105, 2005.
- 2：Transport of dopamine and levodopa and their interaction in COS-7 cells heterologously expressing monoamine neurotransmitter transporters and in monoaminergic cell lines PC12 and SK-N-SH. : Hashimoto W, Kitayama S, Kumagai K, Morioka N, Morita K and Dohi T : Life Sci 76, 1603-1612, 2005.
- 3：Inhibition of serotonin transporters by cocaine and meprylcaine through 5-HT<sub>2C</sub> receptor stimulation facilitates their seizure activities. : Morita K, Hamamoto M, Arai S, Kitayama S, Irifune M, Kawahara M, Kihira K and Dohi T : Brain Res 1057, 153-160, 2005.
- 4：cDNA cloning of a mannose-binding lectin-associated serine protease (MASP) gene from hagfish (Eptatretus burgeri) : Song L, Takamune K, Sugawara Y and Fujii T : Zoolog. Sci 22, 897-904, 2005.

- 5 : 歯科衛生士学生における口腔清掃中止実習からの教育的効果の検討 : 松本厚枝, 原久美子, 森岡志摩, 竹本俊伸, 赤川安正 : 日本歯科医学教育学会雑誌 20, 333-338, 2005.

## B) 総説

- 1 : Inhibition of monoamine neurotransmitter transporters and central nervous system stimulation induced by synthetic local anesthetics and cocaine.: a comparative review-update. : Dohi T, Kitayama S and Morita K : Curr. Med. Chem.-Central Nervous System Agents 5, 89-100, 2005.
- 2 : ヒトの歯における侵害受容の分子機構 : 大原 紫, 岡村絵里花, 佐久間友梨, 三次翔, 山崎佐知子, 山本健太, 北山友也, 土肥敏博 : 広島大学歯学雑誌 37,1-10,2005.
- 3 : 脊髄痛覚伝達制御における $\alpha 7$ 型ニコチン受容体の役割 : 土肥敏博, 森岡徳光, 森田克也, 北山友也, 北山滋雄, 中嶋敏勝 : 喫煙科学研究財団研究年報, 620-625, 2005.

## C) 著書

## D) その他の出版物

## E) 学会発表

- 1 : 局所麻酔薬痙攣発現感作におけるセロトニン神経の役割 : 濱本正弘, 森田克也, 森岡徳光, 北山友也, 土肥敏博 : 第 24 回日本歯科薬物療法学会 (東京), 2005.
- 2 : 合成局所麻酔薬効果に対する各種血管収縮薬の影響 : 濱本正弘, 森田克也, 森岡徳光, 北山友也, 土肥敏博 : 第 24 回日本歯科薬物療法学会 (東京), 2005.
- 3 : ヒトノルエピネフリントランスポーター機能発現におけるC末端領域の関与 : 十川千春, 十川紀夫, 熊谷 圭, 森田克也, 土肥敏博, 小野寺憲治, 北山滋雄 : 第 78 回日本薬理学会年会 (横浜), 2005.
- 4 : 非ステロイド性抗炎症薬による multidrug resistance proteins 活性阻害を介した MPP<sup>+</sup>誘発性細胞死の増悪効果 : 森岡徳光, 北山友也, 森田克也, 北山滋雄, 土肥敏博 : 第 78 回日本薬理学会年会 (横浜), 2005.
- 5 : 摂食障害における神経再生医療の可能性 : 北山友也, 宋 莉秋, 森田克也, 土肥敏博 : 第 78 回日本薬理学会年会 (横浜), 2005.
- 6 : パーキンソンモデル動物に認められる摂食障害に対する神経再生療法の可能性 : 北山友也, 宋 莉秋, 森田克也, 土肥敏博 : 第 20 回神経組織の成長・再生・移植研究会学術大会 (大阪), 2005.
- 7 : 抗うつ薬慢性投与下におけるノルアドレナリントランスポーター機能に対する局所麻酔薬の影響 : 宋 莉秋, 北山友也, 森田克也, 北山滋雄, 土肥敏博 : 第 107 回日本薬理学近畿部会 (金沢), 2005.
- 8 : パーキンソンモデル動物に発現する摂食障害ならびに行動障害 : 北山友也, 宋 莉秋, 森田 克也, 土肥敏博 : 第 107 回日本薬理学近畿部会 (金沢), 2005.

- 9: デシプラミン慢性投与によるノルアドレナリントランスポーター機能抑制に及ぼす局所麻酔薬の影響: 宋 莉秋, 北山友也, 森田克也, 新井茂昭, 木平健治, 土肥敏博: 第 27 回日本生物学的精神医学会・第 35 回日本神経精神薬理学会合同年会 (大阪), 2005.
- 10: パーキンソンモデル動物に発症する摂食障害: 北山友也, 宋莉秋, 森田克也, 土肥敏博: 第 27 回日本生物学的精神医学会・第 35 回日本神経精神薬理学会合同年会 (大阪), 2005.
- 11: Tactile allodynia induced by PAF and glutamate is mediated through NO/cGMP/G-kinase cascade in spinal cord. : Dohi T, Morita K, Abdin M J, Morioka N and Kitayama T : The 7th World Congress on Inflammation. (Melbourne), 2005.
- 12: Cyclic ADP-ribose is an intracellular messenger for fMLP-induced intracellular Ca<sup>2+</sup> rise and migration of human neutrophils. : Dohi T, Morita K, Morioka N and Kitayama T : The 7th World Congress on Inflammation. (Melbourne), 2005.
- 13: 脊髄痛覚伝達制御におけるα7型ニコチン受容体の役割: 土肥敏博, 森岡徳光, 森田克也, 北山友也, 北山滋雄, 中嶋敏勝: 平成 16 年度助成研究会発表会 (東京), 2005.
- 14: 副腎クロマフィン細胞における cyclic ADP-ribose (cADPR) の細胞内 Ca<sup>2+</sup>動員機構とカテコールアミン遊離における役割: 森田克也, 北山友也, 北山滋雄, 土肥敏博: 第 9 回活性アミンワークショップ (広島), 2005.
- 15: 抗うつ薬デシプラミン慢性投与によるノルアドレナリントランスポーター蛋白発現変動に対する局所麻酔薬の影響: 北山友也, 宋 莉秋, 森田克也, 土肥敏博: 第 9 回活性アミンワークショップ (広島), 2005.
- 16: 抗うつ薬デシプラミン慢性投与によるノルアドレナリントランスポーターの機能変動に対する局所麻酔薬の影響: 宋 莉秋, 北山友也, 森田克也, 北山滋雄, 土肥敏博: 第 9 回活性アミンワークショップ (広島), 2005.
- 17: セロトニントランスポーター取込み制御機構における C 末端領域の役割: 望月英毅, 天野 託, 関 貴弘, 松林弘明, 光畑智恵子, 森田克也, 北山滋雄, 土肥敏博, 酒井規雄: 第 9 回活性アミンワークショップ (広島), 2005.
- 18: インターロイキン-1 の副腎クロマフィン細胞における P/Q タイプ Ca<sup>2+</sup>チャネルの阻害: 森田克也, 北山滋雄, 土肥敏博: 生体機能と創薬シンポジウム (広島), 2005.
- 19: 非ステロイド性抗炎症薬による MPP<sup>+</sup>誘発性細胞死増悪作用メカニズムの解析: 森岡徳光, 北山友也, 森田克也, 北山滋雄, 土肥敏博: 生体機能と創薬シンポジウム (広島), 2005.
- 20: 局所麻酔薬作用と局所血流量との関係: 濱本正弘, 森田克也, 土肥敏博: 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 21: 血小板活性化因子(PAF)のマウス脊髄腔内投与による痛覚過敏およびアロディニアの誘発: 森田克也, 森岡徳光, Abdin M J, 北山滋雄, 土肥敏博: 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 22: 非ステロイド性抗炎症薬による MPP<sup>+</sup>誘発性細胞死増悪効果に対する multidrug resistance proteins の役割: 森岡徳光, 森田克也, 北山滋雄, 土肥敏博: 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.



- 23 : パーキンソンモデル動物に認められる摂食障害と細胞移植の影響 : 北山友也, 森田克也, 土肥敏博 : 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 24 : 神経因性疼痛モデルにおける機械的アロディニアに対する nicotine の鎮痛作用 : Abdin M.J., 森岡徳光, 森田克也, 土肥敏博 : 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 25 : 唾液とクロモグラニン A の分泌量に対する口腔リラクセーションの影響 : 松本厚枝, 北山友也, 森岡徳光, 森田克也, 土肥敏博 : 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 26 : Cyclic GMP mediates the signaling for allodynia induced by platelet-activating factor (PAF) in spinal cord in mice. : Dohi T, Morita K, Morioka N, Abdin M J and Kitayam T : 2005 Sino-Japanese Conference on Stomatology, (Shanghai), 2005.
- 27 : Development of tactile allodynia and thermal hyperalgesia by intrathecally administered platelet-activating factor in mice. : Dohi T, Morita K, Morioka N and Abdin M J : 2005 Sino-Japanese Conference on Stomatology, (Shanghai), 2005.
- 28 : Molecular identification and characterization of the human dopamine transporter splice variant. : Mitsuhashi C, Sogawa C, Kozai K, Morita K, Dohi T and Kitayama S : 35th Annual Meeting of Society for Neuroscience, (Washington DC), 2005.
- 29 : Tissue-specific expression of the human norepinephrine transporter splice variants : Kitayama S, Sogawa C, Kumagai K, Morita K and Dohi T : 35th Annual Meeting of Society for Neuroscience, (Washington DC), 2005.
- 30 : Desipramine慢性投与によるNET蛋白質細胞内局在変動に対するLidocaineの拮抗作用 : 宋 莉秋, 北山友也, 森田克也, 土肥敏博 : 第108回日本薬理学会近畿部会 (西宮), 2005.
- 31 : 局所微小循環におよぼす局所麻酔薬の影響 : 濱本正弘, 森田克也, 土肥敏博 : 第 25 回日本薬物療法学会 (横浜), 2005.
- 32 : 新規 Ca<sup>2+</sup>動員物質 cyclic ADP-ribose の脊髄腔内投与による痛覚過敏およびアロディニアの誘発 : 本山直世, 森田克也, 森岡徳光, 富士谷盛興, 土肥敏博 : 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 33 : 神経損傷誘発疼痛モデルにおける機械的アロディニアに対する nicotine の鎮痛効果 : Abdin M J, 森岡徳光, 森田克也, 土肥敏博 : 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 34 : 口腔リラクセーション実施による唾液中のクロモグラニン A および IgA の測定 : 松本厚枝, 北山友也, 森岡徳光, 森田克也, 土肥敏博 : 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 35 : 笑気は培養ウシ副腎髄質クロマフィン細胞からのアセチルコリン刺激によるカテコラミン遊離を抑制する : 清水 慶隆, 森田 克也, 入船 正浩, 寶田 貫, 遠藤 千恵, 土肥 敏博, 河原 道夫 : 第 33 回日本歯科麻酔学会総会・学術講演会 (鹿児島), 2005.
- 36 : 痛覚伝導における cyclic ADP-ribose の関与 : 本山直世, 富士谷盛興 : 第 123 回日本歯科保存学会 2005 年度秋季学会 (東京), 2005.

37: 脊髄の痛覚伝導における血小板活性化因子(PAF)の役割—ATP, グルタミン酸, cGMPの関与: 土肥敏博, 森田克也, 森岡徳光, 北山友也: 生理学研究所研究会 (岡崎), 2005.

#### F) シンポジウム

- 1: 脊髄の痛覚シグナル伝達における血小板活性化因子(PAF)の役割: 土肥敏博, 森田克也, 森岡徳光, Abdin M.J., 北山友也, 北山滋雄, 仲田義啓: 第78回日本薬理学会年会 (横浜), 2005.
- 2: デシプラミンによるノルアドレナリントランスポーター機能抑制に対するリドカインの拮抗作用: 北山友也, 宋 莉秋, 森田克也, 土肥敏博: 第33回薬物活性シンポジウム (新潟), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究(B)(2)) 継続: 土肥敏博, 神経因性疼痛発症機構における血小板活性化因子(PAF)の役割とその制御. (課題番号 15390562), 3,800 千円
- 2: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)): 森岡徳光, 脊髄内神経—グリアネットワークによる疼痛制御機構 —ATP 受容体 P2X7 の役割—. (課題番号 17791322), 1,900 千円
- 3: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)): 北山友也, 中枢神経再生医療の口腔領域疾患治療への応用. (課題番号 17791323), 2,000 千円
- 4: 科学研究費補助金 (萌芽研究) 継続: 土肥敏博, 機械的刺激に対する細胞応答を利用した口腔組織の健康法に関する研究. (課題番号 16659512); 800 千円
- 5: 喫煙科学研究財団助成金: 土肥敏博, 脊髄痛覚伝達制御における  $\alpha 7$  型ニコチン受容体の役割, 2,000 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許

## 創生医科学専攻・先進医療開発科学講座（口腔顎顔面病理病態学研究室）

### （1）職員並びに学生

教授 : 高田 隆

助教授 : 宮内睦美

講師 : 工藤保誠 (学内)

助手 : 北川雅恵, 佐藤 淳 (海外出張)

大学院生 : 斉藤彰久, 上田浩大, 岡 広子, 北島正二郎, 飯塚新二, 坂本宜世子,  
B.S.M.Samadarani Siriwardena, 川添祐亮

研究生 : Mohammad Reza Keikhaee

### （2）主な研究活動

- 1 : 口腔扁平上皮癌の増殖・進展に関する分子病理学的研究
- 2 : 歯周組織の再生機構に関する実験病理学的研究
- 3 : 歯周組織の破壊機構に関する実験病理学的研究
- 4 : 歯原性および唾液腺腫瘍の細胞分化と診断基準に関する研究

### （3）研究業績

#### A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Small interfering RNA targeting of S phase kinase-interacting protein 2 inhibits cell growth of oral cancer cells by inhibiting p27 degradation.: Kudo Y, Kitajima S, Ogawa I, Kitagawa M, Miyauchi M, Takata T : Molecular Cancer Therapy 4, 471-476, 2005.
- 2 : Establishment of cementoblast cell lines from rat cementum lining cells by transfection with temperature-sensitive simian virus-40 T-antigen gene. : Kitagawa M, Kitagawa S, Kudo Y, Ogawa I, Miyauchi M, Tahara H, Ide T, Takata T : Bone 37, 220-226, 2005.
- 3 : Overexpression of Aurora-A potentiates HRAS-mediated oncogenic transformation and is implicated in oral carcinogenesis : Tatsuka M, Sato S, Kitajima S, Suto S, Kawai H, Miyauchi M, Ogawa I, Maeda M, Ota T, Takata T : Oncogene 24, 1122-1127, 2005.
- 4 : Vascular endothelial growth factor plays an important autocrine/paracrine role in the progression of osteoarthritis. : Tanaka E, Aoyama J, Miyauchi M, Takata T, Hanaoka K, Iwabe T, Tanne K : Histochemistry and Cell Biology 123, 275-281, 2005.

- 5 : Aurora-B/AIM-1 kinase activity is involved in Ras-mediated cell transformation. : Kanda A, Kawai H, Suto S, Kitajima S, Sato S, Takata T, Tatsuka M : *Oncogene* 24, 1122-1127, 2005.
- 6 : The effect of experimental cartilage damage and impairment and restoration of synovial lubrication on the friction in the temporomandibular joint. : Tanaka E, Iwabe T, Dalla-Bona D A, Kawai N, van Eijden T, Tanaka M, Kitagawa S, Takata T, Tanne K : *Journal of Orofacial Pain* 19, 331-336, 2005.
- 7 : 広範に papillary-cystic な組織構築を示し、細胞異型の明瞭な領域を伴った耳下腺原発上皮筋上皮性癌の 1 例 : 小川郁子, 西田俊博, 平川治男, 宮内睦美, 高田 隆 : *診断病理* 22, 231-234, 2005.
- 8 : 剖検により原発性肺癌の舌転移と考えられた 1 例 : 小野重弘, 信森 剛, 米田進吾, 東森秀年, 二宮嘉昭, 小川郁子, 高田 隆, 鎌田伸之 : *広島大学歯学会雑誌* 37, 82-86, 2005.
- 9 : 先天歯に口蓋垂裂を伴った 1 例 : 小野重弘, 東川晃一郎, 宮内美和, 信森 剛, 重石英生, 瀧雅行, 西 裕美, 米田進吾, 齊藤彰久, 鎌田伸之 : *小児口腔外科* 15, 1-4, 2005.
- 10 : 金属アレルギー被疑患者に対するパッチテストと元素分析の有効性 : 牧平清超, 二川浩樹, 内山裕絵, 安倍倉仁, 貞森紳丞, 小川郁子, 田中武志, 高田 隆, 香西克之, 濱田泰三 : *広島歯誌* 33,32-36, 2005.

## B) 総説

- 1 : Down-regulation of Cdk inhibitor p27 in oral squamous cell carcinoma : Kudo Y, Kitajima S, Ogawa I, Miyauchi M, Takata T : *Oral Oncology* 41, 105-116, 2005.
- 2 : 歯原性腫瘍の病理診断 : 小川郁子, 宮内睦美, 工藤保誠, 高田 隆 : *病理と臨床* 23, 1186-1193, 2005.
- 3 : 唾液腺腫瘍の分子病理 : 小川郁子, 北川雅恵, 工藤保誠, 宮内睦美, 高田 隆 : *日本唾液腺学会誌* 46, 57-68, 2005.
- 4 : WHO による歯原性腫瘍の新たな分類 : 武田泰典, 高田 隆 : *病理と臨床* 23, 867-873, 2005.

## C) 著書

- 1 : Calcifying Ghost Cell Odontogenic Carcinoma. WHO Classification of Head and Neck Tumours. Chapter 6 Odontogenic Tumours. : Takata T, Lu Y : IARC (Lyon) , 293, 2005.
- 2 : Calcifying Epithelial Odontogenic Tumour. WHO Classification of Head and Neck Tumours. Chapter 6 Odontogenic Tumours. : Takata T, Slootweg P J : IARC (Lyon) , 302-303, 2005.
- 3 : 歯周組織の解剖学, 非プラーク誘導性炎症性歯肉病変, 鑑別疾患 : 歯周組織の腫瘍と嚢胞 ; Lindhe 臨床歯周病学とインプラント 第 4 版 (岡本 浩監訳) : 高田 隆 : クインテッセンス出版株式会社 (東京) , 3-49, 287-316, 317-337, 2005.
- 4 : 免疫異常 : スタンダード病理学 (下野正基編) : 高田 隆, 工藤保誠 : 学建書院 (東京) , 160-189, 2005.
- 5 : 頭頸部癌取り扱い規約 (日本頭頸部癌学会編) : 高田 隆 : 金原出版 (東京) , 46-61, 2005.

6 : 腺様嚢胞癌, 多型低悪性度腺癌 : 唾液腺腫瘍アトラス (森永正二郎編) : 高田 隆 : 金原出版 (東京) , 96-105, 2005.

#### D) その他の出版物

#### E) 学会発表

- 1 : 歯原性腫瘍の WHO 新分類 : 高田 隆 : 日本口腔外科学会第 26 回教育研修会 (新潟) , 2005.
- 2 : スライドセミナー 唾液腺腫瘍 : 小川郁子, 高田 隆 : 第 16 回日本口腔病理学会総会・学術大会 (盛岡) , 2005.
- 3 : Molecular analyses of oral cancer in Korea and Japan. : Kudo Y, Ogawa I, Hong S D, Lim J J, Miyauchi M, Lee J I, Hong S P, Takata T : The 2nd Meeting of Asian Society of Oral and Maxillofacial Pathology (Soul), 2005.
- 4 : Disorder of Aurora A degradation in oral cancer. : Kitajima S, Kudo Y, Sato S, Ogawa I, Miyauchi M, Tatsuka M, Takata T : The 2nd Meeting of Asian Society of Oral and Maxillofacial Pathology (Soul), 2005.
- 5 : Histologic diversity and differential diagnosis of epithelial-myoepithelial carcinoma. : Ogawa I, Miyauchi M, Kitagawa M, Kitajima S, Kudo Y, Takata T : The 2nd Meeting of Asian Society of Oral and Maxillofacial Pathology (Soul), 2005.
- 6 : Gene expression in sub-cloned PC-1 and ANK mutant periodontal cells. : Sato S, Foster B L, Swanson E C, Miyauchi M, Takata T, Somerman M J : The 83rd General Session & Exhibition of the IADR (Baltimore), 2005.
- 7 : Platelet-derived growth factor enhances the proliferation and matrix synthesis of the temporomandibular joint disc-derived cells. : Hanaoka K, Tanaka E, Takata T, Miyauchi M, Aoyama J, Kawai N, Dalla-Bona D, Yamano E, Tanne K : The 5th Asian-Pacific Orthodontic Conference (Beijing), 2005.
- 8 ヒトセメント芽細胞株の樹立 : 北川雅恵, 岡 広子, 齋藤彰久, 小川郁子, 宮内陸美, 田原栄俊, 井出利憲, 高田 隆 : 第 48 回春季日本歯周病学会学術大会 (長崎) , 2005.
- 9 : 細胞の増殖, 分化に及ぼすヘパリンおよびその誘導体の影響 : 齋藤彰久, 吉田真希, 中田朝子, 岡 広子, 北川雅恵, 小川郁子, 宮内陸美, 高田 隆 : 第 48 回春季日本歯周病学会学術大会 (長崎) , 2005.
- 10 : ヒト歯髄細胞の増殖・分化に対するエナメルマトリクスタンパクの影響 : 上田浩大, 北川雅恵, 齋藤彰久, 宮内陸美, 小川郁子, 尾田 良, 富士谷盛興, 高田 隆 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島) , 2005.
- 11 : 口腔癌における Aurora-A の分解異常 : 北島正二郎, 工藤保誠, 達家雅明, 小川郁子, 宮内陸美, 高田 隆 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島) , 2005.
- 12 : 合成アメロプラスチンペプチドを用いた歯周・骨再生療法の開発に関する研究 : 吉田真希, 中田朝子, 飯塚新二, 岡 広子, 北川雅恵, 北川尚嗣, 工藤保誠, 小川郁子, 宮内陸美, 高田 隆 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島) , 2005.

- 13：骨芽細胞の増殖分化に及ぼすヘパリンおよびその誘導体の影響：齋藤彰久，吉田真希，中田朝子，岡 広子，北川雅恵，小川郁子，宮内陸美，高田 隆：第 38 回広島大学歯学会総会（広島），2005.
- 14：口腔癌における Aurora A の分解異常：北島正二郎，工藤保誠，達家雅明，小川郁子，宮内陸美，高田 隆：平成 17 年度先端歯学国際教育研究ネットワーク・サマースクール（三浦），2005.
- 15：口腔癌の浸潤に関わる新規因子 Periostin の同定：工藤保誠，小川郁子，北島正二郎，北川雅恵，シリワルデナ サマダラニ，宮内陸美，高田 隆：第 16 回日本口腔病理学会（盛岡），2005.
- 16：セメント芽細胞の増殖および機能発現機構に関する検討 III. PGE2 刺激に対するセメント芽細胞 OCCM-30 の応答性と PGE 受容体の役割について：岡 広子，宮内陸美，古庄寿子，齋藤彰久，北川雅恵，坂本宜也子，飯塚新二，小川郁子，野口和行，石川 烈，高田隆：第 48 回秋季日本歯周病学会学術大会（札幌），2005.
- 17： $\gamma$ -グルタミルトランスペプチダーゼと歯槽骨破壊：宮内陸美，川添祐亮，坂本宜也子，岡広子，北川雅恵，石塚保行，新飯田俊平，高田 隆：第 47 回歯科基礎医学会学術大会（仙台），2005.
- 18：ヒトセメント芽細胞株の樹立とその増殖分化に対する代表的生理活性物質の影響：北川雅恵，飯塚新二，坂本宜也子，川添祐亮，岡 広子，齋藤彰久，工藤保誠，小川郁子，宮内陸美，高田 隆：第 47 回歯科基礎医学会学術大会（仙台），2005.
- 19：ヒト歯髄細胞に対するエナメルマトリックスタンパクの影響について：上田浩大，北川雅恵，齋藤彰久，飯塚新二，宮内陸美，小川郁子，尾田 良，富士谷盛興，高田 隆：第 47 回歯科基礎医学会学術大会（仙台），2005.
- 20：口腔癌における Aurora-A の分解異常：北島正二郎，工藤保誠，小川郁子，宮内陸美，達家雅明，高田 隆：第 47 回歯科基礎医学会学術大会（仙台），2005.
- 21：Aurora A の分解機構と口腔癌における異常：北島正二郎，工藤保誠，小川郁子，宮内陸美，達家雅明，高田 隆：第 28 回日本分子生物学会年会（博多），2005.
- 22：デンタルキッド・プロジェクト「歯医者さんになろう！」：二川浩樹，天野秀昭，里田隆博，竹本俊伸，村山 長，杉山 勝，玉本光弘，原 久美子，下江宰司，藤本比登美，松本厚枝，田嶋英明，仁井谷善恵，小川郁子，森田敬子，小原 勝，末井良和，高田 隆，菅井基行，谷本啓二，岡本哲治，栗原英見：第 44 回広島県歯科医学会第 89 回広島大学歯学会例会（広島），2005.
- 23：金属アレルギー被疑患者に対するパッチテスト，金属元素分析の有効性：牧平清超，二川浩樹，内山裕絵，重岡美代子，中野 香，三次浩之，小川郁子，高田 隆，濱田泰三：第 44 回広島県歯科医学会第 89 回広島大学歯学会例会（広島），2005.
- 24：Cdt のラット歯周組織に及ぼす影響：小原 勝，宮内陸美，高田 隆，菅井基行：第 58 回細菌学会中四国支部総会（高知），2005.
- 25：オーロラと細胞がん化シグナル：達家雅明，河合秀彦，神田暁史，前田雅代，太田隆英，佐藤 淳，北島正二郎，工藤保誠，宮内陸美，小川郁子，高田 隆：第 64 回日本癌学会学術総会（札幌），2005.
- 26：大腸癌における survivin の細胞質と核での発現の違いによる臨床病理学的検討：嶋本文雄，

- 田中信治, 岡志郎, 斉広営, 青木絵里子, 高橋亮史, 達家雅明, 高田隆: 第 64 回日本癌学会学術総会(札幌), 2005
- 27: 電磁波の生体における影響: 嶋本文雄, 斉 広営, 小川仁志, 慶 徳進, 高田 隆, 達家雅明: 県立広島大学開学記念式(広島), 2005.
- 28: 放射線被曝生体内マーカー: 低分子量G蛋白制御因子 LyGDI の放射線生物学的利用: 達家雅明, 数藤志帆, 森 俊雄, 新田由美子, 佐藤 淳, 高田 隆, 周 新文, 太田隆英: 第 48 回日本放射線影響学会大会(広島), 2005.
- 29: 耳下腺腫瘍(Epithelial-myoepithelial carcinoma): 小川郁子, 西田俊博, 木村隆広, 宮内陸美, 高田 隆: 日本病理学会中国四国支部学術集会 第 86 回スライドカンファレンス(高松), 2005.
- 30: 下顎骨腫瘍(Ameloblastic carcinoma, secondary type (intraosseous)): 北川雅恵, 齋藤彰久, 岡 広子, 宮内陸美, 虎谷茂昭, 李 薫, 小川郁子, 高田 隆: 第 16 回日本口腔病理学会総会・学術大会(盛岡), 2005.
- 31: 下顎骨腫瘍(Squamous odontogenic tumor): 飯塚新二, 岡 広子, 中山宏文, 小川郁子, 虎谷茂昭, 李 薫, 芳村喜道, 宮内陸美, 高田 隆: 日本病理学会中国四国支部学術集会 第 88 回スライドカンファレンス(岡山), 2005.
- 32: 唾液腺腫瘍(Acinic cell carcinoma): 北川雅恵, 齋藤彰久, 工藤保誠, 小川郁子, 杉田敦郎, 高田 隆: 第 7 回唾液腺腫瘍病理研究会(東京), 2005.
- 33: 嚢胞化を伴った oncocytic carcinoma の 1 例: 小川郁子, 西田俊博, 木村隆広, 齋藤彰久, 北川雅恵, 宮内陸美, 高田 隆: 第 50 回日本唾液腺学会(東京), 2005..
- 34: 下顎前歯部に生じた歯原性扁平上皮腫の 1 例: 福井康人, 谷 亮治, 虎谷茂昭, 小川郁子, 林 大祐, 芳村喜道, 高田 隆, 岡本哲治: 第 53 回日本口腔科学会中国四国地方部会(高松), 2005.
- 35: 顎下部に発生した木村氏病の 1 例: 宮内美和, 島末 洋, 重石英生, 小川郁子, 杉山 勝, 宮内陸美, 鎌田伸之: 第 50 回日本口腔外科学会総会(大阪), 2005.
- 36: 歯原性腫瘍 WHO 新分類: 高田 隆: 鹿児島頭頸部病理カンファレンス(鹿児島), 2005.
- 37: 歯周病の新しい診断・治療法開発を目指した探索研究: 高田 隆: 東京医科歯科大学歯周セミナー(東京), 2005.
- 38: きれいな歯肉がよみがえる, 丈夫な骨が生き返る-最新の歯周組織再生療法のご紹介-: 高田 隆: 広島大学公開講座(米子), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 学研究費補助金(基盤研究(B)(1)) 新規: 高田 隆(代表): アメロプラスチン合成ペプチドによる新規骨治療薬の開発, 7,300 千円
- 2: 科学研究費補助金(萌芽研究) 新規: 高田 隆(代表): PC-1 を標的としたセメント質形成機構の解明と歯周再生療法開発に関する萌芽研究, 1,700 千円/学研究費補助金(萌芽研究) 新規: 高田 隆(代表), PC-1 を標的としたセメント質形成機構の解明と歯周再生療法開発に関する萌芽研究, 1,700 千円
- 3: 科学研究費補助金(基盤研究(C)(2)) 継続: 宮内陸美(代表): 歯周組織破壊過程と Toll-

- like receptors を介する自然免疫機構, 1,400 千円
- 4: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規: 工藤保誠 (代表): 口腔癌における SKP2 および Cks1 タンパクの過剰発現のメカニズムの解明, 1,900 千円
  - 5: 厚生労働科学研究費補助金 継続: 高田 隆 (分担): 骨及び関節疾患の診断・治療薬の開発に関する研究, 4,000 千円
  - 6: 科学研究費補助金 (特別研究員[DC2]) 新規: 北島正二郎 (代表): 口腔癌における p27 タンパクの異常分解機構の解明と治療への応用に関する研究, 900 千円
  - 7: 武田医学財団医学系研究奨励金 継続: 工藤保誠: 口腔扁平上皮癌の浸潤・転移に関わる新規因子の探索, 2,000 千円
  - 8: 土谷記念医学振興基金助成金 継続: 工藤保誠: 口腔癌の浸潤に関わる新規因子の検索およびその診断への応用, 1,490 千円
  - 9: 上原記念生命科学財団 平成 17 年度研究奨励金 新規: 工藤保誠: Aurora A タンパクの分解機構の解明と分解機構の異常による癌化への関与, 2,000 千円
  - 10: サンスター助成金: 高田 隆: LPS 誘導歯周組織破壊に及ぼすリポソーム化ラクトフェリンの抑制効果, 1,000 千円
  - 11: 三菱三原病院委任経理金: 高田 隆: 80 千円
  - 12: 県医師会助成金: 高田 隆: 100 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 工藤保誠: 日本口腔病理学会奨励賞 (実験病理部門), 日本口腔病理学会, 2005
- 2: 北島正二郎: 第 38 回広島大学歯学会総会奨励賞, 広島大学歯学部, 2005
- 3: 北島正二郎: 平成 17 年度先端歯学国際教育研究ネットワーク・サマースクール優秀賞, 先端歯学国際教育研究ネットワーク, 2005
- 4: 吉田真希 (研究者コース学生): 第 38 回広島大学歯学会総会奨励賞, 広島大学歯学部, 2005

#### (6) 特許

- 1: 硬組織形成促進剤. (特願 2005-071023)



# 創生医科学専攻・先進医療開発科学講座（歯周病態学研究室） 及び口腔維持修復歯科（歯周病診療科）

## （1）職員並びに学生

教授 : 栗原英見  
助教授 : 河口浩之  
講師 : 吉野 宏, 柴 秀樹  
助手 : 日野孝宗, 中村茂夫, 水野智仁, 長谷川直彦, 林 秀昭, 藤田 剛  
事務補佐員 : 赤木真子  
医員 : 定信恵子, 玉川絵梨  
研修医 : 岩田倫幸, 工藤靖爾, 應原一久, 武田克浩, 林田浩一, 森本万有美, 川村優人, 山北沙智  
大学院生 : 足利 新, 仁井谷幸, 赤崎友彦, 尾関良賢, 清田真理, 津田英広, 常國徳子, 花木清隆, 布施吉彦, 柳原琢磨, 吉松真一郎, 乾 孝史, 東山朋子, 平田玲加, 北本泰子, 岩崎代利子, 加治屋幹人, 岸本亮義, 坂井宣之, 永原隆吉, 仁井谷善恵  
研修登録医 : 大小田学, 金田竜典, 香坂陽介, 篠原弘明, 田中さおり, 平川正彦, 進藤典久  
その他 : 内田雄志（アメリカ合衆国ボストン大学に留学中）  
藤岡大助（アメリカ合衆国レイビル大学に留学中）

## （2）主な研究活動

- 1：歯周炎の発症に関する免疫学的研究
- 2：骨髄間葉系幹細胞を用いた歯周組織再生に関する研究
- 3：神経栄養因子を用いた歯周組織再生に関する研究
- 4：歯周靭帯由来細胞、歯髓細胞の生理機能や分化に関する研究
- 5：歯周病原性細菌の病原因子に関する研究
- 6：歯周病原性細菌と宿主細胞との相互作用に関する研究
- 7：歯内・歯周療法に関する臨床的研究
- 8：ストレスと歯周病に関する研究

## （3）研究業績

### A) 原著（症例報告を含む）

- 1：自家骨髄間葉系幹細胞移植による歯周組織再生療法の開発：河口浩之, 林 秀昭, 水野智仁, 藤岡大助, 内田雄士, 平地昭雄, 毛利吉宏, 岩田倫幸, 足利 新, 藤田 剛, 長谷川直彦, 日野孝宗, 吉野 宏, 辻 紘一郎, 加藤幸夫, 栗原英見：再生医療4, 69-77, 2005.
- 2：Brain-derived neurotrophic factor enhances periodontal tissue regeneration : Takeda K, Shiba H,

- Mizuno N, Hasegawa N, Mouri Y, Hirachi A, Yoshino H, Kawaguchi H, Kurihara H : *Tissue Eng.* Sep-Oct 11(9-10),1618-29, 2005.
- 3 : Cell transplantation for periodontal diseases. A novel periodontal tissue regenerative therapy using bone marrow mesenchymal stem cells : Kawaguchi H, Hayashi H, Mizuno N, Fujita T, Hasegawa N, Shiba H, Nakamura S, Hino T, Yoshino H, Kurihara H, Tanaka H, Kimura A, Tsuji K, Kato Y : *Clin Calcium.* Jul 15(7),99-104. Review. Japanese, 2005.
  - 4 : Irsogladine maleate influences the response of gap junctional intercellular communication and IL-8 of human gingival epithelial cells following periodontopathogenic bacterial challenge : Uchida Y, Shiba H, Komatsuzawa H, Hirono C, Ashikaga A, Fujita T, Kawaguchi H, Sugai M, Shiba Y, Kurihara H : *Biochem Biophys Res Commun.* Jul 29 ,333(2),502-7, 2005.
  - 5 : Molecular markers distinguish bone marrow mesenchymal stem cells from fibroblasts : Ishii M, Koike C, Igarashi A, Yamanaka K, Pan H, Higashi Y, Kawaguchi H, Sugiyama M, Kamata N, Iwata T, Matsubara T, Nakamura K, Kurihara H, Tsuji K, Kato Y : *Biochem Biophys Res Commun.* Jun 24, 332(1),297-303,2005.
  - 6 : Susceptibilities of periodontopathogenic and cariogenic bacteria to antibacterial peptides, {beta}-defensins and LL37, produced by human epithelial cells : Ouhara K, Komatsuzawa H, Yamada S, Shiba H, Fujiwara T, Ohara M, Sayama K, Hashimoto K, Kurihara H, Sugai M : *J Antimicrob Chemother.* Jun ,55(6), 888-96. Epub 2005 May 10 ,2005.
  - 7 : Characterization of epithelial cells derived from periodontal ligament by gene expression patterns of bone-related and enamel proteins : Mizuno N, Shiba H, Mouri Y, Xu W, Kudoh S, Kawaguchi H, Kurihara H : *Cell Biol Int.* Feb, 29(2), 111-7,2005.
  - 8 : Parotid secretory protein is expressed and inducible in human gingival keratinocytes : Shiba H, Venkatesh S G, Gorr S U, Barbieri G, Kurihara H, Kinane DF : *J. Periodon. Res.* 40, 153-157, 2005.
  - 9 : CD38 expression in neutrophils from patients with localized aggressive periodontitis. : Fujita T, Kantarci A, Warbington M, Zawawi K H, Hasturk H, Kurihara H, Van Dyke T E : *J periodontal.* 76, 1960-1965, 2005..
  - 10 : CD38 cleavage in fMLP- and IL-8 induced chemotaxis is dependent on p38 MAP kinase but independent p44/42 MAP kinase. : Fujita T, Zawawi K H, Kurihara H, Van Dyke T E : *Cellular signalling.* 17, 167-175, 2005.

## B) 総説

- 1 : Cell transplantation for periodontal diseases. A novel periodontal tissue regenerative therapy using bone marrow mesenchymal stem cells : Kawaguchi H, Hayashi H, Mizuno N, Fujita T, Hasegawa N, Shiba H, Nakamura S, Hino T, Yoshino H, Kurihara H, Tanaka H, Kimura A, Tsuji K, Kato Y : *Clin Calcium.* Jul 15(7), 99-104. Review. Japanese, 2005.
- 2 : The genetic basis of periodontitis : Kinane D F, Shiba H, Hart T C : *Periodontol.* 2000. 39: 91-117, 2005.

## C) 著書

- 1：在宅ケア感染予防対策マニュアル（ICHG 研究会編著）：栗原英見，吉野 宏：日本プランニングセンター，2005.
- 2：標準予防策実践マニュアル これからはじめる感染予防対策（ICHG 研究会編集）：栗原英見，吉野 宏：南江堂，2005.

#### D) その他の出版物

- 1：骨髄間葉系幹細胞を用いた歯周治療：河口浩之，栗原英見：たんじゅうさん 4, 15, 2005.

#### E) 学会発表

- 1：歯周炎患者血清中の自己抗体が認識する歯肉線維芽細胞抗原：柳原琢磨，日野孝宗，林田浩一，花木清隆，毛利吉宏，仁井谷 幸，水野智仁，柴 秀樹，吉野 宏，河口浩之，栗原英見：第48回日本歯周病学会秋季学術大会（長崎），2005
- 2：骨髄間葉系幹細胞移植による歯周組織再生に関する組織学的研究 —実験的歯周炎モデルにおける評価—：吉松真一郎，長谷川直彦，河口浩之，平地昭雄，水野智仁，清田真理，武田克浩，栗原英見：第48回日本歯周病学会秋季学術大会（長崎），2005
- 3：実験的歯周炎モデルにおける骨髄間葉系幹細胞移植後の歯周組織再生過程：吉松真一郎，長谷川直彦，河口浩之，平地昭雄，水野智仁，清田真理，武田克浩，栗原英見：第38回広島大学歯学会（広島），2005
- 4：侵襲性歯周炎患者にみられる好中球走化能異常を伴うプロテオーム解析：仁井谷幸，水野智仁，尾関良賢，乾孝史，藤田剛，柴秀樹，河口浩之，栗原英見：第38回広島大学歯学会（広島），2005
- 5：ヒト骨髄間葉系幹細胞とヒト歯周靭帯由来細胞の共培養が骨関連タンパク発現に与える影響：平田玲加，藤田 剛，毛利吉宏，岩田倫幸，足利 新，武田克浩，水野智仁，尾関良賢，柴 秀樹，河口浩之，栗原英見：日本歯科保存学会春季学会（札幌），2005.
- 6：侵襲性歯周炎患者の好中球機能異常に関するプロテオーム解析：仁井谷幸，水野智仁，尾関良賢，藤田剛，乾孝史，日野孝宗，柴秀樹，河口浩之，栗原英見：日本歯科保存学会春季学会（札幌），2005.
- 7：Neurotrophin-4 がヒト歯周靭帯由来細胞の増殖および分化に及ぼす影響：乾 孝史，水野智仁，武田克浩，長谷川直彦，清田真理，吉松真一郎，尾関良賢，仁井谷幸，柴秀樹，河口浩之，栗原英見：日本歯科保存学会春季学会（札幌），2005.
- 8：ヒト歯周靭帯由来細胞がヒト骨髄間葉系幹細胞の分化に及ぼす影響：尾関良賢，水野智仁，毛利吉宏，乾孝史，仁井谷幸，武田克浩，藤田剛，柴秀樹，河口浩之，栗原英見：日本歯科保存学会春季学会（札幌），2005.
- 9：bHLH 転写因子 DEC1 による間葉系幹細胞の分化制御：岩田 倫幸，河本 健，五十嵐 晃，藤本 勝己，能城 光秀，辻 紘一郎，加藤幸夫，栗原 英見：日本組織培養学会 第78回大会（広島），2005
- 10：骨髄間葉系幹細胞移植による歯周組織再生に関する研究：長谷川直彦，水野智仁，平地昭

- 雄, 毛利吉宏, 武田克浩, 河口浩之, 辻 紘一郎, 加藤幸夫, 栗原英見: 日本組織培養学会 第78回大会 (広島), 2005
- 11: ヒト骨髄間葉系幹細胞とヒト歯周靭帯由来細胞の共培養における骨関連タンパクの発現: 平田玲加, 藤田 剛, 毛利吉宏, 岩田倫幸, 武田克浩, 水野智仁, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 日本組織培養学会 第78回大会 (広島), 2005
- 12: IL-8 刺激による歯肉上皮細胞の細胞間コミュニケーションの変化とマレイン酸イルソグラジンの影響: 足利 新, 藤田 剛, 内田雄士, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 日本組織培養学会 第78回大会 (広島), 2005
- 13: Neurotrophin-4 がヒト歯周靭帯由来細胞に及ぼす影響: 乾 孝史, 水野智仁, 武田克浩, 長谷川直彦, 清田真理, 吉松真一郎, 尾関良賢, 仁井谷幸, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 日本組織培養学会 第78回大会 (広島), 2005
- 14: ヒト歯周靭帯由来細胞の分泌する液性因子がヒト骨髄間葉系幹細胞の分化に及ぼす影響: 尾関良賢, 水野智仁, 毛利吉宏, 乾 孝史, 仁井谷 幸, 武田克浩, 藤田 剛, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 日本組織培養学会 第78回大会 (広島), 2005
- 15: 生物学的歯内療法ガイドライン確立のための取り組み: 林 秀昭, 日野孝宗, 岩田倫幸, 水野智仁, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 第26回日本歯内療法学会学術大会大会 (東京), 2005
- 16: 神経栄養因子がヒト歯髄細胞機能に与える影響: 乾 孝史, 水野智仁, 柴 秀樹, 武田克浩, 長谷川直彦, 藤田 剛, 河口浩之, 栗原英見: 第26回日本歯内療法学会学術大会大会 (東京), 2005
- 17: 脳由来神経栄養因子(BDNF)を用いた歯周組織再生療法に関する組織学的研究—ビーグル犬の実験的歯周炎モデルにおける検討—: 清田真理, 長谷川直彦, 武田克浩, 吉松真一郎, 水野智仁, 乾 孝史, 柴 秀樹, 河口浩之, 五十嵐 晃, 辻 紘一郎, 栗原英見: 第48回日本歯周病学会秋季学術大会 (札幌), 2005
- 18: 歯周組織におけるストレス反応系について: 常国徳子, 吉野 宏, 平田玲加, 赤崎友彦, 足利 新, 藤田 剛, 栗原英見: 第48回日本歯周病学会秋季学術大会 (札幌), 2005
- 19: 骨髄間葉系幹細胞移植による歯周組織再生療法 —臨床研究の現状と術後評価について—: 林 秀昭, 河口浩之, 水野智仁, 藤田 剛, 内田雄士, 吉野 宏, 柴 秀樹, 日野孝宗, 長谷川直彦, 藤岡大助, 岩田倫幸, 工藤靖爾, 武田克浩, 五十嵐 晃, 辻紘一郎, 栗原英見: 第48回日本歯周病学会秋季学術大会 (札幌), 2005
- 20: 骨髄間葉系幹細胞移植による歯周組織再生過程に関する研究 —ラット歯周組織欠損モデルを用いた移植後早期の組織学的検討—: 花木清隆, 林田浩一, 長谷川直彦, 尾関良賢, 北本泰子, 河口浩之, 山中克之, 辻 紘一郎, 栗原英見: 第48回日本歯周病学会秋季学術大会 (札幌), 2005
- 21: 歯周組織におけるアディポステロイド活性化酵素 11 $\beta$ -HSD1 の発現について: 赤崎友彦, 中村茂夫, 吉野 宏, 林田浩一, 工藤靖爾, 花木清隆, 常國徳子, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 第123回日本歯科保存学会秋季学会 (東京), 2005
- 22: 歯周炎患者血清中の自己抗体が認識する歯肉線維芽細胞抗原: 柳原琢磨, 日野孝宗, 林田浩一, 花木清隆, 仁井谷 幸, 水野智仁, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見: 第123回日本歯科保存学会秋季学会 (東京), 2005

- 23 : 歯周炎患者血清が認識するヒト歯肉線維芽細胞中の自己抗原 : 柳原琢磨, 日野孝宗, 栗原英見 : 第 35 回日本免疫学会, 2005
- 24 : 脳由来神経栄養因子(BDNF)を用いた歯周組織再生療法に関する組織学的研究 : 清田真理, 長谷川直彦, 武田克浩, 吉松真一郎, 水野智仁, 乾 孝史, 柴 秀樹, 河口浩之, 五十嵐晃, 辻 紘一郎, 栗原英見 : 第 89 回広島大学歯学会 (併催) 第 44 回広島県歯科医学会 (広島), 2005
- 25 : 生物学的歯内療法ガイドライン確立のための取り組み : 森本万有美, 林 秀昭, 日野孝宗, 岩田倫幸, 水野智仁, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 第 89 回広島大学歯学会 (併催) 第 44 回広島県歯科医学会 (広島), 2005
- 26 : 骨髄間葉系幹細胞移植による歯周組織再生療法 —臨床研究の現状について— : 林 秀昭, 河口浩之, 水野智仁, 藤田 剛, 内田雄士, 吉野 宏, 柴 秀樹, 日野孝宗, 長谷川直彦, 藤岡大助, 岩田倫幸, 工藤靖爾, 武田克浩, 五十嵐 晃, 辻紘一郎, 栗原英見 : 第 89 回広島大学歯学会 (併催) 第 44 回広島県歯科医学会 (広島), 2005
- 27 : ヒト歯周靭帯由来細胞の分泌する液性因子がヒト骨髄間葉系幹細胞の分化に及ぼす影響 : 尾関良賢, 水野智仁, 毛利吉宏, 乾 孝史, 仁井谷 幸, 武田克浩, 藤田 剛, 柴 秀樹, 河口浩之, 栗原英見 : 第 89 回広島大学歯学会 (併催) 第 44 回広島県歯科医学会 (広島), 2005
- 28 : IL-8 and Irsogladine maleate in intercellular communication on gingival keratinocytes : Ashikaga A, Fujita T, Uchida Y, Shiba H, Kawaguchi H, Kurihara H : 83rd General session and Exhibition of the international association for dental research (Baltimore), 2005.

#### F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1 : 特別講演 BDNF(brain-derived neurotrophic factor) and mesenchymal stem cells : alternativetools for periodontal tissue regeneration : Kurihara H : 28<sup>th</sup> Meetong of the Chinese dental journal (Taipei), 2005

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究 (A) (1)一般) 継続 : 栗原英見 : 歯周炎と全身疾患との関わりについての臨床研究. (課題番号 15209071), 7,900 千円
- 2 : 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)一般) 継続 : 河口浩之 : 自家骨髄間葉系幹細胞を用いた歯周組織再生療法の開発. (課題番号 15390647), 3,200 千円
- 3 : 科学研究費補助金 (若手研究 (B) (2)) 継続 : 水野智仁 : 神経栄養因子を用いた歯周組織再生療法の開発. (課題番号 16791314), 1,600 千円
- 4 : 科学研究費補助金 (萌芽研究) 継続 : 栗原英見 : ヒトセメント芽細胞の特異的マーカーの探究. (課題番号 16659580), 1,500 千円
- 5 : 科学研究費補助金 : (基盤研究 (A) (1)一般) 継続 : 栗原英見 : 日本人歯周病患者の遺伝子多型に基づく感受性検査および診断の確立. (課題番号 16209062), 700 千円
- 6 : 科学研究費補助金 : (基盤研究 (A) (1)一般) 新規 : 栗原英見 : 歯周組織細胞を用いた歯周

- 組織再生療法の確立と臨床応用. (課題番号 17209065), 1,100 千円.
- 7: 科学研究費補助金: (基盤研究 (A) (1)一般) 継続: 栗原英見: 歯周病の分子標的治療開発へのゲノミクスープロテオミクス統合研究. (課題番号 16209063), 800 千円
- 8: 科学研究費補助金: (基盤研究 (C) (1)一般) 新規: 日野孝宗: 歯周病細菌に対する血清抗体価測定法の標準化に関する調査研究. (課題番号 17639021), 400 千円
- 9: 受託研究経費 (日本新薬株式会社): 栗原英見: 歯周病関連細菌からの口臭関連ガス産生に与えるアズレンスルホン酸 Na の影響. 1,000 千円
- 10: 受託研究経費 (ひろしま産振興): 栗原英見: 常圧過熱水蒸気及びプラズマベースイオン利用による洗浄滅菌装置の開発. 13,000 千円
- 11: 共同研究経費 (株式会社ツーセル): 栗原英見: BDNF を用いた歯周再生に関する研究. 5,000 千円
- 12: 受託臨床研究経費 (科研製薬株式会社): 栗原英見: 辺縁歯周炎患者を対象とした KCB-1D 歯周組織再生試験. 2,835 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許

## 展開医科学専攻・病態情報医科学講座（粘膜免疫学研究室）

### （１）職員並びに学生

教授　　：高橋一郎  
講師　　：森下真行（10月末まで）  
講師　　：島津篤（学内）  
助手　　：河原和子，鶴田圭伊子  
大学院生：三藤聡

### （２）主な研究活動

粘膜免疫システムの作動原理とその生物学的意義に関する研究  
粘膜感染症、特に口腔の難治性感染症の免疫学的予防法に関する研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

1 : Colitis in mice lacking common cytokine receptor- $\gamma$ chain is mediated by IL-6-producing CD4<sup>+</sup> T cells : Kai Y, Takahashi I, Ishikawa H, Hiroi T, Mizushima T, Kishi D, Hamada H, Tamagawa H, Ito T, Yoshizaki K, Kishimoto T, Matsuda H and Kiyono H : Gastroenterology 128, 922-938, 2005.

#### B) 総説

- 1 : 粘膜ワクチン : 高橋一郎 : 日本臨床 63, 468-473, 2005.
- 2 : 粘膜ワクチン : 高橋一郎 : アニムス 37, 28-31, 2005.
- 3 : ストレス誘導タンパク MICA 分子による腸管免疫制御 : 鶴田圭伊子, 高橋一郎 : BIO Clinica20, 494-499, 2005.
- 4 : 粘膜ワクチンの実用化に向けて : 佐々木淳, 岩本めぐみ, 山本健太, 清野宏, 高橋一郎 : 臨床と微生物 32, 283-288, 2005.
- 5 : 粘膜免疫制御分子 MICA の発現とその機能 : 鶴田圭伊子, 高橋一郎 : 広島大学歯学雑誌 37, 87-89, 2005.

#### C) 著書

- 1 : 粘膜免疫 : 口腔微生物学・免疫学 第2版 (浜田茂幸 編) : 高橋一郎 : 医歯薬出版 (東京), 89-92, 2005.

## D) 学会発表

- 1 : IL-15/NKG2D/MICA intranet for the bilateral regulation of mucosal inflammation in TCR alpha-chain deficient mice. : Tsuruda K, Kirito M, Matsumoto K, Sasaki K, Ohta N, Iijima H, Hiroi T, Kiyono H and Takahashi I : 12th International Congress of Mucosal Immunology (Boston, USA) , 2005.
- 2 : Influence of constitutive MICA expression on mucosal IgA responses : Shimazu A, Koh M, Yanagihara T, Kirito M, Kiyono H and Takahashi I : 12th International Congress of Mucosal Immunology (Boston, USA) , 2005.
- 3 : Constitutive expression of MICA ameliorates mucosal inflammation in TCR  $\alpha$ -chain deficient mice. : Tsuruda K, Koh M, Ohta N, Iijima H, Hiroi T, Kiyono H and Takahashi I : 第 35 回日本免疫学会総会 (横浜) , 2005.
- 4 : Characterization of environmental sensor components of the colon : Kawahara K, Hiroi T, Igarashi O, Yoda M, Kiyono H and Takahashi I : 第 35 回日本免疫学会総会 (横浜) , 2005.
- 5: Constitutive MICA expression enhances mucosal IgA responses. : Shimazu A, Yanagihara T, Koh M, Tsuruda K, Kiyono H and Takahashi I : 第 35 回日本免疫学会総会(横浜), 2005.

## E) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1 : 粘膜免疫 : 消化管の意外なはたらき : 高橋一郎 : 広島大学歯学部同窓会広島県支部学術講演会 (広島) , 2005.
- 2 : 粘膜免疫の作動機構とその異常 : 高橋一郎 : 第 11 回日本ヘリコバクター学会. イブニングレクチャー (岡山) , 2005.

## (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 基盤研究(C) : 高橋一郎 : 新規粘膜免疫制御分子 MICA の免疫学的恒常性維持機構の解明. (課題番号 16590406) , 1700 千円.
- 2 : 基盤研究(C) : 島津篤 : 歯周組織における破骨細胞形成抑制因子および促進因子の機能的役割. (課題番号 17592181) , 2300 千円.
- 3 : 基盤研究(C) : 鶴田圭伊子 : HVJ-エンベロープを用いた歯周病ワクチンの開発. (課題番号 16592089) , 800 千円

## (5) 学会賞等の受賞状況

- 1 : 高橋一郎 : 平成 17 年度広島大学学長表彰

## (6) 特許



## 展開医科学専攻・病態情報医科学講座（歯科放射線学研究室） 及び口腔再建外科（歯科放射線科）

### （１）職員並びに学生

教授          : 谷本啓二                                    (\*) 科長 : 谷本啓二 (兼任)  
助教授        : 藤田 實  
講師          : 田口 明, 末井良和  
助手          : 長崎信一, 大塚昌彦, 李 薫, 澤尻昌彦, 中元 崇  
大学院生      : 山科 敦, パリマル・チャンドラ・マリック, 藤原百合,  
                石井光道, 中島健雄, 佐村美佳

### （２）主な研究活動

- 1 : 定量的コンピュータ断層撮影法による顎骨骨密度測定
- 2 : 歯科用レントゲン写真による閉経後骨粗鬆症の早期診断法の開発
- 3 : 骨粗鬆症が口腔に及ぼす影響に関する研究
- 4 : 遺伝子多型が顎顔面・口腔領域に及ぼす影響に関する研究
- 5 : 口腔の不衛生が心血管・脳血管障害に及ぼす影響に関する研究
- 6 : 歯科用レントゲン写真による血管障害の早期診断法の開発
- 7 : 歯原性癌腫のX線学的診断に関する研究
- 8 : 顎骨単純性骨嚢胞の診断に関する研究
- 9 : 顎骨骨髓炎の診断と分類に関する研究
- 10 : 口腔癌の放射線学的診断に関する研究
- 11 : 口腔癌の放射線治療に関する研究
- 12 : 放射線による骨代謝におよぼす影響
- 13 : 脳磁図を用いたヒト嚥下機能の研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : パノラマX線写真による歯科診療所における骨粗鬆症スクリーニング : 田口 明, 中元 崇, 大塚昌彦, 石本勝三, 谷口雅昭, 河端邦夫, 宮城昌治, 荒川信介, 谷本啓二 : 日本歯科医師会雑誌, 57 : 13-20, 2005.
- 2 : Relationship between self-reported periodontal status and skeletal bone mineral density in Japanese postmenopausal women : Taguchi A, Suei Y, Ohtsuka M, Nakamoto T, Lee K, Sanada M, Tsuda M, Ohama K, Tanimoto K, Bollen A M : Menopause12, 144-8, 2005.
- 3 : Clinical and panoramic predictors of femur bone mineral density : White S C, Taguchi A, Kao D,

- Wu S, Service S K, Yoon D, Suei Y, Nakamoto T, Tanimoto K : Osteoporos Int 16, 339-46, 2005.
- 4 : Metastatic retinoblastoma of the maxilla and mandible : Taguchi A, Suei Y, Ogawa I, Naito K, Nagasaki T, Lee K, Fujita M, Tanimoto K : Dentomaxillofac Radiol 34, 126-31, 2005.
- 5 : Diagnosis and classification of mandibular osteomyelitis : Suei Y, Taguchi A, Tanimoto K : Oral Surg, Oral Med, Oral Pathol, Oral Radiol :Endody,100,207-14, 2005.
- 6 : Visual assessment of the mandibular cortex on panoramic radiographs to identify postmenopausal women with low bone mineral densities : Lee K, Taguchi A, Ishii K, Suei Y, Fujita M, Nakamoto T, Ohtsuka M, Sanada M, Tsuda M, Ohama K, Tanimoto K, White S : Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol : Endod,100 ,226-31, 2005.

## B) 総説

## C) 著書

## D) その他の出版物

- 1 : 歯科用パノラマX線写真による骨粗鬆症スクリーニング-質問表ベースのスクリーニング法との比較- : 田口 明, 真田光博, 末井良和, 大塚昌彦, 中元 崇, 津田幹夫, 児玉一郎, 谷本啓二, 大濱紘三 : Osteoporosis Japan 13, 623-625, 2005.
- 2 : 尿中  $\gamma$ -GTP 活性は新規骨代謝マーカーとして有用である : 児玉一郎, 真田光博, 津田幹夫, 田口 明, 上野武久, 工藤美樹, 大濱紘三 : Osteoporosis Japan 13, 603-605, 2005.
- 3 : 能動型臨床研修システムの構築-標準化と個別化に向けて- : 田口則宏, 小川哲次, 田中良治, 笹原妃佐子, 白井憲一, 吉野 宏, 谷 亮治, 島末 洋, 田地 豪, 阿部倉 仁, 田中榮二, 天野秀明, 田口 明, 寶田 貫, 名原行徳, 小川郁子 : 日歯教誌 21, 196-204, 2005.
- 4 : 脳磁図 : 長崎信一 谷本啓二 : 広大歯誌 37(2),151-153, 2005.
- 5 : 重粒子線の骨代謝におよぼす影響 : 澤尻昌彦, 野村雄二, 滝波修一, 溝江純悦 : 平成16年度放射線医学総合重粒子線がん治療装置等共同利用研究報告書, 98-99, 2005.
- 6 : Skeletal calcium disturbances in heavy smokers may contribute to high salivary calcium concentration : Taguchi A : J Evid Base Dent Pract 5, 98-99, 2005.

## E) 学会発表

- 1 : 歯科用X線写真による骨粗鬆症スクリーニングに関する多国間国際共同研究 : スクリーニング指標の適合度に影響する判定者の背景因子について : 田口 明, 大瀧 慈, 太谷敬子, 浅野 晃, 稲垣幸司, 野口俊英, 末井良和, 大塚昌彦, 中元 崇, 谷本啓二, 津田幹夫, 児玉一郎, 真田光博, 工藤美樹, 大濱紘三, OSPD international collaboration group : 第16回婦人科骨粗鬆症研究会学術集会(東京), 2005.
- 2 : 65歳未満の閉経後女性における歯科用パノラマX線写真による骨粗鬆症スクリーニングの有用性 : 田口 明, 津田幹夫, 児玉一郎, 真田光博, 末井良和, 大塚昌彦, 中元 崇,

- 谷本啓二, 稲垣幸司, 野口俊英, 工藤美樹, 大濱紘三: 第16回婦人科骨粗鬆症研究会学術集会(東京), 2005.
- 3: 歯科用 X 線写真による骨粗しょう症スクリーニングの指標化について: 田口 明, 大瀧 慈, 大谷敬子, 浅野 晃, 稲垣幸司, 野口俊英, 谷本啓二: 2005年度統計関連学会連合大会(広島), 2005.
  - 4: パノラマ X 線写真による骨粗鬆症スクリーニングに関する多国間国際共同研究(Osteoporosis Screening Project in Dentistry: OSPD)の研究デザイン: 田口 明, 大塚昌彦, 中元 崇, 末井良和, 関 健次, 岡野友宏, 谷本啓二: 第46回日本歯科放射線学会総会(新潟), 2005.
  - 5: 閉経後骨粗鬆症患者の下顎骨骨粗鬆化, 骨梁パターンと歯周病罹患状況: 稲垣幸司, 野口俊英, 森田一三, 中垣晴男, 三木隆己, 中 弘志, 田口 明: 第7回日本骨粗鬆症学会(大阪), 2005.
  6. 単純性骨嚢胞(Simple bone cyst)-顎骨の病変と他骨の病変-: 末井良和, 長崎信一, 李 蕪, 田口 明, 藤田 實, 谷本啓二: 第42回九州・第48回関西合同地方会(岡山), 2005.
  - 7: 診断領域線量計標準センターについて-中国地区センターの現状-: 大塚昌彦, 谷本啓二: 第1回中四国放射線医療技術フォーラム(倉敷), 2005.
  - 8: X線撮影時における自閉症児(者)への視覚支援の試み: 李蕪, 板垣純子, 寶田貫, 谷本啓二: 第42回九州・48回関西合同地方会(岡山), 2005.
  - 9: 重粒子線照射アパタイト・コラーゲン複合体骨再生材料に関する研究(第1報)骨形成因子に及ぼす重粒子線照射コラーゲンの影響: 錦織良, 野村雄二, 澤尻昌彦, 手島渉, 平田伊佐雄, 若狭邦男, 岡崎正之: 第45回日本歯科理工学会(東京), 2005
  - 10: 重粒子線の骨代謝におよぼす影響: 澤尻昌彦, 野村雄二, 滝波修一, 溝江純悦, 谷本啓二: 日本放射線影響学会, アジア放射線影響研究会議(広島), 2005.
  - 11: Osteoporosis screening by panoramic radiographs: comparison with Osteoporosis Self-Assessment Tool. : Taguchi A, Sueti Y, Ohtsuka M, Nakamoto T, Sanada M, Tsuda M, Ohama K, Inagaki K, Noguchi T, Tanimoto K : IADR/AADR/CADR 83rd General Session (Baltimore, USA), 2005.
  - 12: Periodontal status and panoramic radiographic measures in osteoporotic women : Inagaki K, Fuma D, Sugiishi T, Sakano M, Kurosu Y, Yoshinari N, Ishihara Y, Sobue T, Noguchi T, Morita I, Nakagaki H, Miki T, Naka H, Taguchi A, Tanimoto K, Krall E A : IADR/AADR/CADR 83rd General Session (Baltimore, USA), 2005.
  - 13: Correlation between Insertion Torques and Bone Quality by Intraoral Radiographs : Hirata M, Koretake K, Taguchi A, Nagai N, Tanimoto K, Akagawa Y : IADR/AADR/CADR 83rd General Session (Baltimore, USA), 2005.
  - 14: New Method for Study on Initial Bone Healing around Implant : Miyamoto Y, Koretake K, Taguchi A, Hitata M, Tanimoto K, Akagawa Y : IADR/AADR/CADR 83rd General Session (Baltimore, USA), 2005.
  - 15: Compute-aided system for measuring the mandibular cortical width on panoramic radiographs In osteoporosis diagnosis : Arifin A Z, Asano A, Taguchi A, Nakamoto T, Ohtsuka M, Tanimoto K : SPIE Medical Imaging 2005-Image Processing Conference (San Diego, USA), 2005.

- 16：口腔癌の過分割照射による放射線治療 -治療成績と晩期有害事象-：藤田實、村上祐司、松浦寛司、橋本泰年、権丈雅浩、兼安祐子、和田崎晃一、伊藤勝陽：日本放射線腫瘍学会第18回学術大会，川越，2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1：科学研究費補助金基盤研究B（2）継続（分担）：田口 明：骨粗鬆症が及ぼす顎骨や歯周組織への影響，（課題番号16390616），1500千円
- 2：科学研究費補助金萌芽研究継続：田口 明：歯科用パノラマX線写真による心血管系疾患の早期スクリーニング支援システムの開発，（課題番号14571786），900千円
- 3：科学研究費補助金（基盤研究（C））新規：李薫：パノラマX線写真と血管内皮機能測定を併用する脳血管障害についての研究，（課題番号17591961），2100千円
- 4：広島大学研究支援金（分担）：田口 明：歯科用パノラマX線写真を用いた多臓器疾患の自動診断，1500千円
- 5：古野電気株式会社共同開発研究助成金：田口 明：顎骨骨密度測定装置開発，300千円
- 6：科学研究費補助金（基盤研究（C））新規：藤田 實：化学療法併用多分割放射線治療による口腔癌の制御率とQOLの改善に関する研究，（課題番号17591962），1700千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

- 1：田口 明：日本歯科放射線学会賞優秀論文賞
- 2：大塚昌彦：日本歯科放射線学会 学会賞（学術奨励賞）

#### (6) 特許

- 1：田口 明，中元 崇，浅野 晃：パノラマX線画像を用いた骨粗鬆症診断支援装置（特開2004-209089，国際特許出願，YG2003-61PCT），（科学技術振興機）
- 2：浅野 晃，田口 明，中元 崇，谷本啓二，Agus Zainal Arifin：歯科X線画像を用いた骨粗鬆症診断補助装置（特願2004-304855），（国立大学法人広島大学）

## 展開医科学専攻,病態制御医科学講座(口腔成長・発達生物学研究室)

### (1) 職員並びに学生

教授 : 前田憲彦  
助教授 : 吉子裕二  
講師 : 末宗節子 (学内)  
助手 : 汪 華

### (2) 主な研究活動

- 1: 咀嚼システムの発達と老化に関する機能形態学的研究
- 2: 脳の再生に関する基礎的研究
- 3: 間葉系細胞の分化機構に関する研究
- 4: 骨組織の発生、分化に関する分子細胞生物学的研究
- 5: 唾液腺発生の分子生物学的研究

### (3) 研究業績

#### A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Stanniocalcin 1 acts as a paracrine regulator of growth plate chondrogenesis. : Wu S, Yoshiko Y, De Luca F : J. Biol. Biol. Chem. (Online Peer-Reviewed Article) 2005.
- 2: Constitutive activating mutation of the FGFR3b in oral squamous cell carcinomas. : Zhang Y, Hiraishi Y, Wang H, Sato J D, and Okamoto T. : Int. J. Cancer (117), 166-168, 2005.

#### B) 総説

- 1: FGF23 とリン酸代謝の新展開: 吉子裕二, 前田憲彦; 広島大学歯学雑誌 37 (2), 154-156, 2005.

#### C) 著書

#### D) その他の出版物

#### E) 学会発表

- 1: Adenovirus-mediated overexpression of FGF23 suppresses osteoblast development and matrix mineralization in fetal rat calvaria cells. : Wang H, Yamamoto R, Maeda N, Y : ASBMR 27th Annual

Meeting (Nashville), 2005.

- 2 : FGF23 は石灰化を調節する局所因子として機能する : 山本浄子, 汪 華, 伊集院知世, 丹根一夫, 前田憲彦, 吉子裕二 : 第 23 回日本骨代謝学会学術集会 (大阪), 2005.
- 3 : PGE2 は JNK/p38 MAPK シグナルと協調してラット頭蓋冠由来 bipotential 前駆細胞の骨芽細胞と脂肪細胞の分化を調節する : 南崎朋子, 吉子裕二, 香西克之, 前田憲彦 : 第 23 回日本骨代謝学会 (大阪), 2005.
- 4 : ラット胎仔頭蓋冠由来骨原性細胞の形質の多様性と分化転換能について : 長谷川拓郎, 吉子裕二, 波多野寛子, 丹根一夫, 前田憲彦 : 第 47 回歯科基礎医学会 (仙台), 2005.
- 5 : Interaction of the PGE2 and JNK/p38 MAPK signaling pathways in osteoblast-adipocyte fate choices of bipotential progenitor cells in rat calvaria cell cultures. : Minamizaki T, Yoshiko Y, Kozai K, Aubin J E, Maeda N : ASBMR 27th Annual Meeting (Nashville), 2005.

#### F) その他

- 1 : 広島大学歯学部公開講座 (明日の健康を支えるーの健康を守って、いきいき健康ライフー : 前田憲彦, (米子)

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究(C)(2)) : 前田憲彦 : (課題番号 175919132) , 2,200 千円
- 2 : 科学研究費補助金 (基盤研究(C)(2)) : 吉子裕二 : (課題番号 16591828) , 1,600 千円
- 3 : 産学連携研究経費 : 異所性石灰化予防のための食品素材の評価: ラフィーネインターナショナルとの共同研究, 2,200 千円
- 4 : 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (1)一般) 新規 : 汪 華 : (課題番号 : 17592086) 1,500 千円.

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許

# 展開医科学専攻・病態制御医科学講座（歯科麻酔学研究室）及び口腔再建外科（歯科麻酔科）

## （１）職員並びに学生

教授 : 河原道夫  
助教授 : 入船正浩  
講師 : 寶田 貫 (学内)  
助手 : 遠藤千恵, 清水慶隆  
医員 : 小林恵子, 坂田恵子  
大学院生 : 齊田拓也, 菊地伸仁, 鬼塚千織子  
研究生 : 川本壽夫  
臨床登録医 : 片山莊太郎, 高橋兼一郎

## （２）主な研究活動

- 1 : 麻酔薬の作用機序に関する研究
- 2 : 局所麻酔薬中の血管収縮薬が循環に及ぼす影響に関する研究
- 3 : 全身麻酔時の呼吸および循環管理に関する研究
- 4 : 悪性腫瘍の疼痛管理に関する研究
- 5 : 神経麻痺に対するペインクリニック治療に関する研究
- 6 : 有病者歯科治療時の全身管理に関する研究
- 7 : 歯科治療時の全身合併症に関する研究

## （３）研究業績

### A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : 広島大学病院に新設した「あんしん歯科治療室」の現況について : 小林恵子、寶田貫、入船正浩、遠藤千恵、清水慶隆、高橋兼一郎、齊田拓也、菊地伸仁、鬼塚千織子、河原道夫 : 日本歯科麻酔学会雑誌 33,295-296, 2005.
- 2 : Inhibition of serotonin transporters by cocaine and meprylcaine through 5-TH<sub>2</sub>C receptor stimulation facilitates their seizure activities : K Morita, M Hmamoto, S Arai, S Kitayama, M Irifune, M Kawahara, K Kihira, T Dohi : Brain Research 1057, 153-160, 2005.

### B) 総説

### C) 著書

## D) その他の出版物

## E) 学会発表

- 1: 広島大学病院における精神鎮静法を併用した歯科治療の現況：小林恵子、遠藤千恵、入船正浩、寶田 貫、清水慶隆、菊地伸仁、斉田拓也、坂田恵子、鬼塚千織子、河原道夫：第2回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会（徳島）,2005.
- 2: 全身麻酔後に横紋筋融解症を合併した1症例：鬼塚千織子、入船正浩、寶田 貫、遠藤千恵、清水慶隆、菊地伸仁、斉田拓也、小林恵子：坂田恵子、河原道夫：第2回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会（徳島）, 2005.
- 3: 広島大学病院において研修医を対象に行った ICLS コースの検討：清水慶隆、遠藤千恵、小林恵子、鬼塚千織子、入船正浩、寶田 貫、坂田恵子、斉田拓也：菊地伸仁、高橋兼一郎、小川哲治、河原道夫：第2回日本歯科麻酔学会中国・四国地方会（徳島）,2005.
- 4: グルタミン酸遊離抑制作用を有する薬物リルゾールの麻酔作用の検討：菊地伸仁、入船正浩、寶田 貫、清水慶隆、遠藤千恵、斉田拓也、河原道夫：第33回日本歯科麻酔学会総会（鹿児島）,2005.
- 5: 笑気は培養ウシ副腎髄質クロマフィン細胞からのアセチルコリン刺激によるカテコラミン遊離を抑制する：清水慶隆、森田克也、入船正浩、寶田 貫、遠藤千恵、小林恵子、土肥敏博、河原道夫：第33回日本歯科麻酔学会総会（鹿児島）,2005.
- 6: 呼吸心拍計 RHR21 によるデンタルチェア上での呼吸監視の有用性について：寶田 貫、入船正浩、遠藤千恵、清水慶隆、斉田拓也、菊地伸仁、鬼塚千織子、小林恵子、坂田恵子、河原道夫：第33回日本歯科麻酔学会総会（鹿児島）,2005.
- 7: 全身麻酔導入中に喘息様発作および蕁麻疹を生じた1症例：鬼塚千織子、入船正浩、寶田 貫、遠藤千恵、清水慶隆、菊地伸仁、斉田拓也、小林恵子：坂田恵子、河原道夫：第33回日本歯科麻酔学会総会（鹿児島）,2005.

### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

### (5) 学会賞等の受賞状況

### (6) 特許



# 展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座（保存修復学研究室）及び口腔維持修復歯科（むし歯・変色歯診療科）

## （１）職員並びに学生

助教授	：富士谷盛興
講師	：田中伸征
助手	：藤井理史，尾田 良，白井憲一，播磨貴裕，荒川 真
医員	：北川解士
研修医	：岩泉宏和，河野卓司
大学院生	：上田浩大，柴田曉輝，本山直世
研究生	：豊田賢準

## （２）主な研究活動

### 1：保存修復材料に関する研究

- 修復材料の機械的諸性質並びに臨床評価
- 生体親和性材料の開発と臨床応用
- 歯質に対する修復材料の接着メカニズム
- コンポジットレジンに含有されるフィラーの洗浄方法
- 多官能性モノマーの重合特性

### 2：変色歯に対する修復材料の接着メカニズム

### 3：コンピューターを応用したシミュレーションシステムの開発と研究

### 4：レーザーによる歯牙切削と接着修復法に関する研究

### 5：CAD/CAM 並びにキャストセラミックスによる修復法に関する研究

### 6：象牙質／歯髄複合体の創傷治癒並びに象牙質再生に関する研究

## （３）研究業績

### A) 原著（症例報告を含む）

- 1：Alveolar bone marrow as a cell source for regenerative medicine: differences between alveolar and iliac bone marrow stromal cells : Matsubara T, Suardita K, Ishii M, Sugiyama M, Igarashi A, Oda R, Nishimura M, Saito M, Nakagawa K, Yamanaka K, Miyazaki K, Shimizu M, Bhawal U K, Tsuji K, Nakamura K, Kato Y: Journal of Bone and Mineral Research 20(3), 399-409, 2005.
- 2：Effect of evaporation of primer components on ultimate tensile strengths of primer-adhesive mixture : Ikeda T, De Munck J, Shirai K, Hikita K, Inoue S, Sano H, Lambrechts P, Van

- Meerbeek B : Dental Materials 21(11), 1051-1058, 2005.
- 3 : Effect of fracture strength of primer-adhesive mixture on bonding effectiveness : Ikeda T, De Munck J, Shirai K, Hikita K, Inoue S, Sano H, Lambrechts P, Van Meerbeek B : Dental Materials 21(5), 413-420, 2005.
- 4 : Effect of cavity configuration and aging on the bonding effectiveness of six adhesives to dentin : Shirai K, De Munck J, Yoshida Y, Inoue S, Lambrechts P, Suzuki K, Shintani H, Van Meerbeek B : Dental Materials 21(2), 110-124, 2005.
- 5 : Temporary restorative resins using non-phthalate ester plasticizers : Tanaka N., Nomura Y., Nishikiori R, Shibata S, Shirai K, Fujitani M : Journal of Dentistry 33(7), 557-583, 2005.
- 6 : 炎症性吸収をきたして下顎切痕部埋伏歯の1例 : 二宮嘉昭, 東川晃一郎, 東森秀年, 信森剛, 富士谷盛興, 鎌田伸之 : 日本口腔外科学会雑誌 51(11), 559-562, 2005.

## B) 総説

## C) 著書

## D) その他の出版物

- 1 : 歯冠色修復材の仕上げ・研磨時の注意点 : 富士谷盛興 : デンタルダイヤモンド増刊号 30(10), 116-119, 2005.
- 2 : WSD 多発患者におけるレジン修復治療の攻略ポイント : 富士谷盛興 : デンタルダイヤモンド増刊号 30(10), 122-123, 2005.
- 3 : メタルボンドやメタルフリー修復の修理, 破損や脱落への対応 : デンタルダイヤモンド増刊号 30(10), 132-137, 2005.

## E) 学会発表

- 1 : 各種ワンステップ接着システムにおける Rubbing Conditioning が歯面処理時間短縮に及ぼす影響について : 柴田暁輝, 北川解士, 荒川 真, 播磨貴裕, 白井憲一, 富士谷盛興 : 日本歯科保存学会 2005 年度春季学会(第 122 回) (札幌), 2005.
- 2 : 紫色 LED が各種光重合開始剤を用いたレジンの重合挙動に及ぼす影響 (第 3 報) -重合後の構成成分の溶出について- : 手島 渉, 野村雄二, 錦織 良, 白井憲一, 田中伸征, 岡崎正之, 名原行徳 : 第 45 回日本歯科理工学会学術講演会 (東京), 2005.
- 3 : SiO<sub>2</sub> フィラー表面への還元剤の固定化とその特性解析 : 柴田暁輝, 白井憲一, 平田伊佐雄, 野村雄二, 富士谷盛興, 岡崎正之 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 4 : ヒト歯髄細胞の増殖・分化に対するエナメルマトリックスタンパクの影響 : 上田浩大, 北川雅恵, 齋藤彰久, 宮内睦美, 小川郁子, 尾田 良, 富士谷盛興, 高田 隆 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 5 : 接着性歯面コート材の臨床評価 -失敗例に学ぶ原因と対策- : 下田哲子, 臺信花菜, 島田昌枝, 原 奈緒美, 北川解士, 柴田暁輝, 畠山知子, 矢野加奈子, 宮川久美, 山下聖子,

- 尾田 良, 白井憲一, 上田浩大, 本山智得, 田村裕子, 富士谷盛興: 第 16 回日本歯科審美学会学術大会 (大阪), 2005.
- 6: 界面機能性ガラスを用いたコンポジットレジン of 長期耐久性に関する研究: 白井憲一, 柴田曉輝, 北川解士, 永田将昭, 富士谷盛興, 新谷英章: 第 2 回界面機能性ガラス研究会報告書 (東京), 2005.
- 7: レーザー処理象牙質におけるレジンの接着性と界面の超微細構造 - 照射エネルギーの大きさの影響について - : 播磨貴裕, 富士谷盛興: 第 17 回日本レーザー歯学会 総会・学術大会 (新潟), 2005.
- 8: 歯面審美コート材「ホワイトコート」: 三島幸司, 本山智得, 大本美樹, 南良いづみ, 引地直子, 下田哲子, 田村裕子, 富士谷盛興: 第 44 回広島県歯科医学会, 第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 9: 還元剤固定化フィラーを用いたコンポジットレジンの物性: 増木恒平, 野村雄二, 柴田曉輝, 平田伊佐雄, 名原行徳, 岡崎正之: 第 46 回日本歯科理工学会学術講演会 (長崎), 2005.
- 10: 接着性歯面コート材の短期的臨床評価 - 種々の評価事項における原因と対策 - : 尾田良, 柴田曉輝, 北川解士, 上田浩大, 本山智得, 白井憲一, 富士谷盛興: 日本歯科保存学会 2005 年度秋季学術大会 (第 123 回), 第 7 回日韓歯科保存学会学術大会 (東京), 2005.

#### F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1: クリニカルセミナー「MI 審美接着修復のための戦略」: 富士谷盛興: 第 16 回日本歯科審美学会学術大会 (大阪), 2005.
- 2: シンポジウム「CO<sub>2</sub> および Er:YAG レーザー照射象牙質面に対するレジンの接着特性」: 富士谷盛興: 第 17 回日本レーザー歯学会 総会・学術大会 (新潟), 2005.
- 3: 講演会「最新の接着と MI 審美修復の戦略」: 富士谷盛興: 平成 16 年度大阪府泉佐野泉南歯科医師会学術大会 (大阪), 2005.
- 4: 講演会「ここまで進化した MI 審美接着修復の理論と実践」: 富士谷盛興: 平成 16 年度愛媛県宇摩歯科医師会学術大会 (松山), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 一般) 継続: 富士谷盛興: レーザー処理された齶蝕象牙質の超微細構造学的、分析化学的变化とレジンの接着性. (課題番号 15592020), 1,300 千円
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 一般) 新規: 富士谷盛興: レーザー処理象牙質における性状解析と新規レジン接着システムの開発に関する研究. (課題番号 17591992), 1,700 千円
- 3: 科学研究費補助金 (基盤研究 (A) 一般) 継続: 富士谷盛興 (分担): シミュレーションシステムの導入による歯科臨床教育の合理化・能率化. (課題番号 16209055), 900 千円 富士谷盛興 (分担) 子田晃一 (代表)
- 4: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)): 白井憲一: 高機能接着性モノマーの開発とその

- システムの確立. (課題番号 16591914), 800 千円
- 5: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)): 田中伸征: 骨代謝系による歯科材料の安全性評価方法の開発. (課題番号 16591913), 800 千円
- 6: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)): 尾田 良: コンカナバリンA処理した未分化間葉系幹細胞を用いた象牙質再生に関する研究. (課題番号 16791157), 900 千円
- 7: 委任経理金 (クラレメディカル株式会社) : 富士谷盛興 : 400 千円
- 8: 委任経理金 (株式会社松風) : 富士谷盛興 : 300 千円
- 9: 委任経理金 (サンメディカル株式会社) : 富士谷盛興 : 500 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 播磨貴裕, 富士谷盛興: レーザー処理象牙質におけるレジンの接着性と界面の超微細構造 - 照射エネルギーの大きさの影響について - : 第 17 回日本レーザー歯学会学術大会優秀発表賞 (新潟), 2005.

#### (6) 特許

## 展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座（口腔外科学研究室）及び口腔再建外科（口腔顎顔面再建外科）

### （１）職員並びに学生

教授 : 鎌田伸之  
助教授 : 杉山 勝（～3月）  
講師 : 井上伸吾、宮内美和（学内）  
助手 : 東森秀年, 東川晃一郎, 太田耕司, 二宮嘉昭, 島末 洋, 小野重弘  
医員 : 信森 剛, 重石英生, 西 裕美, 瀧 雅行  
研修医 : 多田雅治, 島末 理, 南 正彦  
大学院生 : 水田邦子, 三谷佳嗣, 米田進吾, 杉山真一, 平岡美里, 藤井雅之  
研究生 : 清見原正騎, 尾崎健竜, 木下雅恵  
研修登録医 : 井上義久, 河原利哉, 久保美貴

### （２）主な研究活動

- 1 : 顎顔面再建法の改良と機能評価
- 2 : 口腔疾患のゲノム研究
- 3 : 口腔腫瘍の生物学的特性と治療に関する研究
- 4 : 口腔癌の浸潤・転移制御に関する細胞生物学的研究
- 5 : 顎骨のセメント質・骨形成病変の原因遺伝子に関する研究
- 6 : 歯と歯周組織の再生治療に関する細胞生物学的研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : Histone H3 acetylation is associated with reduced p21 WAF1/CIP1 expression by gastric carcinoma : Mitani Y, Oue N, Hamai Y, Aung PP, Matsumura S, Kamata N, Yasui W. : Journal of Pathology. 205, 65-73, 2005
- 2 : Loss of heterozygosity and histone hypoacetylation of the PINX1 gene are associated with reduced expression in gastric carcinoma : Kondo T, Oue N, Mitani Y, Kuniyasu H, Noguchi T, Kuraoka K, Nakayama H, Yasui W. : Oncogene. 24, 157-64, 2005
- 3 : Correlation of CENP-F gene expression with tumor-proliferating activity in human salivary gland tumors. : Shigeishi H, Mizuta K, Higashikawa K, Yoneda S, Ono S, Kamata N. : Oral Oncology 41, 716-722, 2005
- 4 : Molecular cloning and characterization of the murine Gnathodiaphyseal Dysplasia gene GDD1 : Tsutsumi S, Inoue H, Sakamoto Y, Mizuta K, Kamata N, Itakura M. : Biochem Biophys Res

- Commun.331, 1099-106, 2005r
- 5 : Molecular markers distinguish bone marrow mesenchymal stem cells from fibroblasts : Ishi M, Koike C, Igarashi A, Yamanaka K, Pan H, Higashi Y, Kawaguchi H, Sugiyama M, Kamata N, Iwata T, Matsubara T, Nakamura K, Kurihara H, Tsuji K, Kato Y : Biochem Biophys Res Commun. 332, 297-303. 2005
  - 6 : Expression and localization of Reg IV in human neoplastic and non-neoplastic tissues : Reg IV expression is associated with intestinal and neuroendocrine differentiation in gastric adenocarcinoma : Oue N, Mitani Y, Aung PP, Sakakura C, Takeshima Y, Kaneko M, Noguchi T, Nakayama H, Yasui W. : Journal of Pathology. 207, 185-198. 2005
  - 7 : Genes involved in invasion and metastasis of gastric cancer identified by array-based hybridization and serial analysis of gene expression. : Oue N, Aung PP, Mitani Y, Kuniyasu H, Nakayama H, Yasui W : Oncology. 69, 7-22, 2005
  - 8 : Bernard-Soulier 症候群を有する患者の抜歯経験の 1 例 : 湯浅哲也、武知正晃、瀧雅行、前田恵利子、鎌田伸之、長山 勝 : 四国歯学会誌 第 17 卷 2 号 253-256, 2005
  - 9 : ディスポーザブルプローブを用いて舌運動リハビリテーションを行った口腔癌症例 : 日本顎口腔機能学会雑誌. 第 11 卷 2 号 158-159, 2005
  - 10 : 口腔扁平上皮癌における CENPF の発現とリンパ節転移との関係 : 重石英生、水田邦子、東川晃一郎、小野重弘、太田耕司、島末洋、杉山勝、鎌田伸之 : 日本口腔外科学会雑誌. 第 51 卷 2 号 77-81, 2005
  - 11 : 嚢胞様の X 線透過像を示したセメント質骨異形成症の 1 例 : 東川晃一郎、重石英生、宮内美和、井上伸吾、小川郁子、鎌田伸之 : 日本口腔外科学会雑誌 第 51 卷 4 号 184-187, 2005
  - 12 : 剖検により原発性肺癌の舌転移と考えられた 1 例 : 小野重弘、信森 剛、米田進吾、東森秀年、二宮嘉昭、小川郁子、高田 隆、鎌田伸之 : 広島大学歯学雑誌. 第 37 卷 1 号
  - 13 : 能動型臨床研修システムの構築 標準化と個別化に向けて : 田口則宏、小川哲次、田中良治、笹原妃佐子、白井憲一、吉野宏、谷亮治、島末洋、田地豪、安部倉仁、田中栄二、天野秀昭、田口明、實田貫、名原行徳、小川郁子 : 日本歯科医学教育学会雑誌第 21 卷 2 号 196-204. 2005
  - 14 : 原発巣とリンパ節転移巣から樹立した舌扁平上皮癌細胞における発現遺伝子の比較 —転移関連遺伝子同定の試み— : 信森 剛、瀧 雅行、東川晃一郎、小野重弘、重石英生、米田伸吾、二宮嘉昭、杉山 勝、鎌田伸之 : 日本口腔外科学会雑誌. 第 51 卷 10 号 482-488, 2005
  - 15 : 側頭筋内の遊離骨様組織と筋突起過形成様病変により開口障害を呈した 1 例 : 名和明子、島末 洋、重石英生、二宮嘉昭、小川郁子、鎌田伸之. 日本口腔外科学会雑誌. 第 51 卷 11 号 547-550, 2005
  - 16 : 炎症性吸収をきたした下顎切痕部埋伏歯の 1 例 : 二宮嘉昭、東川晃一郎、東森秀年、信森 剛、富士谷盛興、鎌田伸之 : 日本口腔外科学会雑誌. 第 51 卷 11 号 559-562, 2005
  - 17 : 上顎骨延長術における RED system 固定装置の変形の検討 : 太田耕司、東森秀年、杉山勝、信森剛、井上伸吾、谷本幸太郎、丹根一夫、鎌田伸之. 日本顎変形症学会雑誌 第

15 卷 3 号 126-132, 2005

- 18: 先天歯に口蓋垂裂を伴った 1 例: 小野重弘、東川晃一郎、宮内美和、信森剛、重石英生、瀧 雅行、西 裕美、米田進吾、齋藤彰久、鎌田伸之: 小児口腔外科. 第 15 卷 2 号 131-134, 2005
- 19: 生体内吸収性ポリ-L-乳酸プレートによる顎顔面骨骨折の治療: 東森秀年、井上伸吾、宮内美和、東川晃一郎、太田耕司、二宮嘉昭、島末 洋、小野重弘、杉山 勝、鎌田伸之: 広島大学歯学雑誌. 第 37 卷 2 号 145-150, 2005
- 20: 過去 11 年間の当科における小児救急患者の臨床的検討: 宮内美和、井上伸吾、東森秀年、信森 剛、小野重弘、島末 洋、太田耕司、東川晃一郎、二宮嘉昭、鎌田伸之: 日本口腔顎顔面外傷学会雑誌 第 4 卷 2 号 47-51, 2005

## B) 総説

## C) 著書

## D) その他の出版物

## E) 学会発表

- 1: 剖検により原発性肺癌の舌転移と考えられた 1 例: 小野重弘、信森 剛、米田進吾、東森秀年、二宮嘉昭、鎌田伸之: 第 57 回日本口腔科学会総会 2005.(徳島)
- 2: 炎症性吸収を伴った下顎切痕部埋伏智歯の 1 例: 二宮嘉昭、東川晃一郎、東森秀年、信森剛、富士谷盛興、鎌田伸之: 第 34 回日本口腔外科学会 中・四国地方会 2005.(米子)
- 3: 埋伏歯冠と萌出歯根とのセメント質結合を示した癒着歯の 1 例: 杉山勝、東森秀年、東川晃一郎、宮内美和、井上伸吾、鎌田伸之: 第 34 回日本口腔外科学会 中・四国地方会 2005.(米子)
- 4: RED system における Leipzig retention plate とステンレス製アーチワイヤの物性についての検討: 太田耕司、東森秀年、久保美貴、井上伸吾、杉山 勝、鎌田伸之、谷本幸太郎、丹根一夫: 第 15 回日本顎変形症学会総会 2005.(徳島)
- 5: 口腔内からポジショニングシステムを応用し吸収性ポリ-L-乳酸プレートで固定した下顎枝矢状分割の 2 例: 東森秀年、杉山 勝、井上伸吾、宮内美和、小野重弘、太田耕司、鎌田伸之、中田佳子、田部英樹、丹根一夫: 第 15 回日本顎変形症学会総会 2005.(徳島)
- 6: 扁平上皮癌細胞における上皮・間葉移行による MMP-2 発現上昇機構の解析: 瀧雅行、鎌田伸之: 第 38 回広島大学歯学会総会 2005.(広島)
- 7: 口腔扁平上皮癌におけるヒトパピローマウイルス 16 型の存在と 5 年生存率との関係について: 杉山勝、Ujial Kumar Bhawal、河村誠、石岡康希、重石英生、藤本比登実、鎌田伸之: 第 38 回広島大学歯学会総会 2005.(広島)
- 8: 過去 10 年間の小児救急患者の臨床統計的検討: 宮内美和、小野重弘、太田耕司、二宮嘉昭、井上伸吾、鎌田伸之: 第 7 回日本口腔顎顔面外傷学会総会学術大会 2005.(千葉)
- 9: 不死化口腔粘膜上皮細胞、線維芽細胞における炎症性ケモカイン発現の検討: 太田耕司、

- 重石英生、信森剛、瀧雅行、井上伸吾、鎌田伸之：第 15 回日本口腔粘膜学会 2005.(熊本)
- 10：顎骨骨幹異形成症の原因遺伝子 GDD1 の発現解析:水田邦子、井上寛、堤 聡、板倉光夫、鎌田伸之：第 23 回日本骨代謝学会学術集会 2005.(大阪)
- 11：筋突起と側頭筋内に生じた異所性石灰化により開口障害を呈した 1 例：島末 洋、名和明子、重石英生、二宮嘉昭、小川郁子、鎌田伸之：第 18 回日本顎関節学会総会・学術大会 2005.(松江)
- 12：口腔扁平上皮癌における CCND2 のメチル化の検討：小野重弘、米田進吾、重石英生、瀧雅行、東川晃一郎、安井弥、鎌田伸之：第 64 回日本癌学会学術総会 2005.(札幌)
- 13：胃癌における Reg IV の発現と 5FU 耐性との関連：三谷佳嗣、大上直秀、吉田和弘、国安弘基、鎌田伸之、安井弥：第 64 回日本癌学会学術総会 2005.(札幌)
- 14：Epithelial-Mesenchymal Transition に伴って発現低下する新規細胞間接着関連分子 Calmin：高石樹朗、瀧雅行、鎌田伸之、許 南浩（第 64 回日本癌学会学術総会 2005.9.14 札幌）
- 15：口腔癌における BAC-array を用いた DNA メチル化領域の網羅的探索：中川貴之、横井左奈、井上純、鈴木江美奈、Atiphan Pimkhaokham、鎌田伸之、小村健、井本逸勢、稲澤讓治：第 64 回日本癌学会学術総会 2005.(札幌)
- 16：上皮・間葉移行を介した扁平上皮癌の高度悪性化における p63 の発現変化：東川晃一郎、瀧 雅行、米田進吾、重石英生、小野重弘、鎌田伸之：第 64 回日本癌学会学術総会 2005.(札幌)
- 17：扁平上皮癌における Snail と Ets-1 による遺伝子発現制御の解析：瀧雅行、東川晃一郎、米田進吾、小野重弘、重石英生、鎌田伸之：第 64 回日本癌学会学術総会 2005.(札幌)
- 18：原発とリンパ節転移巣由来舌扁平上皮癌細胞の転移関連遺伝子検索：信森 剛、瀧 雅行、東川晃一郎、小野重弘、重石英生、米田進吾、二宮嘉昭、鎌田伸之：第 50 回日本口腔外科学会総会 2005.(大阪)
- 19：口腔扁平上皮癌における CCND2 の発現の検討：小野重弘、米田進吾、重石英生、瀧雅行、信森剛、東川晃一郎、鎌田伸之（第 50 回日本口腔外科学会総会 2005.(大阪)
- 20：唾液腺腫瘍における CENP-F の発現解析：重石英生、水田邦子、東川晃一郎、小野重弘、鎌田伸之（第 50 回日本口腔外科学会総会 2005.10.24 大阪）
- 21：EMT を介した扁平上皮癌の高度悪性化における p63 発現の検討: 東川晃一郎、瀧 雅行、米田進吾、重石英生、鎌田伸之：第 50 回日本口腔外科学会総会 2005.10.24 大阪)
- 22：顎下部に発生した木村氏病の 1 例：宮内美和、島末 洋、重石英生、小川郁子、杉山勝、宮内睦美、鎌田伸之：第 50 回日本口腔外科学会総会 2005.(大阪)
- 23：扁平上皮癌細胞における Snail と Ets-1 による網羅的発現解析：瀧 雅行、東川晃一郎、米田進吾、小野重弘、重石英生、鎌田伸之：第 50 回日本口腔外科学会総会 2005.(大阪)
- 24：マウス骨髄間質細胞の歯原性細胞への分化誘導：前田恵利子、里村一人、徳山麗子、瀧雅行、工藤景子、山崎泰文、鎌田伸之、長山勝：第 50 回日本口腔外科学会総会 2005.(大阪)
- 25：口蓋垂裂を伴った先天歯（過剰歯）の 1 例：小野重弘、東川晃一郎、宮内美和、信森剛、瀧雅行、西裕美、鎌田伸之：第 53 回日本口腔科学会中国・四国地方部会 2005.(高松)
- 26：吸収性プレートによる顎骨骨折治療：東森秀年、井上伸吾、宮内美和、東川晃一郎、太田耕司、二宮嘉昭、島末洋、小野重弘、杉山 勝、鎌田伸之：第 44 回広島県歯科医学会、



第 89 回広島大学歯学会例会 2005. (広島)

- 27: 炎症性サイトカインによる不死化口腔粘膜上皮細胞、線維芽細胞におけるケモカイン発現の検討: 太田浩司、瀧雅行、西裕美、重石英生、鎌田伸之: 第 42 回日本口腔組織培養学会 2005(広島)
- 28: 扁平上皮癌細胞における上皮・間葉移行による Snail と Ets-1 を介した遺伝子発現制御: 瀧 雅行、東川晃一郎、米田進吾、太田浩司、小野重弘、重石英生、鎌田伸之: 第 42 回日本口腔組織培養学会 2005. (広島)

#### F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1: 顎骨のセメント質骨形成疾患の原因遺伝子: シンポジウム「骨疾患研究の最前線」: 鎌田伸之: 第 57 回に本稿効果が句会総会 2005(徳島)
- 2: エナメルマトリックスタンパクによるヒト口腔組織由来細胞の石灰化機構: ミニシンポジウム「骨細胞分化関連遺伝子」: 武蔵哲貞、永井宏和、畠山成和、大貫敬嘉、三好康太郎、福田雅幸、鎌田伸之、長山勝、宮本洋二: 第 57 回日本口腔科学会総会 2005 (徳島)
- 3: 上皮・間葉移行を介した扁平上皮癌の高度悪性化における p63 の発現と機能解析: ミニシンポジウム「口腔癌細胞における情報伝達機構の制御」: 東川晃一郎、米田進吾、瀧 雅行、重石英生、小野重弘、鎌田伸之: 第 57 回日本口腔科学会総会 2005.(徳島)
- 4: 扁平上皮癌細胞における上皮・間葉移行に伴う Wnt-5a の発現誘導の意義: ミニシンポジウム「口腔癌細胞における情報伝達機構の制御」: 瀧 雅行、鎌田伸之、友成真弓、長山勝: 第 57 回日本口腔科学会総会 2005. (徳島)
- 5: 顎骨骨幹異形成症の原因遺伝子 GDD1 の発現解析: ミニシンポジウム「疾患関連遺伝子の解析」: 水田邦子、井上 寛、堤 聡、鎌田伸之、板倉光夫: 第 57 回日本口腔科学会総会 2005. (徳島)
- 6: 口腔扁平上皮癌における CENP-F の発現解析: ミニシンポジウム「細胞生物学②」: 重石英生水田邦子、東川晃一郎、小野重弘、杉山勝、鎌田伸之: 第 57 回日本口腔科学会総会 2005.(徳島)
- 7: 口腔外科の新しい臨床: 鎌田伸之: 広島市歯科医師会学術研修会 2005.
- 8: 口腔外科臨床の新展開: 鎌田伸之: 広島大学歯学部同窓会講演 2005.
- 9: 顎骨の病気と手術に対する当科の取り組み: 鎌田伸之: 広島矯正歯科医会学術講演 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)一般) 継続 : 鎌田伸之: 上皮・間葉移行による口腔癌の浸潤転移機構の解明. (課題番号 15390616), 17,000 千円
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)一般) 継続 : 杉山 勝: 口腔扁平上皮癌の発癌へのヒトパピローマウイルスの関与について. (課題番号 16390590), 3,100 千円
- 3: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 一般) 新規 : 東川晃一郎: 口腔癌の浸潤・転移に関与する上皮・間葉移行機構における p 6 3 の役割. (課題番号 17592085), 1,700 千円
- 4: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規 : 太田耕司: 炎症性口腔粘膜疾患の発症機構に

関する細胞生物学的研究. (課題番号 17791460), 1,300 千円

5: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規 : 重石英生 : ヒト唾液腺腫瘍における CENP 遺伝子の発現および機能解析. (課題番号 17791461), 1,600 千円

6: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規 : 小野重弘 : 口腔癌における EGF R の遺伝子変異・増幅・発現とそれを標的とした治療薬の基礎研究. (課題番号 17791462), 2,600 千円

7: 科学研究費補助金 (萌芽研究) 継続 : 鎌田伸之 : 顎骨骨幹異形成症の原因遺伝子の同定と機能解析. (課題番号 16659555), 1,300 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

1: 小野重弘 : 優秀ポスター賞, 第 57 回日本口腔科学会総会 2005. 4. 22

2: 東川晃一郎 : ゴールドリボン賞, 第 50 回日本口腔外科学会総会 2005. 10. 24

3: 瀧 雅行 : メダリティス賞, 第 50 回日本口腔外科学会総会 2005. 10. 24

#### (6) 特許

# 展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座（先端歯科補綴学研究室）及び口腔維持修復歯科（口腔インプラント診療科）

## （１）職員並びに学生

教授	: 赤川安正
助教授	: 津賀一弘
講師	: 久保隆靖, 阿部泰彦, 吉田光由 (学内)
助手	: 田地 豪, 日浅 恭, 山中威典, 是竹克紀, 正木千尋 (3月まで), 林 亮(11月から)
事務補佐員	: 草田智子, 進藤明子
医員	: 佐藤恭子 (3月まで), 竹内真帆 (4月から), 林 亮 (4月から10月まで)
研修医	: 竹内真帆 (3月まで), 永井伸郎 (3月まで), 吉川峰加 (4月から)
大学院生	: 安田以久 (3月まで), 趙 岩, 土井一矢, 林 和彦, 歌野原有里, 甲元友久, 平田 誠, 宮本泰成, 森川英彦, 岡田源太郎, 河村崇久, 松浦 歩, 森田晃司, 生熊義正, 金久弥生 (4月から)
リサーチレジデント	: 林 亮 (3月まで)
その他	: 吉川峰加 (アメリカ合衆国ノースウエスタン大学に留学: 1月から3月まで)

## （２）主な研究活動

- 1: インプラントの新素材の開発と臨床応用
- 2: 間葉系幹細胞を用いたハイブリッド人工骨の開発
- 3: FGFがインプラント周囲骨の骨形成能に及ぼす影響
- 4: インプラント周囲および義歯の生体力学解析
- 5: 歯科補綴治療が高齢者のQOLに及ぼす影響
- 6: 高齢者の義歯と嚥下機能
- 7: 舌機能評価を応用した摂食嚥下リハビリテーションの確立

## （３）研究業績

### A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Fatigue behavior of packable composites : Abe Y, Braem M J A, Lambrechts P, Inoue S, Takeuchi M and Van Meerbeek B : Biomaterials, 26(17), 3405-3409, 2005.

- 2: Bone response around immediately versus delayed loaded oral implants supporting ill-fitting prostheses : Duyck J, Vrielinck L, Lambrichts I, Abe Y, Schepers S, Politis C and Naert I : *Clinical Implant Dentistry & Related Research*, 7(3), 150-158, 2005.
- 3: 卒後臨床研修の総括的評価における OSCE の可能性 : 田口則宏, 小川哲次, 笹原妃佐子, 白井憲一, 吉野 宏, 谷 亮治, 島末 洋, 田地 豪, 安部倉 仁, 田中榮二, 天野秀昭, 田口 明, 寶田 貫, 名原行徳, 小川郁子 : *日歯教誌* 20(1), 127-134, 2005.
- 4: 要介護高齢者の食事形態と全身状態および舌圧との関係 : 津賀一弘, 吉田光由, 占部秀徳, 林 亮, 吉川峰加, 歌野原有里, 森川英彦, 赤川安正 : *日本咀嚼学会雑誌* 14(2), 62-67, 2005.
- 5: In utero and lactational exposure to 2,3,7,8-tetrachlorodibenzo-p-dioxin (TCDD) affects tooth development in rhesus monkeys : Yasuda I, Yasuda M, Sumida H, Tsusaki H, Arima A, Ihara T, Kubota S, Asaoka K, Tsuga K, Akagawa Y : *Reproductive Toxicology*, 20(1), 21-30, 2005.
- 6: Influence of mental status on removable prosthesis compliance in institutionalized elderly persons : Taji T, Yoshida M, Hiasa K, Abe Y, Tsuga K and Akagawa Y : *Int. J. Prosthodont.*, 18(2), 146-149, 2005.
- 7: 機能的口腔ケアが要介護高齢者の舌機能に与える効果 : 菊谷武, 田村文誉, 須田牧夫, 萱中寿恵, 西脇恵子, 伊野透子, 吉田光由, 林亮, 津賀一弘, 赤川安正, 足立三枝子, 米山武義, 伊藤英俊, 大石暢彦, 稲葉繁 : *老年歯学* 19(4), 300-306, 2005.
- 8: Application of a palatal plate in amyotrophic lateral sclerosis: a case report : Nagasaki T, Yoshida M, Yamashina A, Suei Y and Tanimoto K : *Oral Radiol*, 20, 76-79, 2004.
- 9: 歯科衛生士学生における口腔清掃中止実習からの教育的効果の検討 : 松本厚枝, 原久美子, 森岡志摩, 竹本俊伸, 森下真行, 赤川安正 : *日歯教誌* 20A(2), 47-52, 2005.
- 10: Aspects of swallowing in healthy dentate elderly persons older than 80 years : Yoshikawa M, Yoshida M, Nagasaki T, Tanimoto K, Tsuga K, Akagawa Y and Komatsu T : *Journal of Gerontology: MEDICAL SCIENCES* 60A(4), 506-509, 2005.
- 11: 「高齢者ソフト食」摂取者の食事形態と舌圧の関係 : 津賀一弘, 島田瑞穂, 黒田留美子, 林 亮, 吉川峰加, 佐藤恭子, 齊藤慎恵, 吉田光由, 前田祐子, 木田 修, 赤川安正 : *日摂食嚥下リハ会誌* 9(1), 56-61, 2005.
- 12: 能動型臨床研修システムの構築—標準化と個別化に向けて— : 田口則宏, 小川哲次, 田中良治, 笹原妃佐子, 白井憲一, 吉野 宏, 谷 亮治, 島末 洋, 田地 豪, 安部倉 仁, 田中榮二, 天野秀昭, 田口 明, 寶田 貫, 名原行徳, 小川郁子 : *日歯教誌* 21(2), 196-204, 2005.
- 13: New surface modification of titanium implant with phospho-amino acid : Abe Y, Hiasa K, Takeuchi M, Yoshida Y, Suzuki K and Akagawa Y : *Dental Materials Journal* 24(4), 536-540, 2005.
- 14: Eight year mortality associated with dental occlusion and denture use in community-dwelling elderly persons : Yoshida M, Morikawa H, Yoshikawa M, Tsuga K, Akagawa Y : *Gerodontology* 22, 234-237, 2005.
- 15: 認定医症例報告 両側臼歯部咬合支持を喪失した1症例 : 日浅 恭 : *補綴誌* 49(2), 294-297, 2005.

## B) 総説

## C) 著書

- 1 : 歯の欠損と補綴, インプラント ; 今日の治療指針 2005 年版 : 赤川安正 : 医学書院 (東京), 1059-1060, 2005.
- 2 : 寝たきり者への口腔ケア (分担) ; 歯科衛生士のための高齢者歯科学 : 金久弥生, 山根次美, 吉田光由 : 永末書店 (東京), 284-287, 2005.
- 3 : 口腔インプラントの発展とオッセオインテグレーション (分担) ; よくわかる口腔インプラント学 (新版) (赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邊文彦編) : 赤川安正 : 医歯薬出版 (東京), 1-4, 2005.
- 4 : 口腔インプラントの新しい方向—将来の展望— ; よくわかる口腔インプラント学 (新版) (赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邊文彦編) : 赤川安正 : 医歯薬出版 (東京), 237-239, 2005.
- 5 : . 赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邊文彦編, よくわかる口腔インプラント学 (新版) 久保隆靖医歯薬出版, 東京, 2005
- 6 : 咀嚼と舌運動 ; よくわかる顎口腔機能 (日本顎口腔機能学会編) : 津賀一弘, 赤川安正 : 医歯薬出版 (東京), 124-125, 2005.
- 7 : コンプリートデンチャーテクニック (第5版) (細井紀雄, 早川 巖, 平井敏博, 長岡英一, 赤川安正編) : 医歯薬出版 (東京), 2005.

## D) その他の出版物

- 1 : 痴呆高齢者における転倒と咬合との関係 : 吉田光由, 森川英彦, 歌野原有里, 林 亮, 津賀一弘, 赤川安正 : 日本咀嚼学会雑誌 : 14(2):80-81, 2005.
- 2 : 部分無歯顎患者の上部構造を支持する焼結多孔性インプラントの歯冠/歯根比の評価 (訳) : 松浦 歩, 是竹克紀, 赤川安正 : クインテッセンス・デンタルインプラント ロジ—12(4) : 102-111, 2005.
- 3 : ケア目標設定のための口腔ケアアセスメント表の作成に向けて : 吉田光由 : デンタルハイジーン 25(4):355-359, 2005.
- 4 : 健康な心と身体は口腔から～発ヨコハマ 2004～ポスターセッション 304 歯科が介護チームに積極参加できる口腔関連圧力診断とリハビリテーション : 林 亮, 歌野原有里, 森川英彦, 吉川峰加, 田地 豪, 吉田光由, 津賀一弘, 赤川安正 : 歯界展望, 特別号 : 350, 2005.
- 5 : 健康な心と身体は口腔から～発ヨコハマ 2004～総会シンポジウム 8. 摂食嚥下機能障害を歯科からアプローチする ; 機能回復を目標とした舌機能評価と補綴臨床への応用 : 津賀一弘 : 歯界展望, 特別号,124, 2005.
- 6 : 健康な心と身体は口腔から～発ヨコハマ 2004～テーブルクリニック 04 新型簡易舌圧計測装置を用いた口腔関連圧力測定の実際 : 吉田光由, 津賀一弘, 林 亮, 歌野原有里, 赤川安正 : 歯界展望, 特別号, 238, 2005.

- 7: 健康な心と身体は口腔から～発ヨコハマ 2004～ポスターセッション 306 口内法 X 線写真を用いた骨質の検討：平田 誠，是竹克紀，永井伸郎，田口 明，佐藤裕二，谷本啓二，赤川安正：歯界展望，特別号，351，2005.
- 8: 上顎無歯顎部における固定式補綴物を支持する即時負荷インプラント：臨床的および X 線学的予備報告（訳）：森田晃司，是竹克紀，赤川安正：クインテッセンス・デンタルインプラントロジー，12(6)：97-105，2005.
- 9: Functional dental occlusion may prevent falls in elderly individuals with dementia : Yoshida M, Morikawa H, Kanehisa Y, Taji T, Tsuga K, Akagawa Y : J Am Geriatr Soc,53(9), 1631, 2005.
- 10: 歯と生命予後：吉田光由，赤川安正：ジェロントロジーニューホライズン，17(3)：8-11，2005.
- 11: Interview：補綴歯科治療により，国民の QOL の維持・向上，健康長寿へ貢献する：赤川安正：補綴臨床，38(6)，668-671，2005.
- 12: 「私の工具箱」温度管理に重宝する“放射温度計”について：津賀一弘，下江宰司，赤川安正：歯科評論，65(12)，67-70，2005.
- 13: インプラント周囲の一酸化窒素代謝に対する炎症の重症度および早期／晩期負荷の影響の分析（訳）：松浦 歩，是竹克紀，赤川安正：クインテッセンス・デンタルインプラントロジー，13(1)，86-96，2005.
- 14: 口からはじまる，健康長寿 80 歳 : 赤川安正：季刊がんぼ，8，17，2005.

#### E) 学会発表

- 1: New Method for Study on Initial Bone Healing around Implant : Miyamoto Y, Koretake K, Taguchi A, Hirata M, Tanimoto K, Akagawa Y : The International Association for Dental Research(Baltimore), 2005.
- 2: Correlation between Insertion Torques and Bone Quality by Intraoral Radiographs : Hirata M, Koretake K, Taguchi A, Nagai N, Tanimoto K, Akagawa Y : The International Association for Dental Research(Baltimore), 2005.
- 3: 新しい簡易舌圧測定法の妥当性：吉田光由，津賀一弘，歌野原有里，林 亮，吉川峰加，赤川安正：日本補綴歯科学会第 113 回学術大会(大阪市)，2005.
- 4: Maximum Voluntary Tongue Pressure in Healthy Japanese Adults -A Multi-center Study- : Tsuga K, Utanohara Y, Hayashi R, Nokubi T, Terada Y, Hayakawa I, Shimoyama K, Sakurai K, Ichikawa T, Kikutani T, Kawasaki T, Akagawa, Y : 日本補綴歯科学会第 113 回学術大会(大阪市)，2005.
- 5: 骨芽細胞様細胞内の接着タンパク・カドヘリン発現に及ぼす bFGF の影響：甲元友久，山中威典，正木千尋，赤川安正：日本補綴歯科学会第 113 回学術大会(大阪市)，2005.
- 6: Bone formation by mesenchymal stem cells with newly-developed interconnected porous hydroxyapatite scaffold : A beagle dog study : Doi K, Kubo T, Masaki T, Hayashi K, Imura K, Akagawa Y : The 11th Meeting of the International College of Prosthodontists (Creta), 2005.

- 7: Initial crestal bone loss of early loaded implants with different modified surfaces : Matsuura A, Hirata M, Kubo T, Akagawa Y : The 4th Biennial Congress of Asian Academy of Prosthodontics (Bangkok), 2005.
- 8: 印象・筋圧形成用コンパウンドキャリアシステムの開発 : 田地 豪, 林 亮, 吉川峰加, 吉田光由, 阿部泰彦, 久保隆靖, 津賀一弘, 赤川安正, 湯浅良孝 : 日本補綴歯科学会中国・四国支部九州支部合同学術大会(山口市), 2005.
- 9: 骨髄間質細胞を用いたハイブリッド人工骨による骨再生法に関する研究 : 骨分化誘導期間による骨形成能の評価 : 土井一矢, 久保隆靖, 林和彦, 井村浩一, 朝森千永子, 赤川安正 : 第 35 回日本口腔インプラント学会総会・学術大会(弘前市), 2005.
- 10: 表面性状の異なるインプラントへの早期負荷が骨頂部骨吸収に与える影響 : 久保隆靖, 平田 誠, 松浦 歩, 赤川安正, 本川博崇, 岡根秀明 : 日本補綴歯科学会第 114 回学術大会(新潟市), 2005.
- 11: 健常高齢者における咬合と転倒との関係ー動的運動能力の検討ー : 森川英彦, 吉田光由, 歌野原有里, 岡田源太郎, 河村崇久, 吉川峰加, 林 亮, 米山武義, 津賀一弘, 菊谷 武, 赤川安正 : 日本補綴歯科学会第 114 回学術大会(新潟市), 2005.
- 12: New Biochemical Modification of Titanium Implant with Phospho-RGD Peptide : Takeuchi M, Abe Y, Zhao Y, Hiasa K, Akagawa Y : The 1st Congress of Asian Academy of Osseointegration (Seoul), 2005.
- 13: A novel evaluation of bone quality : Correlation between Insertion Torque and Bone Quality as Evaluated by Intraoral Radiographs : Hirata M, Koretake K, Miyamoto Y, Akagawa Y : The 1st Congress of Asian Academy of Osseointegration (Seoul), 2005.
- 14: bFGF ドラッグデリバリーシステムを用いた顎骨再生法の開発 : 林 和彦, 久保隆靖, 山中威典, 土井一矢, 松浦歩, 森田晃司, 赤川安正 : 第 25 回日本口腔インプラント学会中国四国支部学術大会(岡山市), 2005.
- 15: 新しいコンパウンドキャリアシステムによる筋圧形成の簡便化 : 田地 豪, 林 亮, 吉川峰加, 吉田光由, 阿部泰彦, 久保隆靖, 津賀一弘, 赤川安正 : 第 44 回広島県歯科医学会第 89 回広島大学歯学会(広島市), 2005.
- 16: Edentulism and Nutritional Status among Community-Dwelling Elderly in Japan : Kawamura T, Yoshida M, Kikutani T, Tamura F, Akagawa Y : The 53th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research (Okayama), 2005.

#### F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1: 歯科領域から求められているバイオマテリアル : 赤川安正 : ニューセラミック懇話会バイオ関連セラミック分科会第 8 会研究会(大阪市), 2005.
- 2: 理事長講演 歯科補綴の未来価値 : 赤川安正 : 日本補綴歯科学会第 113 回学術大会(大阪市), 2005.
- 3: シンポジウムⅡ (日本学術会議咬合学研究連絡委員会併催) 咬合・咀嚼が創る健康長寿ーライフステージを俯瞰する咬合ー高齢者の健康と咬合 : 赤川安正 : 日本補綴歯科学会第 113 回学術大会(大阪市), 2005.

- 4: 歯科保険診療における補綴関連検査等について：赤川安正：平成 17 年度社会保険大学校・指導医療官研修(千葉県白井市), 2005.
- 5: インプラントの咬合—「いまわかっていること」「わかっていないこと」：赤川安正：日本全身咬合学会第 7 回認定研修セミナー(東京都), 2005.
- 6: 理工学と関連学会・企業との連携 歯科補綴学と歯科理工学の連携のサクセス：赤川安正：平成 17 年度日本歯科理工学会近畿・中四国支部夏期セミナーシンポジウム(佐伯郡), 2005.
- 7: シンポジウム 2 転倒予防の新視点—認知症高齢者の転倒と咬合の関係：吉田光由, 森川英彦, 金久弥生, 赤川安正：転倒予防医学研究会第 2 回研究集会 (京都府), 2005.
- 8: シンポジウム「日本歯科保存学会への期待と提言」：赤川安正：日本歯科保存学会設立 50 周年記念大会 (東京), 2005.
- 9: 市民公開シンポジウム「口と全身の健康」要介護高齢者への口腔ケアの重要性：吉田光由：The 53th Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research (岡山市), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) 一般) 新規：赤川安正：オッセオインテグレーションの喪失予知システムの開発。(課題番号 17390519), 9,900 千円
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) 一般) 新規：津賀一弘：高齢者の義歯治療効果を向上させる新しい口腔パワーリハビリテーション法の開発。(課題番号 17390520), 10,200 千円
- 3: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規：是竹克紀：インプラントの初期固定予測システムの新開発。(課題番号 17791392), 1,800 千円
- 4: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 新規：竹内真帆：リン酸化ペプチドを応用したチタンインプラントの生物学的表面改質。(課題番号 17791391), 2,500 千円
- 5: 科学研究費補助金 (萌芽研究) 継続：赤川安正：間葉系幹細胞を応用したバイオハイブリッド人工骨の開発。(課題番号 16659536), 1,200 千円
- 6: 科学研究費補助金 (萌芽研究) 継続：久保隆靖：骨梁面積とフラクタル次元を用いる新しい口内法 X 線写真骨質診断の試み。(課題番号 16659535), 1,200 千円
- 7: 科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)一般) 継続：久保隆靖：早期負荷インプラントを成功させるガイドラインの作成。(課題番号 16390558), 2,900 千円
- 8: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (2)一般) 継続：阿部泰彦：接着細胞の配列を制御するチタンインプラントの表面改質法。(課題番号 16591951), 1,200 千円
- 9: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (2)一般) 継続：吉田光由：舌による食塊保持は誤嚥防止の鍵となるか。(課題番号 16591954), 2,000 千円
- 10: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (2)一般) 継続：田地 豪：EBM に基づく高齢者の義歯治療の診断ストラテジー。(課題番号 16591952), 1,400 千円
- 11: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 継続：日浅 恭, インプラント上部構造咬合面



形態への力学的解析の応用. (課題番号 16791192), 1,400 千円

12: 科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 継続: 山中威典: 骨芽細胞の骨形成能に及ぼす FGF スーパーファミリーの関与. (課題番号 16791190), 1,500 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

## 展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座（歯科補綴学研究室） 及び口腔維持修復歯科（咬合・義歯診療科）

### （１）職員並びに学生

教授 : 濱田泰三  
助教授 : 貞森紳丞  
講師 : 村田比呂司, 安部倉仁 (学内)  
助手 : 西村正宏, 牧平清超, 井上俊二, 洪 光  
事務補佐員 : 宮川路子  
医員 : 香川和子, 内山裕絵  
研修医 : 西村春樹, 原田佳枝, 重岡美代子, 中野 香 (9月まで), 三好浩之, 大久保香, 川越亮利, 福田剛人, 藤本伸一  
大学院生 : 青木美枝, 尾崎由衛, 中野田紳一, 関谷健祐, 李英愛, 末廣史雄, 林田健太郎, 前田武志, 水町亘  
留学生 : 妹尾清子 (6月まで)  
研修登録医 : 古胡真佐美, 深野木豊, 藤田英子, 平塩清滋

### （２）主な研究活動

- 1: 間葉系幹細胞を有効に移植する方法の開発
- 2: 間葉系幹細胞の骨分化に関わる分子生物学的解析
- 3: 低侵襲な顎堤増生法の開発
- 4: 高齢者（認知症）における補綴治療と全身状態との関連
- 5: 精神障害と歯科診療
- 6: 義歯安定剤の開発
- 7: 歯科材料のレオロジー及び義歯裏装材の開発に関する研究
- 8: 義歯裏装材の ISO 規格の制定
- 9: 顎機能障害に対する保存療法の筋電図学的研究
- 10: 少数歯欠損補綴及び動揺歯固定の接着技法に関する研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : Intercellular Adhesion Molecule 1-Dependent Activation of Interleukin 8 Expression in Candida albicans- Infected Human Gingival Epithelial Cells : Egusa H, Nikawa H, Makihira S, Jewett A, Yatani H, Hamada T : Infection and Immunity 73, 622-626, 2005.
- 2 : Physical Properties and Additional Characteristics of Current elastomeric impression

- materials : Hong G, Murata H, Li Y A, Hamada T : *Int Chin J Dent* 5, 80-90, 2005.
- 3 : Compatibility of Tissue Conditioners and Dental Stones : Effect on Surface Roughness : Murata H, Hong G, Li Y A, Hamada T : *J Prosthet Dent* 93, 274-281, 2005.
- 4 : Viscoelasticity of Dental Tissue Conditioners during the Sol-gel Transition : Murata H, Chimori H, Hamada T, McCabe J F : *J Dent Res* 84, 376-381, 2005.
- 5 : Clock Gene Expression in the Submandibular Glands : Furukawa M, Kawamoto T, Noshiro M, Honda K K, Sakai M, Fujimoto K, Honma S, Honma K, Hamada T, Kato Y : *J Dent Res* 84, 1193-1197, 2005.
- 6 : Tissue-Specific Disruption of Rhythmic Expression of *Dec1* and *Dec2* in Clock Mutant Mice : Noshiro M, Furukawa M, Honma S, Kawamoto T, Hamada T, Honma K, Kato Y : *J Biological Rhythms* 20, 404-418, 2005.
- 7 : Alveolar Bone Marrow as a Cell Source for Regenerative Medicine : Differences Between Alveolar and Iliac Bone Marrow Stromal Cells : Matsubara T, Suardita K, Ishii M, Sugiyama M, Igarashi A, Oda R, Nishimura M, Saito M, Nakagawa K, Yamanaka K, Miyazaki K, Shimizu M, Bhawal U, Tsuji K, Nakamura K, Kato Y : *J Bone Miner Res* 20, 399-409, 2005.
- 8 : Association of Expression of Receptor for Advanced Glycation end Products and Invasive Activity of Oral Squamous Cell Carcinoma : Bhawal U K, Ozaki Y, Nishimura M, Sugiyama M, Sasahira T, Nomura Y, Sato F, Fujimoto K, Sasaki N, Ikeda M A, Tsuji K, Kuniyasu H, Kato Y : *Oncology* 69, 246-255, 2005.
- 9 : Evaluation of Setting Behavior of Resilient Denture Liners Using Displacement Rheometer : Zhao J, Hong G, Li Y A, Murata H, Hamada T, Jin C : *Clinic Med Chin* 21, 779-781, 2005. (in Chinese)
- 10 : The Development of the Measuring Method of the Working Time and Setting Time of the Tissue Conditioner : Zhao J, Hong G, Li Y A, Murata H, Hamada T, Jin C : *J Capit Univ Med Scienc* 26, 505-508, 2005. (in Chinese)
- 11 : Immobilization of Octadecyl Ammonium Chloride on the Surface of Titanium and Its Effects on Microbial Colonization In Vitro : Nikawa H, Ishida K, Hamada T, Satoda T, Murayama T, Takemoto T, Tamamoto T, Tajima H, Shimoe S, Fujimoto H, Makihiro S : *Dent Mater J* 24, 4, 570-582, 2005.
- 12 : Compatibility of tissue conditioners and dental stones: effect on surface roughness : Murata H, Hong G, Li YA, Hamada T : *J Prosthet Dent* 93, 274-281, 2005.
- 13 : Comparison of the recognition of denture adhesive between Japanese and Indonesian dentists : A pilot study : Sadamori S, Hamada T, Hong G, Nakai N, Kawamura M, Razak A : *Dent J* 38, 189-193, 2005.
- 14 : 口腔カンジダの付着およびバイオフィルム形成 : 二川浩樹, 牧平清超, 江草宏, 福島整, 川端涼子, 濱田泰三, 矢谷博文 : *日本医真菌学会雑誌* 46, 233-242, 2005.
- 15 : 本学病院の歯科領域で臨床教育や研修を受けている者の医療事故に対する保険と傷害保険への加入状況について : 笹原妃佐子, 河村 誠, 貞森紳丞, 田口則宏, 小川哲次 : *日歯教誌* 20, 390-395, 2005.

- 16 : 高分子ヒアルロン酸による半透過膜／包帯形成 : HA-プロテオグリカン-フィブロネクチンネットワークの傷害組織に対する保護作用—進化と保存 : 加藤幸夫, 西村正宏, 中村茂夫 : 臨床リウマチ 17, 113-117, 2005.
- 17 : 光触媒を応用した義歯洗浄剤と義歯洗浄の新しい概念(臨床) : 二川浩樹, 牧平清超, 西村正宏, 佐々木正和, 濱田泰三 : 広島歯科医学雑誌 32, 1-11, 2005.
- 18 : 欠損歯列編義歯安定剤の効用—義歯安定剤は有効であるか否か : 村田比呂司, 濱田泰三, 二川浩樹 : Year Book 2005 現代の治療指針 全治療分野と欠損補綴, 伊藤公一, 細見洋泰, 安田 登編, ザ・クインテッセンス, 別冊, 96-97, 2005.
- 19 : 金属アレルギー被疑患者に対するパッチテスト, 元素分析の有効性 : 牧平清超, 二川浩樹, 内山裕絵, 安部倉仁, 貞森紳丞, 小川郁子, 田中武志, 高田 隆, 香西克之, 濱田泰三 : 広島歯誌 33, 32-36, 2005.
- 20 : 当科におけるインプラント治療の取り組み-立ち上げから5年間の経過報告-(臨床) : 西村正宏, 牧平清超, 杉山勝, 鎌田伸之, 貞森紳丞, 濱田泰三 : 広島歯科医学雑誌 33, 27-31, 2005.

## B) 総説

## C) 著書

- 1 : Improvement of Poor Retention of Upper Denture (Case 7): Sadamori S : New Magnetic Applications in Clinical Dentistry, Quintessence Publishing Co. Ltd. 123-124, 2004.

## D) その他の出版物

- 1 : 痴呆患者への歯科治療 : 貞森紳丞 : 高歯会報 (高松市歯科医師会) 336, 17-26, 2005.
- 2 : 接着ブリッジによる欠損補綴ならびに動揺歯固定 : 安部倉 仁, 濱田泰三 : からだの科学 (増刊) 高度先進医療, 出目康夫編, 日本評論社, 157-160, 2005.

## E) 学会発表

- 1 : TRAF1 Negatively Regulates RANKL Mediated TRAF6 Signaling in Osteoclastogenesis : Kawai T, Makihira S, Oyoshi M K, Nakanishi T, Lee J E, Tsitsikov E N, Taubman M A : IADR (Baltimore), 2005.
- 2 : Influence of Denture Cleansers on Colour Stability of Denture Base Resin : Hong G, Li Y A, Murata H, Hamada T, Inoue S : The 113th Scientific Meeting of Japan Prosthodontic Society (Osaka), 2005.
- 3 : Effect of Thermocycling on the Rupture Energy of Intact and Relined Denture Bases : Seó R S, Murata H, Hong G, Hamada T : The 113th Scientific Meeting of Japan Prosthodontic Society (Osaka), 2005.

- 4: 顎堤骨吸収抑制法の開発-TRAF6-RNAi 法による破骨細胞分化抑制作用の検討- : 牧平清超, Toshihisa Kawai, 二川浩樹, Martin A. Taubman, 濱田 泰三 : 第 113 回日本歯科補綴学会 (大阪), 2005.
- 5: 耐久性を向上させた新規開発の加熱重合型アクリル系軟質義歯裏装材 —酵素の影響— : 村田比呂司, 李 英愛, 洪 光, 西村正宏, 濱田泰三, 菱本宗光 : 第 113 回日本補綴歯科学会学術大会 (大阪), 2005.
- 6: 義歯安定剤のレオロジー特性と床用レジンとの接着性 : 村田比呂司, 濱田泰三, セオセイコ, 洪 光, 夕田貞之, 辻本和久, 加藤洋一, 山田英幸 : 第 7 回軟質義歯裏装材研究会 (横浜), 2005.
- 7: 義歯保管液の開発 : 洪 光, 濱田泰三, 村田比呂司, 李 英愛, 夕田貞之, 辻本和久, 加藤洋一, 山田英幸 : 第 7 回軟質義歯裏装材研究会 (横浜), 2005.
- 8: ティッシュコンディショナーの組成が粘弾性の温度特性に及ぼす影響 : 洪 光, 村田比呂司, 貞森紳丞, 濱田泰三 : 日本歯科理工学会第 45 回学術大会 (東京), 2005.
- 9: 破骨細胞の分化過程において TRAF1 は RANKL-TRAF6 のシグナルを負に制御する : 牧平清超, Toshihisa Kawai : 第 23 回日本骨代謝学会(大阪), 2005.
- 10: 軟骨での概日リズム : 分子機構の追求 : 本田清昌, 河本 健, 中島 歩, 藤本勝巳, 西村正宏, 尾田良, 中村茂夫, 能城光秀, 加藤幸夫 : 第 23 回日本骨代謝学会 (大阪), 2005.
- 11: 介護老人保健施設入所者の口腔内実態—5 年間の調査報告— : 山田賢治, 牧平清超, 貞森紳丞, 濱田泰三 : 第 16 回日本老年歯科医学会(東京), 2005.
- 12: 義歯安定剤と JIS 規格 : 濱田泰三, 洪 光, 前田武志, 村田比呂司, 水町 亘, 貞森紳丞 : 日本補綴歯科学会中国・四国支部・九州支部共同学術大会・平成 17 年度総会 (山口), 2005.
- 13: 認知症高齢者と義歯との関係 : 井上俊二, 貞森紳丞, 濱田泰三, 香川和子, 尾崎由衛, 関谷健祐 : 日本補綴歯科学会中国・四国支部・九州支部合同学術大会・平成 17 年度総会 (山口), 2005.
- 14: 金属アレルギー被疑患者に対するパッチテスト・元素分析の過去 7 年間の集計 : 内山裕絵二川浩樹, 牧平清超, 原田佳枝, 西村春樹, 濱田泰三 : 日本補綴歯科学会中国・四国支部・九州支部共同学術大会・平成 17 年度総会 (山口), 2005.
- 15: 常温重合型アクリル系軟質義歯裏装材の動的粘弾性とモノマーの関係 : 村田比呂司, 地守宏紀, 洪 光, 濱田泰三 : 第 46 回日本歯科理工学会学術講演会 (長崎), 2005.
- 16: 当診療科における高度先進医療約 10 年間の報告—接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定 : 安部倉 仁, 濱田泰三, 貞森紳丞, 村田比呂司, 西村正宏, 牧平清超, 香川和子, 二川浩樹, 玉本光弘 : 第 44 回広島県歯科医学会および第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 17: 心療歯科 (補綴) の 5 年間の受診患者の検討 : 貞森紳丞, 濱田泰三, 安部倉仁, 井上俊二, 香川和子, 西村春樹 : 第 44 回広島県歯科医学会および第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 18: 歯科医院ホームページに関する調査—とくに広島県および東京都について— : 村田比呂司, 李 英愛, 二川浩樹, 西村春樹, 洪 光, 貞森紳丞, 濱田泰三 : 第 44 回広

島県歯科医学会および第 89 回広島大学歯学会（広島），2005.

- 19：軟質義歯裏装材“フィジオソフトリベース”の吸水、溶解および色調安定性について：李 英愛，村田比呂司，洪 光，西村正宏，濱田泰三：第 44 回広島県歯科医学会および第 89 回広島大学歯学会（広島），2005.
- 20：金属アレルギー被疑患者に対するパッチテスト、元素分析の有効性：牧平清超，二川浩樹，内山裕絵，重岡美代子，中野 香，三好浩之，小川郁子，高田 隆，濱田泰三：第 44 回広島県歯科医学会および第 89 回広島大学歯学会（広島），2005.
- 21：分子時計系の解析 2：In Vivo での解析(肋軟骨成長板)：本田清昌，河本 健，上田泰己，能城光秀，藤本勝巳，中島 歩，西村正宏，尾田 良，中村茂夫，橋本誠一，加藤幸夫：第 78 回日本組織培養学会（広島），2005.
- 22：ヒアルロン酸マトリックスの特徴（弾力性と半透膜形成）を利用した関節炎治療：加藤幸夫，西村正宏，中村茂夫：第 26 回日本炎症再生医学会シンポジウム（東京），2005.
- 23：関節組織でのヒアルロン酸の生物作用および弾力維持作用：加藤幸夫，西村正宏，中村茂夫：第 33 回日本リウマチ・関節外科学会（東京），2005.
- 24：生きた間葉系幹細胞は本当に骨増生に有効か？：関谷健祐，西村正宏，末廣史雄，尾崎由衛，濱田泰三，加藤幸夫：第 25 回日本口腔インプラント学会中国四国支部学会（岡山），2005.
- 25：軟骨分化の概日リズム：網羅的解析：本田清昌，河本健，山田陸裕，上田泰己，能城光秀，藤本勝巳，中島 歩，西村正宏，尾田 良，中村茂夫，小島知子，橋本誠一，加藤幸夫：第 28 回日本分子生物学会（福岡），2005.
- 26：認知症高齢者の全身状態と口腔内状態との関係：井上俊二，貞森紳丞，古胡真佐美：第 6 回日本認知症ケア学会（松江），2005.
- 27：認知症高齢者の口腔内状態と全身状態との関係—グループホーム入所者での検討—：古胡真佐美，貞森紳丞，濱田泰三，笹原妃佐子：第 22 回日本障害者歯科学会（甲府），2005.

## F) 講演発表

- 1：Oral Health care in Geriatric Persons: Shinsuke Sadamori(Main Speaker), Taizo Hamada: The 22<sup>nd</sup> Indonesian Dental Association Congress (Makassar-Indonesia):2005.3.20.
- 2：口腔機能（嚥むこと）が脳と心に及ぼす影響：貞森紳丞：世界脳週間・広島会場イベント 高校生と教師のための公開講座（広島）：2005.3.19.
- 3：口腔機能と全身との関係（脳にも影響する？）：貞森紳丞：社会福祉法人 IGL 学園福祉会 施設職員研修会（広島）：2005.5.26.
- 4：新技術・新材料を日常の臨床にどう活かすか—軟質裏装材：村田比呂司：平成 17 年度社団法人日本補綴歯科学会中国・四国支部 九州支部合同学術大会シンポジウム（山口）：2005.9.4.
- 5：認知症高齢者と義歯：口腔ケアとの関連：貞森紳丞：日本認知症ケア学会 教育講演

(松江) : 2005.9.30.

- 6 : 第 4 回 口腔衛生 : 古胡真佐美 : 平成 17 年度地域リハビリテーション従事者研修会  
(東広島) : 2005.12.1.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究(B)(2) 一般) 継続 : 貞森紳丞 : 痴呆性高齢者の義歯装着が, 痴呆症状, 全身的健康状態および QOL に及ぼす影響の検討. (課題番号 16390617), 1,900 千円
- 2 : 科学研究費補助金 (基盤研究(C)(2) 一般) 継続 : 村田比呂司 : 口腔乾燥症患者に適する保湿性軟質義歯裏装材の開発. (課題番号 16591953), 1,200 千円
- 3 : 科学研究費補助金 (基盤研究(C) 一般) 継続 : 安部倉仁 : 睡眠時無呼吸症候群患者に対する口腔内装具の効果と顎筋活動に及ぼす影響. (課題番号 16591950), 1,100 千円
- 4 : 科学研究費補助金 (基盤研究(B)(2) 一般) 継続 : 井上俊二 : 頭頸部慢性筋痛に対する認知行動療法の有効性の確立に向けた生体ストレス反応解析. (課題番号 16591942), 700 千円
- 5 : 科学研究費補助金 (若手(B)) 新規 : 西村正宏 : 高度吸収顎再生のための高齢者向け非細胞性骨造成法の開発. (課題番号 17791390), 2,100 千円
- 6 : 科学技術振興機構研究 (成果活用プラザ広島事業化のための育成研究) 継続 : 代表者 加藤幸夫, サブリーダー 西村正宏, : 歯周病と骨疾患に対する細胞治療の事業化 : 幹細胞治療法のシステム化. H15-17 年度 総額 90,000 千円
- 7 : 科学技術振興機構研究 (権利化試験) 継続 : 代表者 二川浩樹, サブリーダー 西村正宏 : 抗菌ペプチドを用いた再生医療用幹細胞の大量増殖技術の開発. H16-18 年度 総額 60,000 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

- 1 : 濱田泰三 : Gold Pin Award : 2005.7.4

#### (6) 特許

- 1 : 二川浩樹, 西村正宏, 加藤幸夫, 辻紘一郎 : 動物幹細胞培養用無血清培地(特願 2005-223242) (出願人 : 株式会社ツーセル, 二川浩樹 出願日 : 平成 17 年 8 月 1 日)
- 2 : 二川浩樹, 西村正宏, 辻紘一郎, 川端涼子, 片桐延枝 : 新規抗菌性ペプチド(特願 2005-277121) (出願人 : 独立行政法人科学技術振興機構, 国立大学法人広島大学, 株式会社ツーセル 出願日 : 平成 17 年 9 月 26 日)

## 展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座（歯科矯正学研究室） 及び口腔健康発育歯科（矯正歯科）

### （１）職員並びに学生

教授	: 丹根 一夫
助教授	: 田中 栄二
講師	: 河田 俊嗣, 上田 宏 (H16. 8より休職)
助手 (学部)	: 大野 茂, 谷本 幸太郎 (H17. 3より休職), 藤田 正, 本田 康文
助手 (病院)	: 加来 真人, 渡辺 峰朗
医員	: 原田 未絵, 伊集院 知世, 田中 伸明, 河野 信也, 田部 英樹, 筒井 啓介, 明石 由紀子
医員 (研修医)	: 當麻 愉衣子, 大谷 淳二, 鈴木 亜弥, 中島 佳子, 西 美香, 花岡 宏一, 本川 雅英, 米野 潔
大学院生	: 大野 摩衣子, 松本 絵花, 植木 雅士, 川合 暢彦, 中谷 有希, 重 河 真央, 廣瀬 美帆, Diego Dalla-Bona, 釜田 寛子, 北村 玲子, 高 明善, 長谷川 拓郎, 柳田 珠美, 林 于郁, 末川 洋平, 田井 雅子, 丹根 由起, 山野 栄三, 山本 浄子, 犬伏 俊博, 大熊 暁, 神谷 貴志, 佐野 良太, 白倉 摩耶, 高橋 拓史, 柄 なつみ, 永山 哲史 (H17. 7. 1退局)
非常勤講師	: 植木 和弘, 小島 敏嗣, 柄 博治, 花岡 宏, 相馬 邦道, 森山 啓 司
研修登録医	: 菊池 一晃, 田中 邦昭, 長岡 敬子, 大名 幸一, 橋本 和人
歯科衛生士	: 日高 美穂, 台信 花菜

### （２）主な研究活動

- 1 : 顎関節円板の粘弾性特性
- 2 : 顎関節軟骨および円板細胞の増殖・分化に対する成長因子の影響
- 3 : 顎関節負荷の生体力学的検索と潤滑機能の評価
- 4 : 実験的歯の移動時の疼痛伝達機構およびその鎮痛機構の解明
- 5 : 外科的矯正治療による顎口腔機能の変化
- 6 : 鼻気道障害と顎顔面形態, 咀嚼筋機能, 呼吸機能との関連
- 7 : 軟骨増殖および分化に対する機械的刺激の影響
- 8 : 歯根膜の再生と修復機序の解明
- 9 : 関節滑液中のヒアルロン酸代謝に関する研究
- 10 : 食物性状の違いが大腦皮質の神経病理変化に及ぼす影響
- 11 : 間葉系幹細胞による軟骨・骨再生医療の開発研究
- 12 : 骨の成長発育に対する性ホルモンの制御機能



### (3) 研究業績

#### A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Neutralizing effects of an anti-vascular endothelial growth factor antibody on tooth movement : Kohno S, Kaku M, Kawata T, Fujita T, Tsutsui K, Ohtani J, Tenjo K, Tohma Y, Motokawa M, Shigekawa M, Kamada H, Tanne K : *The Angle Orthodontist* 75, 797-804, 2005.
- 2 : Effects of Cyclic Tensile Forces on the Expression of Vascular Endothelial Growth Factor (VEGF) and Macrophage-colony-stimulating Factor (M-CSF) in Murine Osteoblastic MC3T3-E1 Cells : Motokawa M, Kaku M, Tohma Y, Kawata T, Fujita T, Kohno S, Tsutsui K, Ohtani J, Tenjo K, Shigekawa M, Kamada H, Tanne K : *J Dent Res* 84, 422-427, 2005.
- 3 : Induction of MMP-3 by hyaluronan oligosaccharides in temporomandibular joint chondrocytes. : Ohno S, Ohno-Nakahara M, Knudson C B, Knudson W : *J Dent Res* 84, 1005-1009, 2005.
- 4 : Activation of signaling pathways in articular chondrocytes by hyaluronan oligosaccharides : Ohno S, Im H J, Knudson C B, Knudson W : *Arthritis & Rheumatism* 52, 800-809, 2005.
- 5 : Mechanical Regulation of Terminal Chondrocyte Differentiation via RGD-CAP/beta ig-h3 induced by TGF-beta : Ohno S, Tanaka N, Ueki M, Honda K, Tanimoto K, Yoneno K, Ohno-Nakahara M, Fujimoto K, Kato Y, Tanne K : *Connective Tissue Research* 46, 227-234, 2005.
- 6 : The metabolism of hyaluronan in cultured rabbit growth plate chondrocytes during differentiation. : Suzuki A, Tanimoto K, Ohno S, Nakatani Y, Honda K, Tanaka N, Doi T, Ohno-Nakahara M, Yoneno K, Ueki M, Tanne K : *Biochem Biophys Acta* 1743, 57-63, 2005.
- 7 : Influence of functional appliances on masticatory muscle activity : Tabe H, Ueda H M, Kato M, Nagaoka K, Nakashima Y, Matsumoto E, Shikata N, Tanne K : *The Angle Orthodontist* 75(4), 616-624, 2005.
- 8 : An adult case of skeletal open bite with a large lower anterior facial height : Tanaka E, Iwabe T, Kawai N, Nishi M, Dalla-Bona D A, Hasegawa T, Tanne K : *The Angle Orthodontist* 75(3), 414-420, 2005.
- 9 : Longitudinal measurements of tooth mobility during orthodontic treatment using a Periotest : Tanaka E, Ueki K, Kikuzaki M, Yamada E, Takeuchi M, Dalla-Bona D A, Tanne K : *The Angle Orthodontist* 75(1), 101-105, 2005.
- 10 : The effect of experimental cartilage damage and impairment and restoration of synovial lubrication on the friction in the temporomandibular joint. : Tanaka E, Iwabe T, Dalla-Bona D A, Kawai N, van Eijden T, Tanaka M, Kitagawa S, Takata T, Tanne K : *J Orofacial pain* 19, 331-336, 2005.

- 11 : Vascular endothelial growth factor plays an important autocrine/paracrine role in the progression of osteoarthritis : Tanaka E, Aoyama J, Miyauchi M, Takata T, Hanaoka K, Iwabe T, Tanne K : *Histochemistry and Cell Biology* 123(3), 275-281, 2005.
- 12 : Cyclic mechanical strain regulates the PTHrP expression in cultured chondrocytes via activation of the Ca<sup>2+</sup> channel : Tanaka N, Ohno S, Honda K, Tanimoto K, Doi T, Ohno-Nakahara M, Tafolla E, Kapila S, Tanne K : *J Dent Res* 84(1), 64-68, 2005.
- 13 : Burst characteristics of daily jaw muscle activity in juvenile rabbits : van Wessel T, Langenbach G E J, Kawai N, Brugman P, Tanaka E, van Eijden T M G J : *Journal of Experimental Biology* 208(13), 2539-2547, 2005.
- 14 : Fiber type composition of rabbit jaw muscles is related to their daily activity. : van Wessel T, Langenbach G E J, Korfage J A M, Brugman P, Kawai N, Tanaka E, van Eijden T M G J : *Eur J Neurosci* 22, 2783-2791, 2005.
- 15 : Antibody array analysis of peripheral and blood cytokine levels in rats after masseter inflammation : Watanabe M, Guo W, Zou S P, Sugiyono S, Dubner R, Ren K : *Neurosci Lett* 382(1-2), 128-133, 2005.
- 16 : Multidifferentiation potential of mesenchymal stem cells in three-dimensional collagen gel cultures : Yoneno K, Ohno S, Tanimoto K, Honda K, Tanaka N, Doi T, Kawata T, Tanaka E, Kapila S, Tanne K : *Journal of Biomedical Materials Research* 75(A), 733-741, 2005.
- 17 : WA・DA・I ティースバンク : 丹根 一夫 : *Medical Technology* 33(2), 10-11, 2005.
- 18 : 顎関節症を伴う開咬患者に対する矯正歯科治療の2症例 : 米野 潔, 田中 栄二, 大野 茂, 長谷川 拓郎, 丹根 一夫 : *中・四国矯正歯科学会雑誌* 17, 25-35, 2005.
- 19 : 顎関節症を伴う骨格性下顎前突の一治療例 : 中谷 有希, 谷本 幸太郎, 鈴木 亜弥, 柳田 珠美, 丹根 由起, 丹根 一夫 : *中・四国矯正歯科学会雑誌* 17, 49-59, 2005.
- 20 : 顎関節症を有する患者に対する矯正歯科治療 : 田中 栄二 : *中・四国矯正歯科学会雑誌* 17, 9-14, 2005.
- 21 : 歯根膜の再生と冷凍保存法による新たな歯の移植法の探索 : 丹根 一夫, 釜田 寛子, 河野 信也, 加来 真人, 河田 俊嗣 : *Dental Diamond* 30, 74-78, 2005.
- 22 : 児童生徒の咀嚼機能と記憶・学習能力の相互関係について : 本田 康文, 田中 栄二, 原田 未絵, 中田 佳子, 高明善, 山野 栄三, 上之園 強, 相澤 光恵, 大松 恭宏, 竹本 英代, 丹根 一夫 : *広島大学 学部・附属学校共同研究紀要* 34, 493-498, 2005.
- 23 : 上顎骨延長術における REDsystem 固定装置の変形についての検討 : 太田 耕司, 東森 秀年, 杉山 勝, 信森 剛, 井上 伸吾, 谷本 幸太郎, 丹根 一夫, 鎌田 伸之 : *日本顎変形症学会雑誌* 15, 126-132, 2005.
- 24 : 能動型臨床研修システムの構築—標準化と個別化に向けて— : 田口 則宏, 小川 哲次, 田中 良治, 笹原 妃佐子, 白井 憲一, 吉野 宏, 谷 亮治, 島末 洋,

田地 豪, 安部倉仁, 田中 栄二, 天野 秀昭, 田口 明, 寶田 貫, 名原 行徳, 小川 郁子: 日本歯科教育学会雑誌 21, 196-204, 2005.

## B) 総説

## C) 著書

- 1: 不正咬合はどのように起こるのか 不正咬合の成因と発現機序: 丹根 一夫, 田中 栄二: 東京臨床出版 (東京), 12-31, 2005.
- 2: 矯正歯科治療の実際と使用装置 一般的な診断方法: 丹根 一夫, 本田 康文: 東京臨床出版 (東京), 32-40, 2005.
- 3: 矯正歯科治療の実際と使用装置 反対咬合の治療: 丹根 一夫, 原田 未絵: 東京臨床出版 (東京), 41-51, 2005.
- 4: 矯正歯科治療の実際と使用装置 上顎前突の治療: 丹根 一夫, 當麻 愉衣子: 東京臨床出版 (東京), 52-61, 2005.
- 5: 矯正歯科治療の実際と使用装置 叢生の治療: 丹根 一夫, 渡邊 峰朗: 東京臨床出版 (東京), 62-79, 2005.
- 6: 矯正歯科治療の実際と使用装置 開咬の治療: 丹根 一夫, 谷本 幸太郎: 東京臨床出版 (東京), 80-93, 2005.
- 7: 矯正歯科治療に必要な基本的手技 各種装置の製作: 本田 康文, 大野 茂, 藤田 正: 東京臨床出版 (東京), 94-116, 2005.
- 8: 矯正歯科治療に必要な基本的手技 マルチブラケット装置のタイポドント実習: 田中 栄二, 丹根 一夫: 東京臨床出版 (東京), 117-148, 2005.
- 9: MTM の目的と手技: 丹根 一夫, 田中 伸明: 東京臨床出版 (東京), 150-161, 2005.
- 10: 他科との共同治療の実際: 丹根 一夫, 田中 栄二: 東京臨床出版 (東京), 162-175, 2005.
- 11: 先進歯科医療と矯正歯科治療 顎関節症と矯正歯科治療: 谷本 幸太郎, 田中 栄二, 丹根 一夫: 東京臨床出版 (東京), 176-191, 2005.
- 12: 先進歯科医療と矯正歯科治療 矯正歯科臨床における歯の自家移植: 丹根 一夫, 林明輝, 河田 俊嗣: 東京臨床出版 (東京), 192-206, 2005.
- 13: 先進歯科医療と矯正歯科治療 口唇口蓋裂患者の顎裂骨欠損部における骨再生と矯正歯科治療: 河田 俊嗣, 丹根 一夫: 東京臨床出版 (東京), 207-212, 2005.
- 14: 先進歯科医療と矯正歯科治療 インプラントを固定源とする矯正歯科治療: 田中 栄二, 加来 真人, 丹根 一夫: 東京臨床出版 (東京), 213-221, 2005.
- 15: 先進歯科医療と矯正歯科治療 仮骨延長法を応用した矯正歯科治療: 大野 茂, 田中 栄二, 丹根 一夫: 東京臨床出版 (東京), 222-228, 2005.
- 16: 先進歯科医療と矯正歯科治療 若年者における睡眠障害の実際と矯正歯科の応用: 上田宏, 和氣坂 紀子, 丹根 一夫: 東京臨床出版 (東京), 229-237, 2005.

## D) その他の刊行物

## E) 学会発表

- 1 : Enamel Protein Detection at Simulation Dentino-Enamel Junction Using Mass Spectrometry : Varanasi V, Tanimoto K, Harbelitz S, Hall S, Enatkowska H E, Li W, DenBesten P, Marshall S, Marshall G : SF Dentin Conference (Birmingham), 2005.
- 2 : Effect of Interleukin-1 on NR1-Serine 896 phosphorylation in the rat spinal trigeminal nucleus : W Guo, M Watanabe, S Zou, R Dubner, K Ren : Society for Neuroscience 35th annual meeting (Washington DC), 2005.
- 3 : Effects of ultrasound stimulation on the proliferation and metabolism of cementoblast cells in vitro : Dalla-Bona D A, Tanaka E, Oka H, Yamano E, Kawai N, Miyauchi M, Takata T, Tanne K. : The 27th meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (Nashville), 2005.
- 4 : Establishment of newly-designed tooth transplantation with a magnetic field program freezer : Kamada H, Kawata T, Kaku M, Kohno S, Tsutsui K, Motokawa M, Tohma Y, Fujita T, Ohtani J, Shigekawa M, Tai M, Tanne K : The 38th Annual Scientific Meeting of Korean Association of Orthodontists (Jeju), 2005.
- 5 : Effect of mechanical loading on hyaluronan catabolism in cultured synovial membrane and articular cartilage cells : Kitamura R, Honda K, Ohno S, Tanaka N, Ueki M, Tanimoto K, Ohno-Nakahara M, Yoneno K, Suzuki A, Lin Y, Tanne Y, Tanne K : The 38th Annual Scientific Meeting of Korean Association of Orthodontists (Jeju), 2005.
- 6 : Hyaluronan synthesis affected by chemical mediators in cultured synovial fibroblasts : Yanagida T, Tanimoto K, Ohno S, Honda K, Tanaka N, Ohno-Nakahara M, Yoneno K, Suzuki A, Ueki M, Nakatani Y, Kitamura R, Lin Y, Tanne Y, Tanne K : The 38th Annual Scientific Meeting of Korean Association of Orthodontists (Jeju), 2005.
- 7 : Two orthodontic treatment cases of openbite with temporomandibular joint disorders induced by splint therapy : Yoneno K, Tanaka E, Ohno S, Okuma S, Tanne K : The 38th Annual Scientific Meeting of Korean Association of Orthodontists (Jeju), 2005.
- 8 : Influence of PDGF-BB on the regenerative responses of rat temporomandibular joint (TMJ) disk : Hanaoka K, Tanaka E, Takata T, Miyauchi M, Ogawa I, Aoyama J, Kawai N, Tanne K : The 5th Asian-Pacific Orthodontic Conference (Beijing), 2005.
- 9 : Changes in stomatognathic function induced by orthognathic surgery in patients with jaw deformity : Nakata Y, Ueda M H, Kato M, Tabe H, Shikata-Wakisaka N, Matsumoto E, Tanaka E, Tanne K : The 5th Asian-Pacific Orthodontic Conference (Beijing), 2005.
- 10 : Effect of sex hormone and TGF-beta1 in newborn mice : Ohtani J, Fujita T, Shigekawa M, Kawata T, Kaku M, Kohno S, Tsutsui K, Tenjo K, Motokawa M, Tohma Y, Kamada H, Tai M, Tanne K : The 5th Asian-Pacific Orthodontic Conference (Beijing), 2005.
- 11 : The metabolism of hyaluronan during chondrocyte differentiation : Suzuki A, Tanimoto K, Ohno S, Honda K, Tanaka N, Doi T, Ohno M, Yoneno K, Ueki M, Nakatani Y, Yanagida T,

- Kitamura R, Rin Y, Tanne Y, Tanne K : The 5th Asian-Pacific Orthodontic Conference (Beijing), 2005.
- 12 : Vascular Endothelial Growth Factor (VEGF) Induces Osteoclast Differentiation via both Flt-1 and Flk-1 Receptors : Tohma Y, Kaku M, Motokawa H, Kawata T, Fujita T, Kohno S, Tsutsui K, Ohtani J, Tenjo K, Shigekawa M, Kamata H, Tai M, Ishihara M, Tanne K : The 5th Asian-Pacific Orthodontic Conference (Beijing), 2005.
- 13 : Masticatory muscle activity in freely moving rats measured with radio-telemetry : Kawai K, Tanaka E, G E J Langenbac, T van Wessel, T M G J van Eijden, Tanne K : The 83rd International Association for Dental Research (Baltimore), 2005.
- 14 : Mastication suppresses inflammation-related VR1 immunoreactive cell expression in rat trigeminal ganglion : Nishi M, Iwabe T, Watanabe M, Hattori Y, Tanaka E, Tanne K : The 83rd International Association for Dental Research (Baltimore), 2005.
- 15 : Induction of MMP-13 by hyaluronan oligosaccharide in temporomandibular joint chondrocytes : Ohno S, Ohno-Nakahara M, Knudson C B, Knudson W : The 83rd International Association for Dental Research (Baltimore), 2005.
- 16 : The principal role of TMJ disc on the joint lubrication : Tanaka E, Dalla-Bona D A, Iwabe T, Kawai N, Yamano E, van Eijden T, Takata T, Tanne K : The 83rd International Association for Dental Research (Baltimore), 2005.
- 17 : Trigeminal cytokine activation and orofacial hyperalgesia : Watanabe M, Zou S, Guo W, Dubner R, Ren K : The 83rd International Association for Dental Research (Baltimore), 2005.
- 18 : Hyaluronan promotes hard tissue generation from mesenchymal stem cells : Yoneno K, Ohno S, Doi T, Tanne K : The 83rd International Association for Dental Research (Baltimore), 2005.
- 19 : Vascular endothelial growth factor (VEGF) induces osteoclast differentiation via both Flt-1 and Flk-1 receptors : Tohma Y, Kaku M, Kohno S, Motokawa M, Tsuka N, Kawata T, Tanne K : The 8th International Conference on the Biological Mechanisms of Tooth Eruption Resorption and Movement (Phuket), 2005.
- 20 : Osteoclasts induction by vascular endothelial growth factor (VEGF)-C and the signaling pathway : Tsuka N, Kohno S, Kaku M, Kawata T, Motokawa M, Tohma Y, Tanne K : The 8th International Conference on the Biological Mechanisms of Tooth Eruption Resorption and Movement (Phuket), 2005.
- 21 : Increased binding and decreased degradation of amelogenin on HAP may result in X-linked amelogenesis imperfecta : Zhu L, Tanimoto K, Le T, Zhang Y, Wang S W, Chen J, DenBesten P, Wu L : UCSF Research day (California), 2005.
- 22 : Two cases of skeletal III mandibular asymmetry treated with orthognathic surgery; A consideration of the masticatory muscle activity : Koh M, Nakata Y, Shikata-Wakisaka N, Tanaka E, Tanne K : 第 24 回大韓齒科矯正学会学術大会 (Jeonju), 2005.
- 23 : Subchondral bone damage affects the cartilage matrix metabolism : Lin Y Y, Tanaka N, Ohno-Nakahara M, Kamiya T, Ohkuma S, Honda K, Tanimoto K, Ohno S, Tanne K : The 53rd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research (岡山), 2005.
- 24 : 下顎頭の成長が下顎骨に及ぼす影響 : 重河 真央, 藤田 正, 大谷 淳二, 丹根

- 一夫：第15回日本顎変形症学会総会（徳島），2005.
- 25：口腔内からポジショニングシステムを応用し吸収性ポリ-L-乳酸プレートで固定した下顎枝矢状分割術の2例：東森 秀年，杉山 勝，井上 伸吾，宮内 美和，小野重弘，太田 耕司，鎌田 伸之，中田 佳子，田部 英樹，丹根 一夫：第15回日本顎変形症学会総会（徳島），2005.
- 26：顎関節円板由来細胞の増殖，分化に対するヒアルロン酸の影響：花岡 宏一，田中 栄二，川合 暢彦，米野 潔，丹根 一夫：第18回日本顎関節学会学術大会（松江），2005.
- 27：顎関節軟骨代謝に及ぼす低分子量ヒアルロン酸の影響：大野 茂，米野 潔，本田 康文，谷本 幸太郎，田中 伸明，中谷 有希，柳田 珠美，丹根 由起，北村 玲子，丹根 一夫：第18回日本顎関節学会学術大会（松江），2005.
- 28：顎関節軟骨における Superficial Zone Protein の発現：丹根 由起，米野 潔，本田 康文，谷本 幸太郎，田中 伸明，中谷 有希，大野 茂，北村 玲子，柳田 珠美，丹根 一夫：第18回日本顎関節学会学術大会（松江），2005.
- 29：下顎の運動制限を施したラット下顎頭軟骨の組織学的変化および異なる週齢間の比較検討：田中 伸明，植木 雅士，大野 茂，本田 康文，谷本 幸太郎，米野 潔，中谷 有希，北村 玲子，柳田 珠美，林 于郁，丹根 由起，丹根 一夫：第18回日本顎関節学会学術大会（松江），2005.
- 30：ヒアルロン酸混合コラーゲンゲル培養における間葉系幹細胞を用いた軟骨再生：米野 潔，大野 茂，谷本 幸太郎，本田 康文，田中 伸明，中谷 有希，北村 玲子，丹根 由起，花岡 宏一，田中 栄二，丹根 一夫：第18回日本顎関節学会学術大会（松江），2005.
- 31：過度な周期的伸張力が培養ウサギ軟骨細胞のヒアルロン酸代謝に及ぼす影響：北村 玲子，本田 康文，大野 茂，田中 伸明，米野 潔，植木 雅士，中谷 有希，柳田 珠美，丹根 由起，谷本 幸太郎，丹根 一夫：第18回日本顎関節学会学術大会（松江），2005.
- 32：持続的噛みしめ時の顎関節内応力の解析—外側翼突筋活動の影響：廣瀬 美帆，田中 栄二，田中 正夫，丹根 一夫：第18回日本顎関節学会学術大会（松江），2005.
- 33：FGF23 は石灰化を調節する局所因子として機能する：山本 浄子，汪 華，伊集院 知世，末宗 節子，丹根 一夫，前田 憲彦，吉子 裕二：第23回日本骨代謝学会学術集会（大阪），2005.
- 34：骨髄由来間葉系幹細胞の骨再生誘導に関する検討：天井 薫，河田 俊嗣，加来 真人，山中 克之，加藤 幸夫，辻 紘一郎，藤田 正，當麻 愉衣子，丹根 一夫：第29回日本口蓋裂学会（東京），2005.
- 35：口蓋裂と斜顔裂を伴う反対咬合患者に対する長期矯正歯科治療例：米野 潔，花岡 美幸，三島 克章，菅原 利夫，田中 栄二，丹根 一夫：第29回日本口蓋裂学会（東京），2005.
- 36：顎関節軟骨における Superficial Zone Protein の発現：神谷 貴志，本田 康文，米野 潔，丹根 由起，大野 暁，柳田 珠美，林 于郁，谷本 幸太郎，田中 伸明，中谷 有希，北村 玲子，大野 茂，丹根 一夫：第42回日本口腔組織培養学会（広

- 島), 2005.
- 37: ラット胎仔頭蓋冠由来骨原性細胞の形質の多様性と分化転換能について: 長谷川拓郎, 吉子 裕二, 波多野 寛子, 丹根 一夫, 前田 憲彦: 第 47 回歯科基礎医学学会学術大会 (仙台), 2005.
- 38: 濾胞性歯嚢胞に起因した埋伏下顎第一大臼歯の治療例: 原田 未絵, 本田 康文, 田中 伸明, 植木 雅士, 北村 玲子, 田中 栄二, 丹根 一夫: 第 48 回中・四国矯正歯科学会大会 (高松), 2005.
- 39: 右側顔面神経麻痺を伴う若年患者における咬合と顎機能について: 丹根 由起, 本田 康文, 中田 佳子, 中谷 有希, 柳田 珠美, 谷本 幸太郎, 丹根 一夫: 第 48 回中・四国矯正歯科学会大会 (高松), 2005.
- 40: 両側上顎中切歯の骨性癒着を伴う切端咬合症例: 伊集院 知世, 山本 浄子, 丹根 一夫: 第 48 回中・四国矯正歯科学会大会 (高松), 2005.
- 41: 重度歯周病を伴う成人不正咬合に対するインプラントアンカーを用いた矯正歯科治療例: 山野 栄三, 田中 栄二, 川合 暢彦, 渡邊 峰朗, 丹根 一夫: 第 48 回中・四国矯正歯科学会大会 (高松), 2005.
- 42: 上下顎同時移動術を用いた 骨格性開咬の一治療例: 西 美香, 明石 由紀子, 渡邊 峰朗, 田中 栄二, 丹根 一夫: 第 48 回中・四国矯正歯科学会大会 (高松), 2005.
- 43: 成長期患者における visual treatment objectives (VTO) を用いた治療効果の評価: 大谷 淳二, 藤田 正, 重河 真央, 丹根 一夫: 第 48 回中・四国矯正歯科学会大会 (高松), 2005.
- 44: 骨格性下顎前突症患者に対する上下顎移動術による硬軟両組織側面形態の変化の関連性: 林 于郁, 田中 伸明, 植木 雅士, 本田 康文, 大野 茂, 田中 栄二, 丹根 一夫: 第 48 回中・四国矯正歯科学会大会 (高松), 2005.
- 45: Biological effects of vascular endothelial growth factor during experimental tooth movement: 加来 真人: 第 64 回日本矯正歯科学会大会 日韓ジョイントセミナー(横浜), 2005.
- 46: リンパ管内皮細胞増殖因子 (VEGF-C) の破骨細胞分化誘導能およびその誘導経路についての解明: 河野 信也, 加来 真人, 河田 俊嗣, 藤田 正, 筒井 啓介, 本川 雅英, 當麻 愉衣子, 大谷 淳二, 重河 真央, 釜田 寛子, 田井 雅子, 丹根 一夫: 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.
- 47: セロトニンは炎症後のラット三叉神経節内 VR1 免疫陽性細胞増加に影響を与える: 西 美香, 明石 由紀子, 岩部 龍典, 渡邊 峰朗, 長谷川 拓郎, 末川 洋平, 田中 栄二, 丹根 一夫: 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.
- 48: テレメトリーシステムにより測定されたラットの終日咀嚼筋活動: 川合 暢彦, 田中 栄二, 山野 栄三, ダラボナ ディエゴ, 花岡 宏一, 渡邊 峰朗, 丹根 一夫: 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.
- 49: ヒアルロン酸と軟骨細胞の結合阻害は NFκB の活性化によりマトリックスメタロプロテアーゼの発現を誘導する: 大野 茂, 大野 摩衣子, 本田 康文, 谷本 幸太郎, 田中 伸明, 米野 潔, 鈴木 亜弥, 植木 雅士, 中谷 有希, 丹根 由起, 北村 玲子, 柳田 珠美, 丹根 一夫: 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.

- 50 : ヒアルロン酸と軟骨細胞の結合阻害は軟骨細胞のアポトーシスを誘導する : 大野 摩衣子, 大野 茂, 本田 康文, 谷本 幸太郎, 田中 伸明, 米野 潔, 鈴木 亜弥, 植木 雅士, 中谷 有希, 丹根 由起, 北村 玲子, 柳田 珠美, 丹根 一夫 : 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.
- 51 : 培養ヒト歯根膜細胞の増殖と細胞外基質合成に対するヒアルロン酸代謝の影響 : 中谷 有希, 谷本 幸太郎, 大野 茂, 田中 伸明, 本田 康文, 大野 摩衣子, 野中 亜弥, 米野 潔, 植木 雅士, 北村 玲子, 柳田 珠美, 林 于郁, 丹根 由起, 丹根 一夫 : 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.
- 52 : 片側性顔面萎縮症を呈する 2 症例における顎口腔機能 : 中田 佳子, 田中 栄二, 高明善, 田部 英樹, 松本 絵花, 藤田 正, 山野 栄三, 丹根 一夫 : 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.
- 53 : 過度のオーバージェットを有する上顎前突症の二治療例 : 北村 玲子, 本田 康文, 原田 未絵, 田中 伸明, 植木 雅士, 丹根 一夫 : 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.
- 54 : 実験的歯の移動時のマウス歯周組織における VEGF および M-CSF 遺伝子発現 : 本川 雅英, 加来 真人, 當麻 愉衣子, 河田 俊嗣, 藤田 正, 河野 信也, 筒井 啓介, 大谷 淳二, 重河 真央, 釜田 寛子, 田井 雅子, 丹根 一夫 : 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.
- 55 : 成長板軟骨細胞の分化過程におけるヒアルロン酸分解酵素の発現様相 : 鈴木 亜弥, 谷本 幸太郎, 大野 茂, 本田 康文, 田中 伸明, 大野 摩衣子, 米野 潔, 中谷 有希, 植木 雅士, 柳田 珠美, 北村 玲子, 林 于郁, 丹根 由起, 丹根 一夫 : 第 64 回日本矯正歯科学会大会 (横浜), 2005.
- 56 : 歯根膜の修復・再生と凍結保存法を応用した新たな歯の移植法の確立 : 釜田 寛子, 河田 俊嗣, 加来 真人, 河野 信也, 筒井 啓介, 本川 雅英, 當麻 愉衣子, 藤田 正, 大谷 淳二, 重河 真央, 丹根 一夫 : 第 64 回日本歯科矯正学会大会 (横浜), 2005.

#### F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1 : Stress analysis in the TMJ with and without disc displacement during mouth opening: Tanaka E.: The 22nd Indonesian Dental Association Congress (South Sulawesi), 2005.
- 2 : A problem-oriented therapeutic system integrated with orthodontic occlusal reconstruction for temporomandibular joint disorders: Tanne K.: The 38th Annual Scientific Meeting of Korean Association of Orthodontists (Jeju), 2005.
- 3 : Mechanisms of condylar resorption in TMJ-osteoarthritis and the therapeutic cues: Tanne K.: The 5th Asian-Pacific Orthodontic Conference (Beijing), 2005.
- 4 : Diagnostic methods and tools for orthodontic patients with temporomandibular joint disorders: Tanne K.: The 6th International Orthodontic Congress (Paris), 2005.
- 5 : Mechanisms of osteoclastic bone resorption induced by VEGF during experimental tooth movement : Tanne K, Kaku M, Kohno S, Motokawa M, Tohma Y, Kawata T : The 8th



International Conference on the Biological Mechanisms of Tooth Eruption Resorption and Movement (Phuket), 2005.

- 6 : 現在の顎関節治療は向上したか : 矯正歯科治療分野の診断技術・治療術式の変遷 : 丹根 一夫 : 第 18 回日本顎関節学会学術大会 (松江), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究(B)(2)) : 丹根 一夫 : 変形性顎関節症における下顎頭軟骨吸収の抑制をめざした治療体系の確立. (課題番号 1539063), 1900 千円
- 2 : 科学研究費補助金 (基盤研究(C)(2)) : 田中 栄二 : グルタミン酸レセプター拮抗薬による実験的歯の移動時の疼痛抑制. (課題番号 16592045), 1300 千円
- 3 : 科学研究費補助金 (若手研究(B)(2)) : 藤田 正 : 顎顔面形態の順調な発育を目的とした下顎頭の成長能力の検討. (課題番号 16791286), 1300 千円
- 4 : 科学研究費補助金 (基盤研究(C)企画) : 田中 栄二 : 顎関節再建術に関する研究動向調査. (課題番号 17639020), 3100 千円
- 5 : 科学研究費補助金 (若手研究(B)) : 田中 申明 : 機械的刺激による下顎骨の成長の制御とそのメカニズムの探究. (課題番号 17791525), 2800 千円
- 6 : 科学研究費補助金 (若手研究(B)) : 本田 康文 : 矯正力が負荷された組織の分子リズムについて. (課題番号 17791526), 2500 千円
- 7 : 科学研究費補助金 (若手研究(B)) : 渡邊 峰朗 : ラット口腔内炎症モデルを用いた下降性疼痛抑制機序の解明. (課題番号 17791527), 1700 千円
- 8 : 科学研究費補助金 (若手研究(B)) : 加来 真人 : マウス骨芽細胞様細胞の VEGF 発現に及ぼす周期的伸展刺激の影響. (課題番号 17791528), 1400 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

- 1 : 谷本 幸太郎 : Association between craniofacial growth and urinary bone metabolic markers (Pyridinoline, Deoxypyridinoline) in growing rats : 広島大学歯学部同窓会奨励賞 基礎系論文著者の部, 2005.
- 2 : 加来 真人 : Effects of vascular endothelial growth factor on osteoclast induction during tooth movement in mice. : 平成 17 年度 (第 9 回) 広島大学歯学部同窓会奨励賞・臨床系論文著者の部, 2005.
- 3 : 釜田寛子 : マグネット矯正歯科装置 : 第 3 回キャンパスベンチャーグランプリ CHUGOKU, 特別賞 日刊工業新聞社賞, 2005.
- 4 : 丹根由起, 米野 潔, 本田康文, 谷本幸太郎, 田中申明, 中谷有希, 大野 茂, 北村玲子, 柳田珠美, 丹根一夫 : 顎関節軟骨における Superficial Zone Protein の発現 : 第 18 回日本顎関節学会学術大会 (松江), ポスター発表優秀賞, 2005.
- 5 : 骨髄由来間葉系幹細胞の骨再生誘導に関する検討 : 天井 薫, 河田俊嗣, 加来真人, 山中克之, 加藤幸夫, 辻紘一郎, 藤田 正, 當麻愉衣子, 丹根一夫 : 第 29 回日本口蓋

裂学会（東京），優秀ポスター賞，2005.

- 6 : van Wessel T, Langenbach G E J, Korfage J A M, Brugman P, Kawai N, Tanaka E, van Eijden : Fiber type composition of rabbit jaw muscles is related to their daily activity. European Journal of Neuroscience 2005;22(11) : 2783-2791 : : TMGJ : Award of the Dutch Interuniversity School of Dentistry for the best international scientific publication of 2004 and 2005, 2005.
- 7 : Yoneno K, Ohno S, Doi T, Tanne K : Hyaluronan promotes hard tissue generation from mesenchymal stem cells : The 82nd International Association for Dental Research (Baltimore), Hatton Travel Award of International Association for Dental Research, 2005.

(6) 特許

## 展開医科学専攻・顎口腔頸部医科学講座（小児歯科学研究室） 及び口腔健康発育歯科（小児歯科）

### （１）職員並びに学生

教授	: 香西克之
助教授	: 鈴木淳司
講師	: 天野秀昭（3月まで）、岡田 貢（3月まで）
助手	: 海原康孝, 林 文子, 谷口芳子(3月まで), 光畑智恵子（海外研修）, 水野龍治郎, 財賀かおり, 吉村 剛
医員	: 中江寿美, 武田久美子, 武部麻里, 三浦 梢, 槇平美夏, 宮本葉子
研修医	: 有木美早, 平田涼子, 番匠谷綾子 青木 梢, 大谷聡子, 岡本真理子, 三宅奈美, 峯岡 茜
大学院生	: 角本法子, 南崎朋子, 蔵本銘子, 坪井 文
研究生	: 林 陽子, 槇平美夏
研修登録医	: 新谷宏規, 山城真美
その他	: 光畑智恵子（H16.9月より, アメリカ合衆国ユニフォームド・サービス 大学留学中）

### （２）主な研究活動

- 1: ミュータンス連鎖球菌の溶菌酵素に関する研究
- 2: 小児口腔細菌, 特に黄色ブドウ球菌に関する研究
- 3: osteoblast の分化におけるプロスタグランジンの影響
- 4: osteoblast の分化における細胞間連絡の分子生物学的解析
- 5: 小児の歯周疾患における細胞学および疫学的研究
- 6: 口腔内超小型スキャナーの開発と臨床応用
- 7: 小児の心理学的ストレスの行動学的評価
- 8: う蝕原因菌の伝播の解明, 抗う蝕性物質の天然物質からの探求, 低 pH 飲料の菌の脱灰能

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Three-dimensional analysis of the effects of the treatment on anterior crossbite in the primary dentition. : Kaihara Y, Amano H, Miura K, Kozai K : Pediatric Dental Journal 15(1), 20-27, 2005.

- 2 : Longitudinal study of dental caries incidence associated with *Streptococcus mutans* and *Streptococcus sobrinus* in pre-school children. : Okada M, Soda Y, Hayashi F, Doi T, Suzuki J, Miura K, Kozai K : J Med. Microbiol. 54, 661-665, 2005.
- 3 : 地域と連携した小児歯科医療の現状－本院小児歯科と開業歯科医院との協力体制について－ : 蔵本銘子, 鈴木淳司, 天野秀昭, 香西克之 : 広島歯科医学雑誌 33(1), 22-26, 2005.
- 4 : 小児唾液からのストレス指標物質クロモグラニン A の定量 : 光畑智恵子, 鈴木淳司, 榎平美夏, 曾田芳子, 香西克之 : 小児歯誌 43(5), 645-651, 2005.
- 5 : 小児唾液クロモグラニン A, アミラーゼのストレス指標としての有効性 : 光畑智恵子, 鈴木淳司, 香西克之 : 日本歯科心身医学会雑誌 20(2), 41-45, 2005.
- 6 : 「学童期の歯肉を診る眼を養う」ためのコンピュータトレーニングソフトの試作 : 中江寿美, 岡田 貢, 河村 誠, 財賀かおり, 林 文子, 三浦一生, 香西克之 : 小児歯誌, 43(3), 442-448, 2005.
- 7 : 小児の歯列および咬合状態の成長発達に関する縦断研究 －咬合の推移について－ : 海原康孝, 財賀かおり, 中江寿美, 蔵本銘子, 榎平美夏, 宮本葉子, 鈴木淳司, 天野秀昭, 三浦一生, 川端康司, 香西克之 : 小児歯誌 43(5), 661-668, 2005.
- 8 : 小児歯科領域におけるインターネット上のウェブページを拠点とした子育て支援事業に関する研究 : 海原康孝, 川崎裕美, 香西克之 : 広大歯誌, 27(2), 129-135, 2005.
- 9 : インターネットを拠点とした子育て支援における小児歯科の役割について : 海原康孝, 香西克之, 川崎裕美, 片野隆司, 出路愛, 川野則光 : 広島小児保健, 17・18, 83-84, 2005.
- 10 : 1型糖尿病患児の口腔内状態について : 鈴木淳司, 中岡美由紀, 三浦一生, 香西克之, 三上有史 : 広島小児保健, 17・18, 53-54, 2005.
- 11 : 1型糖尿病患児の QOL 向上における小児歯科からのアプローチ : 鈴木淳司, 中岡美由紀, 光畑智恵子, 林 文子, 蔵本銘子, 吉村 剛, 南崎朋子, 三浦一生, 香西克之 : 日本歯科医療福祉学会雑誌, 10(1), 1-5, 2005.
- 12 : 口腔粘膜に著明な腫瘤を呈した Graft Versus Host Disease (GVHD) の 1 例 : 中江寿美, 鈴木淳司, 谷口芳子, 天野秀昭, 香西克之 : 小児口腔外科雑誌, 15(2), 125-130, 2005.
- 13 : 小児に対する歯科用局所麻酔剤の安全性に関する臨床的研究 : 井上美津子, 浅里仁, 香西克之, 外 30 名 : 小児歯誌, 43 (5) , 561-570, 2005.
- 14 : 金属アレルギー被疑患者に対するパッチテスト検査, 元素分析の有効性 : 牧平清超, 二川浩樹, 内山裕絵, 小川郁子, 高田隆, 田中武志, 香西克之, 安部倉仁, 貞森紳丞, 濱田泰三 : 広島県歯科医学雑誌, 33, 32-36, 2005.

## B) 総説

- 1 : 研究を咀嚼する (1) ミュータンスレンサ球菌の伝播と齲蝕予防への考え方 : 香西克

- 之：小児歯科臨床, 10 (8) , 53-61, 2005.
- 2： 研究を咀嚼する (2) 齲蝕抑制物質の探求：香西克之：小児歯科臨床, 10 (9) : 71-78, 2005.
- 3： 研究を咀嚼する (3) 小児歯科と口腔細菌：香西克之：小児歯科臨床, 10(10), 73-80, 2005.
- 4： 最近の話題 骨芽細胞のおしゃべり：鈴木淳司, 香西克之：広島大学歯学会雑誌, 37,90-92, 2005.
- 5： 乳歯および幼若永久歯の外傷について：鈴木淳司, 香西克之：広島歯科医学雑誌 33(1), 1-6, 2005.

### C) 著書

- 1： 乳幼児の口と歯の健診ガイド：香西克之 (分担)：日本小児歯科学会編：医歯薬出版 (東京), 2005.
- 2： 乳歯再植の条件：乳歯列期における外傷歯の診断と治療 (木村光孝, 高木裕三, 香西克之, 朝田芳信編)：鈴木淳司, 香西克之：クインテッセンス出版(東京), p48-49, 2005.
- 3： 乳歯外傷の歯内療法：乳歯列期における外傷歯の診断と治療 (木村光孝, 高木裕三, 香西克之, 朝田芳信編)：天野秀昭, 香西克之：クインテッセンス出版(東京), p52-53, 2005.
- 4： 乳歯外傷の予防：乳歯列期における外傷歯の診断と治療 (木村光孝, 高木裕三, 香西克之, 朝田芳信編)：香西克之：クインテッセンス出版(東京), 香西克之(分担), p108-109, 2005.

### D) その他の出版物

- 1： 親子のお口の健康教室・報道記事：中国新聞, 2005.

### E) 学会発表

- 1： Prevalence of Four Putative Periodontal Pathogens in Children with Age. : Hayashi F, Okada M, Soda Y, Kozai K : 83rd General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research (Baltimore) , 2005.
- 2： Late Established Mutans Streptococci in Children Over 3 Years Old. : Okada M, Soda Y, Hayashi F, Miyamoto Y, Doi T, Suzuki J, Kozai K : 83rd General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research (Baltimore) , 2005.
- 3： The effectiveness of salivary Chromogranin as a stress indicator in children : Mitsuhata C, Suzuki J, Kozai K : 20th IAPD International Congress (Sydney), 2005.

- 4 : セミパラチンスク核実験場周辺住民における顎・顔面・口腔疾患の疫学的調査 : 峯岡摩耶, ズマジローバ・アナラ, 池田淳子, 吉岡幸男, 蔵本銘子, 尾田 良, 岡田貢, 天野秀昭, 岡本哲治 : 第 59 回日本口腔科学会総会 (徳島), 2005.
- 5 : 表皮剥脱毒素産生性黄色ブドウ球菌臨床分離株の毒素産生性と agr typing : 角本法子, 小松澤 均, 藤原 環, 山口隆之, 香西克之, 菅井基行 : 第 78 回日本細菌学会 (東京), 2005
- 6 : 小児歯科領域からのインターネットを拠点とした子育て支援事業への関わり : 海原康孝, 香西克之, 第 43 回日本小児歯科学会および総会 (仙台), 2005.
- 7 : 外科的処置をとまなう咬合誘導におけるクリニカルパスの検討 - (埋伏) 過剰歯の処置について - : 財賀かおり, 三浦 梢, 天野秀昭, 鈴木淳司, 香西克之 : 第 43 回日本小児歯科学会および総会 (仙台), 2005
- 8 : とびひ患者保有黄色ブドウ球菌の表皮剥脱毒素産生性と agr タイピング : 角本法子, 香西克之 : 第 43 回日本小児歯科学会 (仙台), 2005.
- 9 : Streptococcus mutans の産生する細胞壁溶解酵素 Aml の菌種特異的な活性に関する研究 : 吉村 剛, 香西克之 : 第 43 回日本小児歯科学会および総会 (仙台), 2005.
- 10 : ORI-C を用いた学童期の歯肉健康状態に関する研究 - 5 年間の経年的調査 - : 中江寿美, 宮本葉子, 岡田 貢, 香西克之 : 第 43 回日本小児歯科学会および総会 (仙台), 2005.
- 11 : A.actinocomycetemcomitans の LPS は骨芽細胞の分化を阻害する : 蔵本銘子, 王豫蓉, 鈴木淳司, 香西 克之 : 第 43 回日本小児歯科学会および総会 (仙台), 2005.
- 12 : とびひ患者由来黄色ブドウ球菌の表皮剥脱毒素産生性と agr タイピング : 角本 法子, 小松澤均, 藤原環, 香西克之, 菅井基行 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 13 : 根彎曲を伴う埋伏下顎第二小臼歯の咬合誘導の 1 例 : 香西克之, 鈴木淳司 : 第 17 回小児口腔外科学会 (岡山), 2005.
- 14 : 鎖骨頭蓋骨形成不全症の歯科的診断について : 番匠谷綾子, 海原康孝, 有木美早, 鈴木淳司, 香西克之 : 第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 15 : 1 型糖尿病患児の口腔内状態について : 有木美早, 鈴木淳司, 林 文子, 武部麻里, 三浦 梢, 中岡美由紀, 香西克之 : 第 44 回広島県歯科医学会 第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 16 : 外傷による乳歯陥入の処置について : 平田涼子, 林 陽子, 水野龍治郎, 鈴木淳司, 香西克之 : 第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 17 : 二卵性双生児にみられた鎖骨頭蓋骨形成不全症の症例 : 番匠谷綾子, 海原康孝, 有木美早, 香西克之 : 第 24 回日本小児歯科学会中四国地方会大会および総会 (徳島), 2005.
- 18 : 1 型糖尿病サマーキャンプに参加した小児の口腔内状態について : 有木美早, 鈴木淳司, 林 文子, 武部麻里, 三浦 梢, 中岡美由紀, 香西克之 : 第 24 回日本小児歯科

学会中四国地方会大会及び総会（徳島），2005.

- 19：乳歯外傷の処置－陥入症例について－：平田涼子，林陽子，水野龍治郎，鈴木淳司，香西克之：口腔顔面頭蓋再生研究国際シンポジウム 第5回日本外傷歯学会（岡山），2005.
- 20：当科外来における知的障害児(者)の歯科診療に関する実態調査：三浦 梢，鈴木淳司，中岡美由紀，天野秀昭，香西克之：第12回歯科医療福祉学会（名古屋），2005.
- 21：PGE2はJNK/p38 MAPK シグナルと協調してラット頭蓋冠由来 bipotential 前駆細胞の骨芽細胞と脂肪細胞への分化を調節する：南崎朋子，吉子裕二，香西克之，前田憲彦：第23回日本骨代謝学会(大阪)，2005.
- 22：Interaction of the PGE2 and JNK/p38 MAPK signaling pathways in osteoblast-adipocyte fate choices of bipotential progenitor cells in rat calvaria cell cultures：Minamizaki T, Yoshiko Y, Kozai K, J Aubin E, Maeda N：The 27th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research (Nashville), 2005.

#### F) 特別講演

- 1：小児歯科領域のトピックス：香西克之：平成17年度第1回山口県歯科医師会学術研修会，（徳山），2005.5.21.
- 2：歯と口の健康を育む：香西克之：第9回日本医療保育学会 教育講演，（広島），2005.8.27.
- 3：何から始める？歯っぴいライフ：香西克之：第16回ひろしまっこ健康フェスタ 講演会，（広島），2005.
- 4：Clinical Treatment in Pediatric Dentistry.：Kozai K.：重慶医科大学（中国重慶），2005.9.29
- 5：Prevention and Treatment of Early Childhood Caries:Suzuki J.：The First National Scientific Meeting in Pediatric Dentistry(Indonesia), 2005.
- 6：Prevention and Treatment of Early Childhood Caries：Okada M.：The First National Scientific Meeting in Pediatric Dentistry(Indonesia), 2005.
- 7：自閉症児の口腔ケア：鈴木淳司：福山地区歯科衛生連絡協議会 平成17年度母子歯科保健講演会（福山すこやかセンター）2005.11.21.
- 8：小児歯科のちょっとしたヒント：鈴木淳司：第44回広島県歯科医学会（広島），2005.
- 9：小児歯科における咬合誘導：鈴木淳司：あすなる会（広島），2005.
- 10：小児期の外傷歯の処置とその予後：香西克之：第44回広島県歯科医学会および第89回広島大学歯学会例会 シンポジウム「小児期の歯の外傷」（広島），2005.
- 11：乳幼児の歯と口の健康を育むために：香西克之：平成17年度広島市私立保育園協会自主勉強会 講演（広島），2005.

12: 子どもの歯の健康を育むー子どもにむし歯菌がうつるってホント?!ー: 香西克之: 東広島歯科医師会講演会(東広島), 2005.

13: 小児科医に役立つ小児歯科: 香西克之: 第3回福山小児科医会境界領域研究会講演(福山), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

1: 科学研究費補助金(若手研究(B)): 林 文子: 小児における歯周病発症リスクの検討. (課題番号 16791287), 1,700 千円

2: 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(C)(2)): 岡田 貢: ヒトゲノム fMLP 受容体遺伝子の一塩基多型解析. (課題番号 15592164), 1,900 千円

3: 科学研究費補助金(基盤研究(C)): 香西克之: う蝕原因菌特異的溶解酵素の口腔レンサ球菌臨床分離株に対する効果に関する研究. (課題番号 17592140), 2,100 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

1: 吉村 剛: 日本小児歯科学会デンツプライ賞, 2005.5.26.

2: 蔵本銘子: 第43回日本小児歯科学会優秀発表賞, 2005.5.26.

3: 林 文子: 第8回広島大学歯学部同窓会奨励賞, 2005.5.29.

4: 角本 法子: 第38回広島大学歯学会奨励賞, 2005.6.18

#### (6) 特許



## 口腔保健学科・口腔保健衛生学講座

### (社会歯科保健学分野)

#### (1) 職員並びに学生

教授 : 杉山 勝

助教授 : 藤本比登美

#### (2) 主な研究活動

- 1 : 学校保健活動のあり方に関する研究
- 2 : 不登校問題と養護教諭の役割に関する研究
- 3 : 養護教諭の職務のあり方に関する研究
- 4 : 学校歯科保健のあり方に関する研究
- 5 : 口腔病変の発生や特徴と、口腔微生物との関連についての研究

#### (3) 研究業績

##### A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Alveolar bone marrow as a cell source for regenerative medicine: Differences between alveolar and iliac bone marrow stromal cells : Matsubara T, Suardita K, Ishii M, Sugiyama M, Igarashi A, Oda R, Nishimura M, Saito M, Nakagawa K, Yamanaka K, Miyazaki K, Shimazu M, Bhawal U, Tsuji K, Nakamura K, Kato Y : J Bone Miner Res 20(3), 399-409 , 2005.
- 2 : Molecular markers distinguish bone marrow mesenchymal stem cells from fibroblasts : Ishii M, Koike C, Igarashi A, Yamanaka K, Pan H, Higashi Y, Kawaguchi H, Sugiyama M, Kamata N, Iwata T, Mastubara T, Nakamura K, Kurihara H, Tsuji K, Kato Y : Biochem Biophys Res Commun 332, 297-303, 2005.
- 3 : Association of expression of receptor for advanced glycation end products and invasive activity of oral squamous cell carcinoma : Bhawal U K, Ozaki Y, Nishimura M, Sugiyama M, Sasahira T, Nomura Y, Sato F, Fujimoto K, Sasaki N, Ikeda M, Tsuji K, Kuniyasu H, Kato Y : Oncology 69, 246-55, 2005.
- 4 : 口腔扁平上皮癌における CENP-F の発現とリンパ節転移との関係 : 重石英生, 水田邦子, 東川晃一郎, 小野重弘, 太田耕司, 島末 洋, 杉山 勝, 鎌田伸之 : 日口外誌 51, 77-81; 2005.
- 5 : 原発巣とリンパ節転移巣から樹立した舌扁平上皮癌細胞における発現遺伝子の比較—転移関連遺伝子同定の試み : 信森 剛, 瀧 雅行, 東川晃一郎, 小野重弘, 重石

- 英生, 米田進吾, 二宮嘉昭, 杉山 勝, 鎌田伸之: 日口外誌 51, 482-8, 2005.
- 6: 上顎骨延長術における RED system 固定装置の変形の検討: 太田耕司, 東森秀年, 杉山 勝, 信森 剛, 井上伸吾, 谷本幸太郎, 丹根一夫, 鎌田伸之: 日顎変形誌 13, 126-32, 2005.
- 7: 生体吸収性ポリ-L-乳酸プレートによる顎顔面骨骨折の治療: 東森秀年, 井上伸吾, 宮内美和, 東川晃一郎, 太田耕司, 二宮嘉昭, 島末 洋, 小野重弘, 杉山 勝, 鎌田伸之: 広歯誌 37, 145-50, 2005.
- 8: 当科におけるインプラント治療の取り組み—インプラント治療後 5 年間の経過報告—: 西村正宏, 牧平清超, 杉山 勝, 鎌田伸之, 貞森紳丞, 濱田泰三: 広島歯誌 33, 27-31, 2005.

## B) 総説

## C) 著書

- 1: 唾液腺疾患; 歯科衛生士のための口腔外科学(古森孝英編): 杉山 勝: 永末書店 (東京), 印刷中
- 2: 唾石摘出術; 歯科衛生士のための口腔外科学(古森孝英編): 杉山 勝: 永末書店 (東京), 印刷中

## D) その他の出版物

## E) 学会発表

- 1: 埋伏歯歯冠と萌出歯歯根とのセメント質結合を示した癒着歯の 1 例: 杉山 勝, 東森秀年, 東川晃一郎, 宮内美和, 井上伸吾, 鎌田伸之: 第 34 回日本口腔外科学会中・四国地方会 (米子), 2005.
- 2: RED system における Leipzig retention plate とステンレス製アーチワイヤーの物性についての検討: 太田耕司, 東森秀年, 久保美貴, 井上伸吾, 杉山 勝, 鎌田伸之, 谷本幸太郎, 丹根一夫: 第 15 回日本顎変形症学会 (徳島), 2005.
- 3: 口腔内からポジショニングシステムを応用し吸収性ポリ-L-乳酸プレートで固定した下顎枝矢状分割の 2 例: 第 15 回日本顎変形症学会 (徳島), 2005.
- 4: 口腔扁平上皮癌におけるヒトパピローマウイルス 16 型の存在と 5 年生存率との相関について: 杉山 勝, Ujjal Kumar Bhawal, 河村 誠, 石岡康希, 重石英生, 藤本比登美, 鎌田伸之: 第 38 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 5: 原発とリンパ節転移巣由来舌扁平上皮癌細胞の転移関連遺伝子検索: 信森 剛, 瀧雅行, 東川晃一郎, 小野重弘, 重石英生, 米田進吾, 二宮嘉昭, 杉山 勝, 鎌田伸之: 第 50 回日本口腔外科学会 (大阪), 2005.
- 6: 顎下部に発生した木村氏病の 1 例: 宮内美和, 島末 洋, 重石英生, 小川郁子, 杉山 勝, 宮内睦美, 鎌田伸之: 第 50 回日本口腔外科学会 (大阪), 2005.

- 7 : 吸収性プレートによる顎骨骨折治療：東森秀年，井上伸吾，宮内美和，東川晃一郎，太田耕司，二宮嘉昭，島末 洋，小野重弘，杉山 勝，鎌田伸之：第 44 回広島県歯科医学会，第 89 回広島大学歯学会例会（広島），2005.
- 8 : 養護教諭が考えた保健室改装（保健室の色づけ及び機能考察）：藤本比登美，田中明子，稲田恵子：第 37 回中国・四国学校保健学会（岡山），2005.
- 9 : 不登校を経験した中学・高校生の卒業後の状況：藤本比登美：第 51 回中国地区公衆衛生学会（松江），2005.
- 10 : 健康学習を使った心の成長につながる性教育（サブコーディネーター）：藤本比登美：第 14 回健康学習学会（大宮），2005.
- 11 : 広島大学歯学部口腔学科における教育カリキュラム：玉本光弘，竹本俊伸，天野秀昭，二川浩樹，杉山 勝，里田隆博，村山 長，藤本比登美，田嶋英明，下江宰司，原久美子，松本厚枝，仁井谷喜恵：第 44 回広島県歯科医学会第 89 回広島大学歯学会（広島），2005.
- 12 : デンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう！」：二川浩樹，天野秀昭，里田隆博，竹本俊伸，村山 長，杉山 勝，玉本光弘，原久美子，下江宰司，藤本比登美，松本厚枝，田嶋英明，仁井谷喜恵，小川郁子，森田敬子，小原 勝，末井良和，高田 隆，菅井基行，谷本啓二，岡本哲治，栗原英見：第 44 回広島県歯科医学会第 89 回広島大学歯学会（広島），2005.

#### F) 学会シンポジウム，特別講演

- 1 : 「不登校を経験した中・高等学校生の生活環境の捉え方と養護教諭の役割」：藤本比登美：全国私立中学高等学校心身の健康教育研修会(東京)，2005.
- 2 : 「救急処置における養護教諭の専門性について」：藤本比登美：第 6 回広島県高等学校教育研究会養護教諭部会および研究大会（広島），2005.
- 3 : ミニシンポジウム「口腔扁平上皮癌における CENP-F の発現解析」：重石英生，水田邦子，東川晃一郎，小野重弘，杉山勝，鎌田伸之：第 57 回日本口腔科学会総会（徳島），2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金（基盤研究（B）（2）一般）継続：杉山 勝，宮内美和，東川晃一郎，口腔扁平上皮癌の発癌へのヒトパピローマウイルスの関与。（課題番号 16390590），3,100 千円
- 2 : 学部・附属学校共同研究「研究プロジェクト」：藤本比登美，津島ひろ江，天満弘美，保田利恵，溝上直美，犬東有里，相澤光恵，森貞知子，弓場菜穂子，東恵子，荒谷美津子，柳田有子，矢部裕子，広島大学養護実習のシステムに関する研究，118,千円
- 3 : 学部・附属学校共同研究「研究プロジェクト」：天野秀昭，原久美子，藤本比登美，河村誠，岡田貢，溝上直美，森長俊六，石原義文，橋本直子，伊賀泰恵，口腔内スキャナ画像のヘルスプロモーションへの応用，50,千円

- 4：学部・附属学校共同研究「研究プロジェクト」：里田隆博，下江幸司，藤本比登美，白神聖也，井上純一，新堀稔文，井藤幹治，大辻明，世羅晶子，橋本直子，山下勝也：高校生物および保健教育における発生学的解剖模型の取り入れ

#### (5) 学会賞の受賞状況

- 1：東森秀年、杉山 勝，井上伸吾，宮内美和，小野重弘，太田耕司，鎌田伸之，中田佳子，田部英樹，丹根一夫：口腔内からポジショニングシステムを応用し吸収性ポリ-L-乳酸プレートで固定した下顎枝矢状分割の2例：第15回日本顎変形症学会賞，2005.

#### (6) 特許

## 口腔保健学科・口腔保健衛生学講座（チーム歯科医療学分野）

### （１）職員並びに学生

教授 : 天野秀昭（学科長兼任）  
講師 : 原久美子

### （２）主な研究活動

- 1 : 小児の顎・顔面の成長発育に関する研究
- 2 : 小児および障害児（者）の歯科医療に関する研究
- 3 : 唾液腺の機能賦活に関する研究
- 4 : 口腔ケアに関する研究
- 5 : 口腔保健教育に関する研究
- 6 : 歯科衛生士リカレント教育に関する研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : 歯科衛生士教育における客観的臨床能力評価試験（OSCE）導入の試み - 第2報 評価方法に関する検討 - : 原久美子, 松本厚枝, 森岡志摩, 竹本俊伸, 赤川安正 : 2004年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集, 24-31, 2005.
- 2 : 小児の歯列および咬合状態の成長発達に関する縦断研究 - 咬合の推移について - : 海原康孝, 財賀かおり, 中江寿美, 蔵本銘子, 楨平美夏, 宮本葉子, 鈴木淳司, 天野秀昭, 三浦一生, 川端康司, 香西克之 : 小児歯誌, 43(5), 660-668, 2005
- 3 : 口腔粘膜に著明な腫瘤を呈した Graft Versus Host Disease(GVHD)の1例 : 中江寿美, 鈴木淳司, 谷口芳子, 天野秀昭, 香西克之 : 小児口腔外科, 15(2), 125-130, 2005.
- 4 : Three-dimensional analysis of the effects of the treatment on anterior crossbite in the primary dentition : Kaihara Y, Amano H, Miura K and Kozai K : Pediatric Dental J, 15(1), 20-27, 2005
- 5 : 地域と連携した小児歯科医療の現状 - 本院小児歯科と開業歯科医院との協力体制について - : 蔵本銘子, 鈴木淳司, 天野秀昭, 香西克之 : 広島歯誌, 33, 22-26, 2005..
- 6 : 歯科衛生士学生における口腔清掃中止実習からの教育的効果の検討 : 松本厚枝, 原久美子, 森岡志摩, 竹本俊伸, 赤川安正 : 日本歯科医学教育学会雑誌 20 (2) , 333-338, 2005.
- 7 : 「歯と口の健康管理室」における患者の実態と動向 : 森岡志摩, 松本厚枝, 原久美子, 竹本俊伸 : 広島県歯科衛生士会学術誌 17(1), 2-5, 2005.

## B) 総説

## C) 著書

- 1 : 乳歯外傷の歯内療法 ; 乳歯列期における外傷歯の診断と治療 (木村光孝, 高木裕三, 香西克之, 朝田芳信編) : 天野秀昭, 香西克之 : クインッテッセンス出版株式会社 (東京), 52-53, 2005.

## D) その他の出版物

- 1 : 特別座談会 大学・大学院で学ぶ : 原久美子, 筒井 睦, 金久弥生, 丸山たかね, 緒方克也 : デンタルハイジーン, 医歯薬出版株式会社 (東京), 25(11), 1131-1136, 2005.

## E) 学会発表

- 1 : 各種洗口剤の希釈濃度と薬効成分の違いによる殺菌効果の比較 : 山崎利恵, 山下聖子, 渡辺智子, 松本厚枝, 原久美子, 竹本俊伸, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 2 : スケーリング・ブラッシング時における飛沫の飛散状況の考察 : 河野いつか, 川田めぐみ, 松本厚枝, 原久美子, 竹本俊伸, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 3 : 唾液腺マッサージが唾液分泌や緩衝能に及ぼす影響 : 原奈緒美, 原田香織, 森次政美, 松本厚枝, 竹本俊伸, 原久美子, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 4 : 不快に感じる歯磨き圧について : 岡田明日香, 川上菜穂子, 原久美子, 竹本俊伸, 松本厚枝, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 5 : ポニカデンタル歯ブラシと一般歯ブラシの清掃効果に関する検討 : 有田美恵, 石鎚彩, 松本厚枝, 竹本俊伸, 原久美子, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島) 2005.3.20
- 6 : 研磨剤による着色の影響 : 菅香緒里, 台信花菜, 宍戸歌奈子, 原久美子, 竹本俊伸, 松本厚枝, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 7 : 歯肉マッサージによる歯肉の血流量の変化 : 島田昌枝, 白石真弓, 原久美子, 竹本俊伸, 松本厚枝, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005..
- 8 : 口腔保健教育活動の有効性に関する一考察 - 某病院の教育研修会における質問紙調査から - : 原久美子, 梶谷佳世, 八重垣幸子, 山本春江, 辻 博美, 西村透子, 金久弥生, 丸山たかね : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 9 : 広島大学歯学部附属歯科衛生士学校リカレント研修会について : 友村早苗, 松本厚枝, 原久美子 : 広島県歯科衛生士会 (広島), 2005.

- 10 : 唾液腺マッサージにより口腔乾燥が改善した一症例 : 原久美子, 松本厚枝, 竹本俊伸, 吉田光由, 津賀一弘, 赤川安正 : 第 16 回日本老年歯科医学会 (東京), 2005.
- 11 : 重症心身障害児施設における歯科衛生士の業務の実態について—広島県立福山若草園における歯科医療の検討— : 天野秀昭, 佐藤真奈美, 仁井谷喜恵, 原久美子, 鈴木淳司, 香西克之 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 12 : 歯科医療スタッフに対する口臭教育—歯科衛生士学校における取り組み— : 竹本俊伸, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷喜恵 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 13 : 某病院の教育研修会における口腔保健教育活動の有効性に関する検討 : 原久美子, 梶谷佳世, 八重垣幸子, 山本春江, 辻 博美, 西村透子, 金久弥生, 丸山たかね : 第 1 2 回日本歯科医療福祉学会学術大会 (名古屋), 2005.
- 14 : 外科的処置をとまなう咬合誘導におけるクリニカルパスの検討 — (埋伏) 過剰歯の処置について— : 財賀かおり, 三浦 梢, 天野秀昭, 鈴木淳司, 香西克之 : 第 4 3 回日本小児歯科学会大会および総会 (仙台), 2005.
- 15 : 重症心身障害児施設広島県立福山若草園における歯科医療実態調査 : 佐藤真奈美, 鈴木淳司, 香西克之, 原久美子, 天野秀昭 : 第 1 2 回日本歯科医療福祉学会学術大会 (名古屋), 2005.
- 16 : 歯科医療従事者に対する口臭教育—歯科衛生士学校における口臭教育の実施と評価— : 竹本俊伸, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷喜恵 : 第 24 回日本歯科医学教育学会 (徳島), 2005.
- 17 : 歯科衛生士教育における客観的臨床能力試験(OSCE)について : 原久美子, 下田哲子, 島山智子, 日高美穂, 河島明子, 中岡美由紀, 岩崎代利子, 田村裕子, 森岡志摩, 仁井谷喜恵, 松本厚枝 : 第 38 回日本歯科衛生士会学術大会 (北海道), 2005.
- 18 : 広島大学歯学部口腔保健学科における教育カリキュラム : 玉本光弘, 竹本俊伸, 天野秀昭, 二川浩樹, 杉山 勝, 里田隆博, 村山 長, 藤本比登美, 田嶋英明, 下江宰司, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷喜恵 : 第 44 回広島県歯科医学会第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 19 : デンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう！」 : 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 田嶋英明, 仁井谷喜恵, 小川郁子, 森田敬子, 小原 勝, 末井良和, 高田隆, 菅井基行, 谷本啓二, 岡本哲治, 栗原英見 : 第 44 回広島県歯科医学会第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 20 : A Concept for Denture Plaque Control and a Newly Developed Denture Cleanser : Nikawa H, Amano H, Satoda T, Sugiyama M, Murayama T, Takemoto T, Tamamoto M, Fujimoto M, Tajima M, Hara K, Shimoe S, Matsumoto A, Niitani Y, & Matsushita N. : 2005 Sino-Japanese Conference on Stomatology (Shanghai), 2005.
- 21 : 唾液腺マッサージが QOL の向上を支援できた一症例 : 原久美子, 天野秀昭 : 日本歯科医療管理学会中国支部平成 17 年度学術大会 (広島), 2005.
- 22 : Web 技術を応用した歯科紹介状システムの構想 : 天野秀昭, 原久美子 : 日本歯科医療管理学会中国支部平成 17 年度学術大会 (広島), 2005.

F) 講演

- 1：すべてのライフステージにおける口腔ケアをめざして：天野秀昭：広島市歯科医師会研修会（広島），2005.
- 2：介護予防教室：原久美子：医療法人新生会研修会（広島）：2005.
- 3：口腔ケアの基本：原久美子：「看護部研修会」，医療法人社団更生会草津病院（広島），2005.
- 4：口腔ケアの基本：原久美子：「長崎病院職員研修会」，厚生堂長崎病院（広島），2005.
- 5：口腔ケアの方法について：原久美子：「オータムプラザ“2005”透析患者様の集い」，腎不全 QOL 研究会（広島），2005.
- 6：口腔清掃の方法について：原久美子：「保育所地域活動事業の一環である育児講座」社会福祉法人微妙福祉会（広島），2005.
- 7：口腔ケアの基本：原久美子：「光清苑デイサービス職員研修会」，社会福祉法人通所介護事業所光清苑（広島），2005.
- 8：口腔ケアの基本的な方法について：原久美子：「職員研修会」，(株)あさひメディコ グランホームあさひ デイサービスあさひ（広島），2005.
- 9：「口腔を清潔にする技術」：原久美子：第6回口腔ケア実践セミナー（広島），2005.
- 10：「口腔を清潔にする技術—応用編—」：原久美子：第6回口腔ケア実践セミナー（広島），2005.

## G) 社会貢献

- 1：小学生のためのデンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう！」：二川浩樹，天野秀昭，里田隆博，竹本俊伸，村山 長，杉山 勝，玉本光弘，原久美子，下江宰司，藤本比登美，松本厚枝，田嶋英明，仁井谷喜恵，小川郁子，森田敬子，小原 勝，末井良和，高田 隆，菅井基行，谷本啓二，岡本哲治，栗原英見：広島大学公開講座（広島），2005.
- 2：東広島市におけるデンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう！」：二川浩樹，天野秀昭，里田隆博，竹本俊伸，村山 長，杉山 勝，玉本光弘，原久美子，下江宰司，藤本比登美，松本厚枝，田嶋英明，仁井谷喜恵，栗原英見：東広島市「いい歯の日」（東広島），2005.
- 3：高校生公開講座 デンタルキッドプロジェクト：二川浩樹，天野秀昭，里田隆博，竹本俊伸，村山 長，杉山 勝，玉本光弘，原久美子，下江宰司，藤本比登美，松本厚枝，田嶋英明，仁井谷喜恵，小川郁子，森田敬子，小原 勝，末井良和，高田 隆，菅井基行，谷本啓二，岡本哲治，栗原英見：広島大学公開講座（広島），2005.
- 4：広島大学附属小学校におけるデンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう！」：二川浩樹，天野秀昭，里田隆博，竹本俊伸，村山 長，杉山 勝，玉本光弘，原久美子，下江宰司，藤本比登美，松本厚枝，田嶋英明，仁井谷喜恵，末井良和，谷本啓二，岡本哲治，栗原英見：広島大学歯学部公開講座（広島），2005.

## (4) 科学研究費補助金等の受領状況



1：平成 17 年度広島大学学部・附属学校共同研究機構：天野秀昭，口腔内スキャナ画像のヘルスプロモーションへの応用，50 千円

2：平成 17 年度 JST 実用化可能性試験：天野秀昭，口腔内軟組織の診査・診断における近赤外線への応用，2,000 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

# 口腔保健学科・口腔保健衛生学講座

## (口腔保健管理学分野)

### (1) 職員並びに学生

教授 : 竹本俊伸 (4月から)  
講師 : 松本厚枝 (4月から)  
助手 : 仁井谷善恵 (4月から)

### (2) 主な研究活動

- 1 : 歯科衛生士教育に関する研究
- 2 : 口臭に関する教育の研究
- 3 : 歯肉の健康に関する研究
- 4 : 口腔リラクセーション法について
- 5 : 唾液流出量と情動について
- 6 : カウンセリング教育について
- 7 : 歯科医療における感染予防対策

### (3) 研究業績

#### A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Immobilization of octanyl ammonium chloride on the surface of titanium and its effect on microbial colonization in vitro : Nikawa H, Ishida K, Hamada T, Satoda T, Murayama T, Takemoto T, Tamamoto M, Tajima H, Shimoe S, Fujimoto H, Makihira S : Dental Materials Journal 24(4), 570-582, 2005.
- 2 : 「歯と口の健康管理室」における患者の実態と動向 : 森岡志摩, 松本厚枝, 原久美子, 竹本俊伸 : 広島県歯科衛生士会学術誌 17(1), 2-5, 2005.
- 3 : 歯科衛生士学生における口腔清掃中止実習からの教育的効果の検討 : 松本厚枝, 原久美子, 森岡志摩, 竹本俊伸, 赤川安正 : 日本歯科医学教育学会雑誌 20(2), 333-338, 2005.
- 4 : 歯科衛生士教育における客観的臨床能力試験 (OSCE) 導入の試み - 第2報 評価方法に関する検討 - : 原久美子, 松本厚枝, 森岡志摩, 竹本俊伸, 赤川安正 : 2004年度歯科衛生士専任教員秋期学術研修会報告集 24-31, 2005.

### C) 著書

- 1 : 在宅ケア感染予防対策マニュアル, 改訂版 : 仁井谷善恵 (分担), ICHG 研究会編, 日本プランニングセンター (松戸), 2005.
- 2 : 標準予防策実践マニュアル : 仁井谷善恵 (分担), ICHG 研究会編, 南江堂 (東京), 2005.

### D) その他の出版物

- 1 : 広大フラッシュ「口腔保健学科の熱き思いにご支援を！」 : 竹本俊伸 : 広歯月報, 607, 7, 2005.
- 2 : 歯科衛生士を名実ともに「パラ」から「コ」へ！ : 竹本俊伸 : 広島大学歯学部同窓会会報, 28, 6, 2005.

### E) 学会発表

- 1 : 唾液腺マッサージが唾液分泌や緩衝能に及ぼす影響 : 原奈緒美, 原田香織, 森次政美, 松本厚枝, 竹本俊伸, 原久美子, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 2 : 各種洗口剤の希釈濃度と薬用成分の違いによる殺菌効果の比較 : 山崎利恵, 山下聖子, 渡邊智子, 松本厚枝, 竹本俊伸, 原久美子, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 3 : 研磨剤による着色の影響 : 菅香緒里, 台信花菜, 宋戸歌菜子, 原久美子, 竹本俊伸, 松本厚枝, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 4 : スケーリング・ブラッシング時における飛沫の飛散状況の考察 : 河野いつか, 川田めぐみ, 松本厚枝, 原久美子, 竹本俊伸, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 5 : 不快に感じる歯磨き圧について : 岡田明日香, 川上菜穂子, 原久美子, 竹本俊伸, 松本厚枝, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 6 : ポニカデンタル歯ブラシと一般歯ブラシの清掃効果に関する検討 : 有田美恵, 石鎚彩, 松本厚枝, 竹本俊伸, 原久美子, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 7 : 歯肉マッサージによる歯肉の血流量の変化 : 島田昌枝, 白石真弓, 原久美子, 竹本俊伸, 松本厚枝, 赤川安正 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 8 : 広島大学歯学部附属歯科衛生士学校リカレント研修会について : 友村早苗, 松本厚枝, 原久美子 : 第 20 回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島), 2005.
- 9 : 唾液腺マッサージにより口腔乾燥が改善した一症例 : 原久美子, 松本厚枝, 竹本俊伸, 吉田光由, 津賀一弘, 赤川安正 : 第 16 回日本老年歯科医学会大会 (東京), 2005.
- 10 : 重症心身障害者施設における歯科衛生士の業務の実態について : 天野秀昭, 佐藤真奈美, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 原久美子, 鈴木淳司, 香西克之 : 第 38 回広島大学歯

学会総会（広島），2005.

- 1 1 : 歯科医療スタッフに対する口臭教育-歯科衛生士学校における取り組み- : 竹本俊伸, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵 : 第 38 回広島大学歯学会総会（広島），2005.
- 1 2 : 歯科医療従事者に対する口臭教育-歯科衛生士学校における口臭教育の実施と評価 : 竹本俊伸, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵 : 第 24 回日本歯科医学教育学会学術大会（徳島），2005.
- 1 3 : 歯科衛生士教育における客観的臨床能力試験（OSCE）について : 原久美子, 下田哲子, 畠山知子, 日高美穂, 河島明子, 中岡美由紀, 岩崎代利子, 田村裕子, 森岡志摩, 仁井谷善恵, 松本厚枝 : 第 38 回日本歯科衛生士学術大会（札幌），2005.
- 1 4 : 唾液とクロモグラニン A の分泌量に対する口腔リラクセーションの影響 : 松本厚枝, 北山友也, 森岡徳光, 森田克也, 土肥敏博 : 第 47 回歯科基礎医学会学術大会（仙台），2005.
- 1 5 : A Concept for denture plaque control and a newly developed denture cleanser : Nikawa H, Amano H, Satoda T, Sugiyama M, Murayama T, Takemoto T, Tamamoto M, Fujimoto M, Tajima M, Hara K, Shimoe S, Matsumoto A, Niitani Y, & Matsushita N. : 2005 Sino-Japanese Conference on Stomatology (Shanghai), 2005.
- 1 6 : 口腔リラクセーション実施による唾液中のクロモグラニン A および IgA の測定 : 松本厚枝, 北山友也, 森岡徳光, 森田克也, 土肥敏博 : 第 44 回広島県歯科医学会 第 89 回広島大学歯学会（広島），2005.
- 1 7 : 今年のデンタルキッド・プロジェクト『歯医者さんになろう！』 : 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 杉山 勝, 村山 長, 竹本俊伸, 玉本光弘, 藤本比登美, 田嶋英明, 原久美子, 下江宰司, 松本厚枝, 仁井谷善恵, 小川郁子, 森田敬子, 小原 勝, 末井良和, 高田 隆, 菅井基行, 谷本啓二, 岡本哲治, 栗原英見 : 第 44 回広島県歯科医学会 第 89 回広島大学歯学会（広島），2005.
- 1 8 : 広島大学歯学部口腔保健学科における教育カリキュラム : 玉本光弘, 竹本俊伸, 天野秀昭, 二川浩樹, 杉山 勝, 里田隆博, 村山 長, 藤本比登美, 田嶋英明, 下江宰司, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵 : 第 89 回広島学歯学会, 第 44 回広島県歯学会（広島），2005.
- 1 9 : 広島大学病院歯周診療科・口臭外来における患者の傾向 : 長谷川直彦, 工藤靖爾, 清田真理, 足利新, 梶谷佳世, 竹本俊伸, 河口浩之, 栗原英見 : 日本歯周病学会第 6 回中国地区臨床研修会（鳥取），2005.

## F) 講演など

- 1 : 4 年制大学における歯科衛生士教育 : 竹本俊伸 : 第 23 回広島県歯科衛生士教育研究会（広島），2005.
- 2 : 口腔保健学科のビジョン-設置への道のりと将来への期待- : 竹本俊伸 : 平成 17 年度広島大学歯学部歯科保存学第二教室同門会学術講演会（広島），2005.
- 3 : 口腔清掃の方法について : 松本厚枝 : 「保育所地域活動事業の一環である育児講座」社会福祉法人微妙福祉会（広島），2005.

## G) 社会貢献

- 1 : デンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう!」: 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 田嶋英明, 仁井谷喜恵, 小川郁子, 森田敬子, 小原 勝, 末井良和, 高田 隆, 菅井基行, 谷本啓二, 岡本哲治, 栗原英見: 広島大学公開講座 (広島), 2005.
- 2 : デンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう!」: 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 田嶋英明, 仁井谷喜恵, 栗原英見: 東広島市「いい歯の日」(東広島), 2005.
- 3 : 高校生公開講座 デンタルキッドプロジェクト: 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 田嶋英明, 仁井谷喜恵, 小川郁子, 森田敬子, 小原 勝, 末井良和, 高田隆, 菅井基行, 谷本啓二, 岡本哲治, 栗原英見: 広島大学公開講座 (広島), 2005.
- 4 : デンタルキッドプロジェクト「歯医者さんになろう!」: 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 田嶋英明, 仁井谷喜恵, 岡本哲治, 栗原英見: 広島大学歯学部公開講座 (広島), 2005.

(4) 科学研究費等の受領状況

(5) 学会等の受賞状況

(6) 特許

## 口腔保健学科・口腔保健工学講座（基礎口腔科学分野）

### （１）職員並びに学生

教授　　：里田隆博

講師　　：下江宰司

### （２）主な研究活動

- 1：わかりやすい解剖模型の開発
- 2：咀嚼を支配する神経回路網の解明
- 3：前装材料と歯科用金属の接着に関する研究
- 4：義歯刻印法に関する研究
- 5：審美歯科材料に関する研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1：Control of oro-facio-lingual movements by the substantia nigra pars reticulata : high-frequency electrical microstimulation and GABA microinjection findings in rats: Inchul P, Amano N, Satoda T, Murata T, Kawagishi S, Yoshino K, Tanaka K : Neuroscience. 134(2),677-89,2005.
- 2：Application of a preliminary light-curing unit for enhanced bonding between a gold alloy and veneering materials : Tanoue N, Shimoe S, Atsuta M, Matsumura H : American Journal of Dentistry18(2), 73-114, 2005.
- 3：Repair and re-seating of resin-bonded fixed partial denture performed after minimal abutment reduction: A clinical report : Tanoue N, Shimoe S, Nemoto M, Matsumura H : International Chinese Journal of Dentistry 5(4), 97-100, 2005.
- 4：Immobilization of octadecyl ammonium chloride on surface of titanium and its effect on microbial colonization in vitro : Nikawa H, Ishida K, Hamada T, Satoda T, Murayama T, Takemoto T, Tamamoto M, Tajima H, Shimoe S, Fujimoto H, Makihira S : Dental Materials Journal 24(4), 570-582, 2005.

#### B) 総説

#### C) 著書

- 1：オールセラミックレストレーション 基礎からわかる材料・臨床・技工；オールセラ

ミックの臨床術式 2. ラミネートベニア (新谷明喜ほか編): 松村英雄, 下江宰司, 田上直美: 医歯薬出版株式会社 (東京), 164-169, 2005.

#### D) その他の出版物

- 1: 焼成陶材と耐火模型法による歯冠修復物の製作と技工室での表面処理: 下江宰司: 歯科医療 2005 春号 19(2), 11-18, 2005.
- 2: 温度管理に重宝する“放射温度計”について: 津賀一弘, 下江宰司, 赤川安正: 日本歯科評論 65(12), 67-70, 2005.

#### E) 学会発表

- 1: 鼓室の機能説明に重点を置いた鼓室模型の製作: 里田隆博, 下江宰司, 樋山伸二, 山西恵美子, 内田 隆: 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 2: 前装用コンポジット-金合金の接着強さとポーセレン-金合金の焼付け強度との比較: 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹: 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 3: 工業用 CAD/CAM の変遷と歯科用 CAD/CAM について: 村山 長, 玉本光弘, 下江宰司, 田嶋英明, 里田隆博, 二川浩樹: 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 4: アンケート調査による歯科技工指示書の現状: 玉本光弘, 下江宰司, 田嶋英明, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹: 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 5: 広島大学歯学部附属歯科技工士学校 33 年間の歩み-学生に関する分析-: 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹: 日本歯科技工学会第 27 回学術大会 (東京), 2005.
- 6: 顎関節機能模型の製作: 里田隆博, 下江宰司, 二川浩樹, 玉本光弘, 田嶋英明, 村山 長, 大浦慎太郎, 山口拓真, 山西恵美子, 樋山伸二, 内田 隆: 日本解剖学会第 60 回中国・四国支部学術集会 (徳島), 2005.
- 7: 顎関節機能模型の製作: 里田隆博, 下江宰司, 二川浩樹, 玉本光弘, 田嶋英明, 村山 長, 大浦慎太郎, 山口拓真, 山西恵美子, 樋山伸二, 内田 隆: 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 8: 広島大学歯学部附属歯科技工士学校 33 年間の歩み-学生に関する分析-: 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹: 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 9: 広島大学歯学部口腔保健学科における教育カリキュラム: 玉本光弘, 竹本俊伸, 天野秀昭, 二川浩樹, 杉山 勝, 里田隆博, 村山 長, 藤本比登美, 田嶋英明, 下江宰司, 原 久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵: 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.
- 10: デンタルキッドプロジェクト『歯医者さんになろう!』: 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原 久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 田嶋英明, 仁井谷善恵, 小川郁子, 森田敬子, 小原 勝, 末井良和,

高田 隆, 菅井基行, 谷本啓二, 岡本哲治, 栗原英見 : 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.

11 : センサー付き IC タグの有床義歯への埋め込みによる健康管理システムの構築-基本構想- : 村山 長, 下江宰司, 二川浩樹, 玉本光弘, 田嶋英明, 里田隆博, 岸本秀美, 木谷有子 : 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会 (広島), 2005.

12 : A Concept for Denture Plaque Control and a Newly Developed Denture : Nikawa H, Amano H, Satoda T, Sugiyama M, Murayama T, Takemoto T, Tamamoto M, Fujimoto M, Tajima M, Hara K, Shimoe S, Matsumoto A, Niitani Y, Matsushita N : 2005 Sino-Japanese Conference on Stomatology, 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

1 : 広島大学学部・附属学校共同研究プロジェクト (17 年度) 「高校生物および保健教育における発生学的解剖模型の取り入れ」 : 里田隆博, 藤本比登美, 下江宰司, 白神聖也, 井上純一, 井藤幹治, 大辻明, 新堀稔文, 世羅晶子, 橋本直子, 山下勝也  
7,8 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許



## 口腔保健学科・口腔保健工学講座（生体材料工学分野）

### （１）職員並びに学生

教授　　：村山　長（歯学部附属歯科技工士学校　兼任）  
助教授　：玉本光弘（歯学部附属歯科技工士学校　兼任，教務主任）

### （２）主な研究活動

- 1：CAD/CAM, ラピッドプロトタイピングの歯科医学への応用
- 2：有床義歯を用いたユビキタスネットワーク
- 3：電子機器の埋め込みによる顎顔面補綴物の機能化
- 4：治療用・保護用口腔装具の開発と臨床応用
- 5：審美歯科に関する研究
- 6：歯科医学教育に関する研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1：Dynamic Job Shop Scheduling Using the Mixture of a Genetic Algorithm and a Priority Rule：Eguchi T, Dougakiuchi M, Oba F, Murayama T：Proceedings of 18th International Conference on Production Research, 1-5, 2005.
- 2：Self-improving System for Assembly Sequence Planning：Murayama T, Eguchi T, Oba F：Proceedings of International Conference on Instrumentation, Control and Information Technology (SICE Annual Conference 2005), 884-889, 2005.
- 3：Dynamic Scheduling with Processing Time Uncertainty Using the Mixture of Real-time Scheduling and Periodic Optimization：Eguchi T, Oba F, Kozaki S, Murayama T：Proceedings of International Conference on Instrumentation, Control and Information Technology (SICE Annual Conference 2005), 482-487, 2005.
- 4：Production Planning and Simulation for Reverse Supply Chain：Murayama T, Yoda M, Eguchi T, Oba F：Proceedings of The 3rd International Conference on Leading Edge Manufacturing in the 21st Century (LEM21), 385-390, 2005.
- 5：Adaptive Production Planning by Information Sharing for Reverse Supply Chain：Murayama T, Yoda M, Eguchi T, Oba F：Proceedings of 4th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing (EcoDesign2005), 1-6, 2005.
- 6：《補綴治療におけるオーラルデザイン　ー技工サイドと臨床サイドのチームコミュニケーションー》歯科技工指示書に関するアンケート調査からみたチームコミュニケーションの現状：玉本光弘：補綴誌49(3), 414-424, 2005.

7 : Immobilization of Octadecyl Ammonium Chloride on the Surface of Titan and Its Effects on Microbial Biofilm Formation *In Vitro* : Nikawa H, Ishida K, Hamada T, Satoda T., Murayama T., Takemoto T., Tamamoto M., Tajima H., Shimoe S., Fujimoto H. and Makihira S : Dental Mater. J, 24, 570-582, 2005.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : 前装用コンポジット-金合金の接着強さとポーセレン-金合金の焼付け強度との比較 : 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 2 : 広島大学歯学部附属歯科技工士学校 33 年間の歩み-学生に関する分析- : 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹 : 日本歯科技工学会第 27 回学術大会 (東京), 2005.
- 3 : 顎関節機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 二川浩樹, 玉本光弘, 田嶋英明, 村山 長, 大浦慎太郎, 山口拓真, 山西恵美子, 樋山伸二, 内田 隆 : 日本解剖学会第 60 回中国・四国支部学術集会 (徳島), 2005.
- 4 : 顎関節機能模型の製作 : 里田隆博, 下江宰司, 二川浩樹, 玉本光弘, 田嶋英明, 村山 長, 大浦慎太郎, 山口拓真, 山西恵美子, 樋山伸二, 内田 隆 : 第 89 回広島大学歯学会, 第 44 回広島県歯学会 (広島), 2005.
- 5 : 広島大学歯学部附属歯科技工士学校 33 年間の歩み -学生に関する分析- : 下江宰司, 田嶋英明, 玉本光弘, 里田隆博, 村山 長, 二川浩樹 : 第 89 回広島大学歯学会, 第 44 回広島県歯学会 (広島), 2005.
- 6 : 循環型サプライチェーンのための生産計画法とシミュレーションモデルの構築 : 村山 長, 與田 光伸, 江口 透, 大場史憲 : 第 49 回システム制御情報学会研究発表講演会(京都), 2005.
- 7 : 遺伝的アルゴリズムと優先規則を融合した動的スケジューリング - 納期余裕に着目した優先規則の影響 - : 道垣内将司, 江口 透, 大場史憲, 村山 長 : 日本機械学会生産システム部門講演会2005(東京), 2005.
- 8 : 工業用 CAD/CAM の変遷と歯科用 CAD/CAM について : 村山 長, 玉本光弘, 下江宰司, 田嶋英明, 里田隆博, 二川浩樹 : 第 38 回広島大学歯学会総会(広島), 2005.
- 9 : センサー付き IC タグの有床義歯への埋め込みによる健康管理システムの構築-基本構想- : 村山 長, 下江宰司, 二川浩樹, 玉本光弘, 田嶋英明, 里田隆博, 岸本秀美, 木谷有子 : 第 89 回広島大学歯学会, 第 44 回広島県歯学会(広島), 2005.
- 10 : アンケート調査による歯科技工指示書の現況 : 玉本光弘, 下江宰司, 田嶋英明,

里田隆博, 村山 長, 二川浩樹 : 第 38 回広島大学歯学会総会(広島), 2005.

- 1 1 : 広島大学歯学部口腔保健学科における教育カリキュラム : 玉本光弘, 竹本俊伸, 天野秀昭, 二川浩樹, 杉山 勝, 里田隆博, 村山 長, 藤本比登美, 田嶋英明, 下江宰司, 原久美子, 松本厚枝, 仁井谷善恵 : 第 89 回広島大学歯学会, 第 44 回広島県歯学会(広島), 2005.
- 1 2 : 当診療科における高度先進医療約 10 年間の報告ー接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定ー : 安部倉 仁, 浜田泰三, 貞森紳丞, 村田比呂司, 西村正宏, 牧平清超, 香川和子, 二川浩樹, 玉本光弘 : 第 89 回広島大学歯学会, 第 44 回広島県歯学会(広島), 2005.
- 1 3 : A Concept for Denture Plaque Control and a Newly Developed Denture Cleanser : Nikawa H, Amano H, Satoda T, Sugiyama M, Murayama T, Takemoto T, Tamamoto M, Fujimoto M, Tajima M, Hara K, Shimoe S, Matsumoto A, Niitani Y & Matsushita N. : 日中歯科医学会 (上海) , 2005.
- 1 4 : デンタルキッド・プロジェクト『歯医者さんになろう!』 : 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 田嶋英明, 仁井谷善恵, 小川郁子, 森田敬子, 小原 勝, 末井良和, 高田 隆, 菅井基行, 谷本啓二, 岡本哲治, 栗原英見 : 第 89 回広島大学歯学会, 第 44 回広島県歯学会(広島), 2005.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

## 口腔保健学科・口腔保健工学講座(口腔機能修復学分野)

### (1) 職員並びに学生

教授 : 二川浩樹 (\* ) 歯学部附属歯科技工士学校長, 診療支援部歯科技工室長  
(併任)

講師 : 田嶋英明

事務補佐員 : 川端涼子, 廣本延枝 (4月から), 蔭地美紀 (11月から)

### (2) 主な研究活動

- 1 : 歯科材料アレルギーの材料学的研究
- 2 : カンジダバイオフィームとデンチャープラークの研究
- 3 : プロバイオティクスを応用したう蝕予防の研究
- 4 : 塩基性抗菌性ペプチドの設計
- 5 : 塩基性抗菌性ペプチドを応用した間葉系幹細胞の大量増殖の研究

### (3) 研究業績

#### A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : Intercellular adhesion molecule 1-dependent activation of interleukin 8 expression in *Candida albicans*-infected human gingival epithelial cells : Egusa H, Nikawa H, Makihira S, Jewett A, Yatani H, Hamada T : *Infect Immun*73(1),622-6,2005.
- 2 : Immobilization of Octadecyl Ammonium Chloride on the Surface of Titan and Its Effects on Microbial Biofilm Formation In Vitro. : Nikawa H, Ishida K, Hamada T, Satoda T, Murayama T, Takemoto T, Tamamoto M, Tajima H, Shimoe S, Fujimoto H, Makihira S : *Dental Mater* J24, 570-582, 2005.
- 3 : 金属アレルギー被疑患者に対するパッチテスト検査, 元素分析の有効性 : 牧平清超, 二川浩樹, 内山裕絵, 安部倉仁, 貞森紳丞, 小川郁子, 田中武志, 高田 隆, 香西克之, 濱田泰三 : *広島歯誌*, 2005.

#### B) 総説

- 1 : ラクトバチルスロイテリによるカリエスリスク減少の試み : 二川浩樹 : *食品工業*, 48(20) 10月30日号, 37-52, 2005.
- 2 : 義歯のメンテナンス 義歯安定剤の効用ー義歯安定剤は有用であるか否か : 村田比呂司, 濱田泰三, 二川浩樹 : *The Quintessence 2005年 YEARBOOK*, 96-97, 2005.
- 3 : 口腔カンジダの付着およびバイオフィーム形成 : 二川浩樹, 濱田泰三, 江草 宏, 牧

平清超, 福島 整, 川端涼子, 矢谷博文 : 日本医真菌雑誌, 46, 233-242, 2005.

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : A Concept for Denture Plaque Control and a Newly Developed Denture Cleanser :  
Nikawa H, Amano H, Satoda T, Sugiyama M, Murayama T, Takemoto T, Tamamoto M,  
Fujimoto M, Tajima M, Hara K, Shimoe S, Matsumoto A, Niitani Y & Matsushita : 日中齒  
科医学会 (上海) , 2005.
- 2 : デンタルキッド・プロジェクト『歯医者さんになろう!』 : 二川浩樹, 天野秀昭, 里  
田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原久美子, 下江宰司, 藤本比登  
美, 松本厚枝, 田嶋英明, 仁井谷善恵, 小川郁子, 森田敬子, 小原 勝, 末井良和,  
高田 隆, 菅井基行, 谷本啓二, 岡本哲治, 栗原英見: (広島) , 2005.
- 3 : 歯周治療におけるクリティカルパス導入への取り組み-第1報 クリティカルパスの  
意義および作成について- : 濱寄智子, 相見礼子, 萩原陽子, 幸田房恵, 二川陽子,  
二川浩樹 : 第20回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島) , 2005.
- 4 : 歯周治療におけるクリティカルパス導入への取り組み-第2報 当院におけるクリテ  
ィカルパスを用いた症例について- : 相見礼子, 濱寄智子, 萩原陽子, 幸田房恵, 二  
川陽子, 二川浩樹 : 第20回広島県歯科衛生士会研究発表会 (広島) , 2005.
- 5 : 歯科医院ホームページに関する調査-特に広島県および東京都について : 村田比呂司,  
李 英愛, 二川浩樹, 西村春樹, 洪 光, 貞森紳丞, 濱田泰三 : 第44回広島県歯科医  
学会・第89回広島大学歯学会 (広島) , 2005.
- 6 : 当診療科における高度先進医療約10年間の報告-接着ブリッジによる欠損補綴並び  
に動揺歯固定- 安部倉 仁, 浜田泰三, 貞森紳丞, 村田比呂司, 西村正宏, 牧平清超,  
香川和子, 二川浩樹, 玉本光弘 : 第89回広島大学歯学会, 第44回広島県歯学会,  
(広島) 2005
- 7 : 金属アレルギー被疑患者に対するパッチテスト, 元素分析の有効性 : 牧平清超, 二川  
浩樹, 内山裕絵, 重岡美代子, 中野 香, 三好浩之, 小川郁子, 高田 隆, 濱田泰  
三 : 第44回広島県歯科医学会・第89回広島大学歯学会 (広島) , 2005.
- 8 : 歯周治療におけるクリティカルパスの意義および作成について : 濱寄智子, 相見礼子,  
二川陽子, 二川浩樹 : 日本歯科医療管理学会中国支部平成17年度学術大会 (広島)  
2005.

F) 学会シンポジウム, 特別講演など

- 1 : 第4級アンモニウム塩, むし歯・歯周病予防, 抗菌防臭加工 : 二川浩樹 : 産業クラ

スター創出フェア, 2005.

- 2 : 口腔カンジダの話～デンチャープラークと義歯洗浄剤について : 二川浩樹 : 佐伯歯科医師会 : 広島県歯科医師会館 2005.
- 3 : 医科・歯科用および工業用金属・樹脂の抗菌化固定 : 二川浩樹 : イノベーションジャパン 2005 (東京), 2005.
- 4 : 研究教育研修研究教育研修 II PRPのスキルアップセミナー 英語論文の作成 : 二川浩樹 : 第114回補綴学会 (新潟), 2005.
- 5 : 日本歯科補綴学会研究教育研修 PRPのスキルアップセミナー 英語論文の作成 : 二川浩樹 : 補綴学会 東海支部会 (名古屋), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学技術振興機構 (権利化試験 A) (代表) 二川浩樹, 抗菌ペプチドを用いた再生医療用幹細胞の大量増殖技術の開発, (課題番号 H16-03), 28,789 千円 (16-18 年度総額 60,000 千円)
- 2 : 委任経理金 (大塚製薬) : 二川浩樹, 500 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許

- 1 : 鎌田 健資, 二川 浩樹 : 「抗菌剤水溶液及びその保存方法」 : (特願 2005-212600) (出願人 : 株式会社ヒロマイト, 広島大学), 2005
- 2 : 二川 浩樹, 西村 正宏, 加藤 幸夫, 辻 紘一郎 : 「動物幹細胞培養用無血清培地」 : (特願 2005-223242) (出願人 : 辻 紘一郎, 二川 浩樹, 加藤 幸夫), 2005
- 3 : 二川 浩樹 : 「抗菌性医療用補綴部材及び医療用補綴部材の抗菌処理方法」 : (特願 2005-233130) (出願人 : 広島大学), 2005
- 4 : 二川 浩樹, 西村 正宏, 辻 紘一郎, 川端 涼子, 片桐 延枝 : 「新規抗菌性ペプチド」 : (特願 2005-277121), (出願人 : 独立行政法人科学技術振興機構, 国立大学法人 広島大学, 株式会社 ツーセル), 2005
- 5 : 二川 浩樹 : 「合成樹脂の抗菌方法及び抗菌性合成樹脂」 : (特願 2005-320308) (出願人 : 広島大学 和田精密歯研株式会社), 2005
- 6 : 二川 浩樹 : 「義歯洗浄剤」 : (特願 2005-321546) (出願人 : 広島大学), 2005
- 7 : 二川 浩樹, 濱田 泰三, 西村 正宏, 辻 紘一郎 : 「新規塩基性抗菌ペプチド及びその利用」 : (特願 2004-098896) (国際出願番号 : PCT/JP2005/005724) (国際公開番号 WO2005/095445 A1) (指定国 : アメリカ, カナダ, 中国, 韓国, EP (全指定)) (出願人 : 独立行政法人科学技術振興機構), 2005

# 中央研究室

## (1) 職員並びに学生

委員長 : 前田憲彦 (併任)  
教務員 : 土井健義(2月まで), 林 幾江, 明石靖史(3月から),

## (2) 主な研究活動

- 1 : 歯根膜の石灰化抑制機序の解明
- 2 : 生理活性物質測定の実験的アプローチ
- 3 : マウス ES 細胞からの顎顔面組織誘導
- 4 : マウス骨髄幹細胞からの顎顔面組織誘導

## (3) 研究業績

### A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : The metabolism of hyaluronan in cultured rabbit growth plate chondrocytes during differentiation : Suzuki A, Tanimoto K, Ohno S, Nakatani Y, Honda K, Tanaka N, Doi T, Ohno-Nakahara M, Yoneno K, Ueki M, Tanne K : *Biochem Biophys Acta*, 1743, 57-63, 2005.
- 2 : Cyclic mechanical strain regulates the PTHrP expression in cultured chondrocytes via activation of the Ca<sup>2+</sup> channel : Tanaka N, Ohno S, Honda K, Tanimoto K, Doi T, Ohno-Nakahara M, Tafolla E, Kapila S, Tanne K : *J Dent Res*, 84(1), 64-68, 2005.
- 3 : Multidifferentiation potential of mesenchymal stem cells in three-dimensional collagen gel cultures : Yoneno K, Ohno S, Tanimoto K, Honda K, Tanaka N, Doi T, Kawata T, Tanaka E, Kapila S, Tanne K : *Journal of Biomedical Materials Research*, 75(A), 733-741, 2005
- 4 : Long-term effects of radiation dose on inflammatory markers in atomic bomb survivors : Hayashi T, Morishita Y, Kubo Y, Kusunoki Y, Hayashi I, Kasagi F, Hakoda M, Kyoizumi S, Nakachi K : *Am J Med*, 118, 83-86, 2005.
- 5 : Rapid and multi-sample determination of reactive oxygen species in human sera : Hayashi T, Morishita Y, Hayashi I, Masuda M, Fujita K, Kusunoki Y, Jitsukata K, Nakachi K : *Nihon Rinsho Kensa Jidoka Gakkai Kaishi [JJCLA]* 30(3), 216-20, 2005.
- 6 : Identification and molecular characterization of an N-acetylmuramyl-L-alanine amidase Sle1 involved in cell separation of *Staphylococcus aureus* : Kajimura J, Fujiwara T, Yamada S, Suzawa Y, Nishida T, Oyamada Y, Hayashi I, Yamagishi J, Komatsuzawa H., Sugai M : *Molecular Microbiology* 58(8), 1087-1101, 2005.

### B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: The metabolism of hyaluronan during chondrocyte differentiation : Suzuki A., Tanimoto K, Ohno S, Honda K, Tanaka N, Doi T, Ohno M, Yoneno K, Ueki M, Nakatani Y, Yanagida T, Kiitamura R, Rin Y, Tanne Y, Tanne K : The 5<sup>th</sup> Asian-Pacific Orthodontic Conference (Beijing), 2005.
- 2 : Hyaluronan promotes hard tissue generation from mesenchymal stem cells : Yoneno K, Ohno S, Doi T, Tanne K : The 83<sup>rd</sup> International Association for Dental Research (Baltimore), 2005.
- 3 : Streptococcus mutans の産生する細胞壁溶解酵素 Am-1 の菌種特異的な活性に関する研究 : 吉村 剛、香西 克之 会員外 小松沢均、藤原 環、林 幾江、山田作夫、菅井基行 : 第43回日本小児歯科学会大会総会 (仙台) 2005.
- 4 : Risk of radiation-related stomach cancer differs among atomic-bomb survivors due to different HLA class I genotypes : Hayashi T, Morishita Y, Nagamura H, Imai K, Hayashi I, Kusunoki Y, Nakachi K, Tahara E : The 14<sup>th</sup> International HLA and Immunogenetics Workshop (Melbourne), 2005.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) 一般) : 明石 靖史

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許



## 歯系総合診療科（口腔総合診療科）

### （１）職員並びに学生

教授：小川哲次（\*）広島大学病院副病院長（歯科教育研修担当）：小川哲次（併任）  
広島大学病院歯科領域卒後臨床研修管理委員会委員長：小川哲次（併任）広島  
大学病院臨床教育研修センター長（歯科）：小川哲次（併任）

助手：田口則宏（2月～イギリス ダンディー大学に留学），田中良治（2月から）

研修医：桜井隆臣（～3月），永井幸一郎（～3月），田中延仁（4月～），吉原正人（4月  
～），太田勇賢（4月～），永田将昭（4月～），三浦完奈（4月～）

### （２）主な研究活動

- 1：対話に基づく患者中心の歯科医療についての検討
- 2：総合歯科医療に関する研究
- 3：歯科医師臨床研修プログラムの検討
- 4：医療コミュニケーション技法に関する研究
- 5：臨床教育技法に関する研究
- 6：臨床技能評価法に関する研究
- 7：模擬患者の養成と標準化に関する研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1：能動型臨床研修システムの構築－標準化と個別化に向けて－：田口則宏，小川哲次，  
笹原妃佐子，白井憲一，吉野 宏，谷 亮治，島末 洋，田地 豪，安部倉 仁，田  
中栄二，天野秀昭，田口 明，竇田 貫，名原行徳，小川郁子：日本歯科医学教育学  
会雑誌 21, 196-204; 2005.
- 2：一般歯科診療所の研修医受け入れに関する研究－質問紙調査の分析結果－：笹原妃  
佐子，河村 誠，田口則宏，小川哲次：日本歯科医学教育学会雑誌 21, 242-249,  
2005.
- 3：歯科医師臨床研修における ICLS 導入への取り組み－ICLS シミュレーションコース  
の試み－第 1 報－：田中良治，田口則宏，小川哲次：日本歯科医学教育学会雑誌，印  
刷中，2005.

#### B) 総説

#### C) 著書

#### D) その他の出版物

#### E) 学会発表

- 1 : 医療コミュニケーション能力の評価法 : 小川哲次, 田口則宏, 田中良治, 石川裕子 : 日本コミュニケーション学会中国四国支部会 (松山), 2005.
- 2 : 医療コミュニケーションセミナー : 小川哲次, 田口則宏, 田中良治, 石川裕子 : 第 24 回日本歯科医学教育学会総会 (徳島), 2005.
- 3 : 歯科医師臨床研修における ICLS 導入への取り組み : 田中良治, 田口則宏, 小川哲次 : 第 24 回日本歯科医学教育学会総会 (徳島), 2005
- 4 : 広島大学病院における受託臨床実習の教育効果について : 日高美穂, 中岡美由紀, 岩崎代利子, 田村裕子, 小川哲次, 岡本哲次 : 第 24 回日本歯科医学教育学会 (徳島), 2005.
- 5 : 歯科医師臨床研修における ICLS シミュレーションコースを受講して : 小川文野, 田中良治, 清水慶隆, 河原道夫, 田口則宏, 小川哲次, 谷川攻一 : 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会例会(広島), 2005.
- 6 : 広島大学病院口腔総合診療科におけるベトナム・ボランティア歯科医療活動 : 田中延仁, 永田将昭, 吉原正人, 田中良治, 藤田英子, 柄俊彦, 小川哲次 : 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会例会(広島), 2005.

#### F) セミナー, ワークショップの開催

- 1 : 「第 2 回医療コミュニケーションセミナー」 : (広島), 2005.
- 2 : 「第 3 回医療コミュニケーションセミナー」 : (広島), 2005.
- 3 : 平成 17 年度臨床研修医ワークショップ : (広島), 2005.
- 4 : 平成 17 年度第 1 回広島大学病院臨床研修医 ICLS コース : (広島), 2005
- 5 : 第 4 回中国四国地区指導歯科医講習会 : (広島), 2005.
- 6 : 平成 17 年度第 2 回広島大学病院臨床研修医 ICLS コース : (広島), 2005

#### G) セミナー, ワークショップの発表並びにファシリテータ, タスクフォース

- 1 : タスクフォース : 小川哲次 : 九州歯科大学共用試験歯学 OSCE 評価者養成ワークショップ : (北九州), 2005
- 2 : ファシリテータ : 小川哲次, 田口則宏 : 第 2 回医療コミュニケーションセミナー : (広島), 2005.
- 3 : ファシリテータ : 小川哲次 : 第 3 回医療コミュニケーションセミナー : (広島), 2005.
- 4 : タスクフォース : 小川哲次, 田中良治 : 平成 17 年度臨床研修医ワークショップ : (広島), 2005.

- 5 : タスクフォース : 小川哲次 : 平成 17 年度第 1 回共用試験歯学 OSCE ワークショップ : (札), 2005.
- 6 : タスクフォース : 小川哲次 : 平成 17 年度第 2 回共用試験歯学 OSCE ワークショップ : (新潟), 2005.
- 7 : タスクフォース : 小川哲次 : 平成 17 年度第 3 回共用試験歯学 OSCE ワークショップ : (福岡), 2005.
- 8 : タスクフォース : 小川哲次 : 第 2 回中国四国地区指導歯科医講習会, 2005.
- 9 : タスクフォース : 小川哲次 : 鹿児島大学病院指導歯科医講習会 : (鹿児島), 2005
- 10 : タスクフォース : 小川哲次 : 第 3 回中国四国地区指導歯科医講習会 : (岡山), 2005
- 11 : タスクフォース : 田中良治, 小川哲次 : 平成 17 年度第 1 回広島大学病院臨床研修医 ICLS コース : (広島), 2005
- 12 : タスクフォース : 田中良治, 小川哲次 : 第 4 回中国四国地区指導歯科医講習会 : (広島) 2005.
- 13 : タスクフォース : 小川哲次 : 九州大学病院指導歯科医講習会 : (福岡), 2005.
- 14 : タスクフォース : 田中良治, 小川哲次 : 平成 17 年度第 2 回広島大学病院臨床研修医 ICLS コース : (広島), 2005.
- 15 : タスクフォース : 小川哲次 : 第 5 回中国四国地区指導歯科医講習会 : (徳島), 2005.
- 16 : タスクフォース : 小川哲次 : 第 6 回中国四国地区指導歯科医講習会 : (岡山), 2005.
- 17 : タスクフォース : 小川哲次 : PBL-コミュニケーション教育セミナー : (岡山), 2005.

#### H) 院外講習会, セミナー, ワークショップの受講

- 1 : 第 9 回歯科医師臨床研修指導者ワークショップ : 受講者 田中良治 : 歯科医療研修振興財団厚生労働省主催 : 2005.
- 2 : 第 1 回歯学倫理教育ワークショップ : 受講者 小川哲次 : 日本歯科医学教育学会主催 : (舟橋), 2005.

#### I) 客観的臨床能力試験 (OSCE, CSA など) の実施

- 1 : 平成 16 年度 第 3 回広島大学病院臨床研修 Advanced OSCE, 2005.
- 2 : 平成 16 年度 2 年次研修医 Advanced OSCE (CSA), 2005.
- 3 : 平成 17 年第 1 回広島大学病院臨床研修 Advanced OSCE, 2005

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 文部科学省海外先進教育実践支援プログラム : 田口則宏 : 臨床能力評価の国際標準化に

ついでに 研究, 課題番号 16-海-324.

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

## 口腔健康発育歯科（予防歯科）

### （１） 教員並びに学生

講師           ：河村 誠  
助手           ：笹原妃佐子

### （２） 主な研究活動

- 1 : 口腔保健に関する行動科学的研究
- 2 : 口腔保健に関する国際比較研究
- 3 : 地域歯科保健に関する研究
- 4 : 学校歯科保健に関する研究
- 5 : 歯学教育に関する研究
- 6 : 「歯周画像」診断のための CAD システムの開発

### （３） 研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1 : A comparative study of oral health attitudes and behaviour using the Hiroshima University - Dental Behavioural Inventory (HU-DBI) between dental students in Britain and China. : Komabayashi T, Kwan S Y L, Hu D-Y, Kajiwara K, Sasahara H, Kawamura M : Journal of Oral Science 47 ( 1 ) ,1-7, 2005.
- 2 : An exploratory study on cultural variations in oral health attitudes, behaviour and values of freshman (first-year) dental students. : Kawamura M, Wright F A C, Declerck D, Freire M C M, Hu D-Y, Honkala E, Lévy G, Kalwitzki M, Polychronopoulou A, Yip H-K, Kinirons M J, Eli I, Petti S, Komabayashi T, Kim K-J, Razak A A A, Srisilapanan P, Kwan S Y L : International Dental Journal 55,205-211, 2005.
- 3 : Dental education in India and Japan: Implications for U.S. dental programs for foreign-trained dentists. : Komabayashi T, Raghuraman K, Raghuraman R, Toda S, Kawamura M, Levine S M, Bird W F : Journal of Dental Education 69, 461-469, 2005.
- 4 : Étude comparée des comportements des étudiants français et de leurs pairs japonais face à leur santé orale en utilisant un questionnaire de l'Université d'Hiroshima, Hiroshima University – Dental Behavioral Inventory (HU-DBI). (In French, abstract in English). : Lévy G, Kawamura M, Misawa A, Sasahara H : Journal dentaire du Québec 42, 211-219, 2005.
- 5 : Oral self-care behaviours: comparing Greek and Japanese dental students. Polychronopoulou A., Kawamura M.: European Journal of Dental Education 9, 164-70, 2005.
- 6 : Comparison of the recognition of denture adhesive between Japanese and Indonesian

- dentists : A pilot study. Sadamori S, Hamada T, Hong G, Nakai N, Kawamura M, Razak A :  
Maj Ked Gigi (Dent J)38, 189-193, 2005.
- 7 : 口腔保健 7 要因間の因果関係をもとにした地域レベルでの環境・行動評価の試み. 河村 誠, 笹原妃佐子, 富田洋道, 高橋宏司, 藤井春男, 佐藤美穂子, 吉岡英人, 岩崎代利子, 梶原京子 : 口腔衛生学会雑誌 55 (2), 95-99, 2005.
- 8 : 「学童期の歯肉を診る眼を養う」ためのコンピュータトレーニングソフトの試作. : 中江寿美, 岡田 貢, 河村 誠, 財賀かおり, 林 文子, 三浦一生, 香西克之 : 日本小児歯科学雑誌 43, 442-448, 2005.
- 9 : Evidence based practice に関する日本語版尺度開発と等価性の検証. 岡 美智代, 石田貞代, 河村 誠, Chaboyer W., Creedy D. : 日本保健医療行動科学学会年報 20, 100-113, 2005.
- 10 : 歯科衛生士学校学生のための予防歯科臨床実習の評価とその改善方法について. : 下田哲子, 岩崎代利子, 笹原妃佐子, 河村 誠 : 広島大学歯学雑誌 37, 61-65, 2005.
- 11 : 若年者の口腔自己管理評価質問紙 (オスカ) の開発と再テスト法による信頼性について. : 河村 誠, 岡田 貢, 笹原妃佐子 : 広島大学歯学雑誌 37, 72-81, 2005.
- 12 : 一般歯科診療所の研修医受入れに関する研究 -質問紙調査の分析結果-. : 笹原妃佐子, 河村 誠, 田口則宏, 小川哲次 : 日本歯科医学教育学会雑誌 21(3), 242-249, 2005.

## B) 総説

## C) 著書

- 1 : 第 9 章 コミュニケーションとインフォームドコンセント. 河村 誠 (訳) : G. Kent R. Croucher 著 : 新庄文明, 山崎久美子, 俣木志朗 (監訳) : 歯科医療人間科学へのいざない. 医歯薬出版, 東京, 220-46, 2005.

## D) その他の出版物

- 1 : 本学病院の歯科領域で臨床教育や研修を受けている者の医療事故に対する保険と傷害保険への加入状況について : 笹原妃佐子, 河村 誠, 貞森紳丞, 田口則宏, 小川哲次 : 日本歯科医学教育学会雑誌 20(2), 390-395, 2005.
- 2 : 若者の口腔保健関連要因の予測に関するダイナミック・シミュレーション : 河村 誠, 笹原妃佐子, 高世尚子, 田口則宏, 古賀 寛, 小川哲次 : 口腔衛生学会雑誌 (短報) 55(2), 118-120, 2005.
- 3 : 日豪比較による Evidence based practice の実態調査と尺度開発. 岡 美智代, 石田貞代, 河村 誠, 高橋菜美 : 平成 14~16 年度科学研究費基盤研究 C(2)補助金研究成果報告書, 神奈川, 1-74, 2005.
- 4 : 能動型臨床研修システムの構築 -標準化と個別化に向けて- : 田口則宏, 小川哲次, 田中良治, 笹原妃佐子, 白井憲一, 吉野 宏, 谷 亮治, 島末 洋, 田地 豪, 安

部倉 仁, 田中榮二, 天野秀昭, 田口 明, 寶田 貫, 名原行徳, 小川郁子: 日本  
歯科医学教育学会雑誌 21(2), 196-204, 2005.

#### E) 学会発表

- 1 : Demonstration of 'Dr. Picar' as a computer-aided program for periodontal health, developed in Japan. : Kawamura M, Okada M, Uchiyama Y, Sasahara H : Workshop-seminar for the First International Conference on Tropical Oral Health (England), 2005.
- 2 : Studies on nursing students' ability to evaluate periodontal health status using a computer training soft named 'Dr. Picar'. : Okada M, Kawamura M, Kajiwara K, Uchiyama Y, Sasahara H, Amano H : Workshop-seminar for the First International Conference on Tropical Oral Health (England), 2005.
- 3 : 口腔扁平上皮癌におけるヒトパピローマウイルス 16 型の存在と 5 年生存率との相関について : 杉山 勝, Ujjal Kumar Bhawal, 河村 誠, 石岡康希, 重石英生, 藤本比登美, 鎌田伸之 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 4 : 歯周疾患の検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発 : 内山良一, 河村 誠, 笹原妃佐子, 岡田 貢 : 第24回日本医用画像工学会大会, #P2-3 (予稿集CD-ROM), (東京), 2005.
- 5 : 認知症高齢者の口腔内状態と全身状態との関係 -グループホーム入所者での検討-. : 古胡真佐美, 貞森紳丞, 濱田泰三, 笹原妃佐子 : 第 22 回日本障害者歯科学会 (甲府), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (萌芽研究) 継続 : 河村 誠 (代表) : カメラ付き携帯電話等から送信された「歯周画像」診断のための CAD システムの開発. (課題番号 16659585), 1,100 千円
- 2 : 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 継続 : 笹原妃佐子 (代表) : 住民の歯科保健行動と地域歯科保健活動の因果関係 -MIDORI モデルとのギャップ-. (課題番号 16592090), 500 千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許

## 口腔健康発育歯科（障害者歯科）

### （１）職員並びに学生

助教授　　：岡田　貢　診療科長（併任）  
助手　　　：神田　拓（８月～１２月まで）

### （２）主な研究活動

- １：障害者の齲蝕発生リスクに関する研究
- ２：障害者の歯周病発症リスクに関する研究
- ３：障害者の歯科的協力度に関する研究
- ４：障害者の歯科的問題における PBL 教育に関する研究

### （３）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- １：Longitudinal study of dental caries incidence associated with *Streptococcus mutans* and *Streptococcus sobrinus* in pre-school children. : Okada M, Soda Y, Hayashi F, Doi T, Suzuki J, Miura K, Kozai K : J. Med. Microbiol 54, 661-665, 2005.
- ２：若年者の口腔自己管理評価質問紙（オスカ）の開発と再テスト法による信頼性について：河村　誠，岡田　貢，笹原妃佐子：広大歯誌 37, 72-81, 2005.
- ３：「学童期の歯肉を診る眼を養う」ためのコンピュータトレーニングソフトの試作：中江寿美，岡田　貢，河村　誠，財賀かおり，林　文子，三浦一生，香西克之：小児歯誌 43, 442-448, 2005.

#### B) 総説

#### C) 著書

- １：学校歯科保健と歯周治療：小児歯科臨床叢書 6　もう一步踏み込もう！！-学校歯科保健-（監修　丸山進一郎，西連寺愛憲）：岡田　貢：東京臨床出版（東京），95-104, 2005.

#### D) その他の出版物

- １：衛生管理能力の向上を目指した口腔内環境調査の実践　-口腔内歯周病原性細菌の遷移と衛生教育効果-：土井喜美子，日野孝宗，矢部裕子，上山福美，乾　孝史，



- 池上政雄, 玉川絵梨, 福永幸久, 東山朋子, 平田玲加, 岡田 貢, 栗原英見 : 広島大学学部・附属学校共同研究紀要 33, 435-442, 2005.
- 2 : 学校歯科検診におけるう蝕要観察歯(CO)の追跡調査保田利恵, 關 浩和, 溝上直美, 岡田 貢 : 広島大学学部・附属学校共同研究紀要 33, 447-449, 2005.

#### E) 学会発表

- 1 : Late established mutans streptococci in children over 3 years old. : Okada M, Soda Y, Hayashi F, Miyamoto Y, Doi T, Suzuki J, Kozai K : 83<sup>rd</sup> General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research (Baltimore), 2005.
- 2 : Prevalence of four putative periodontal pathogens in children with age : Hayashi F, Okada M, Soda Y, Kozai K : 83<sup>rd</sup> General Session and Exhibition of the International Association for Dental Research (Baltimore), 2005.
- 3 : Periodontal disease in children and its treatment.: Okada M: The first Indonesian National Scientific Meeting in Pediatric Dentistry (Surabaya), 2005.
- 4 : Computer aided screening of oral condition.: Okada M, Kawamura M, Kajihara K, Uchiyama Y, Sasahara H, Amano H : International Working Group Meeting on Tropical Oral Health (Poole), 2005.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

## 特殊歯科総合治療部（言語治療室）

### （1）職員並びに学生

部長 : 香西克之（併任）

助手 : 藤原百合

### （2）主な研究活動

1 : 口蓋裂言語の評価法に関する研究

2 : Electropalatography(EPG)を用いた訓練方法に関する研究

### （3）研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

#### B) 総説

1 : 摂食・嚥下障害リハビリテーションの現状と課題 : 岡田澄子, 九里葉子, 熊倉勇美, 小島千枝子, 椎名英貴, 清水充子, 藤原百合, 矢守麻奈 : 言語聴覚研究 2 巻, 114-118 頁, 2005.

#### C) 著書

#### D) その他の出版物

#### E) 学会発表

1 : エレクトロパラトグラフィー (EPG) を用いた口蓋裂異常構音に対するホームトレーニングの試み : 藤原百合, 井上幸, 山本一郎 : 第 29 回日本口蓋裂学会 (東京), 2005.

2 : Trials of EPG home training, using a portable training unit, for Japanese children with cleft palate. : Y Fujiwara, M Inoue, K Muraguchi, I Yamamoto : The 4<sup>th</sup> International EPG symposium (Edinburgh), 2005.

3 : 開鼻声の聴覚的評価に関する検討—予備的実験— : 藤原百合 : 第 50 回日本音声言語医学会(横浜), 2005.

### （4）科学研究費補助金等の受領状況

### （5）学会賞等の受賞状況

(6) 特許

## 口腔検査センター

### (1) 職員並びに学生

センター長：高田 隆（併任）  
講師：小川郁子  
助手：大上啓子，森田敬子  
技術補佐員：坂野敬子

### (2) 主な研究活動

- 1：頭頸部病変の臨床病理学的研究
- 2：口腔扁平上皮癌の増殖・進展に関する分子病理学的研究
- 3：唾液腺腫瘍の細胞分化に関する研究

### (3) 研究業績

#### A) 原著（症例報告を含む）

- 1：Small interfering RNA targeting of S phase kinase-interacting protein 2 inhibits cell growth of oral cancer cells by inhibiting p27 degradation. : Kudo Y, Kitajima S, Ogawa I, Kitagawa M, Miyauchi M, Takata T : Molecular Cancer Therapy 4, 471-476, 2005.
- 2：Establishment of cementoblast cell lines from rat cementum lining cells by transfection with temperature-sensitive simian virus-40 T-antigen gene. : Kitagawa M, Kitagawa S, Kudo Y, Ogawa I, Miyauchi M, Tahara H, Ide T, Takata T : Bone 37, 220-226, 2005.
- 3：Overexpression of Aurora-A potentiates HRAS-mediated oncogenic transformation and is implicated in oral carcinogenesis. : Tatsuka M, Sato S, Kitajima S, Suto S, Kawai H, Miyauchi M, Ogawa I, Maeda M, Ota T, Takata T : Oncogene 24, 1122-1127, 2005.
- 4：Metastatic retinoblastoma of the maxilla and mandible. : Taguchi A, Sui Y, Ogawa I, Naito K, Nagasaki T, Lee K, Fujita M, Tanimoto K : Dentomaxillofacial Radiology 34, 126-131, 2005.
- 5：広範に papillary-cystic な組織構築を示し，細胞異型の明瞭な領域を伴った耳下腺原発上皮-筋上皮性癌の1例：小川郁子，西田俊博，平川治男，宮内睦美，高田 隆 : 診断病理 22, 231-234, 2005.
- 6：剖検により原発性肺癌の舌転移と考えられた1例：小野重弘，信森 剛，米田進吾，東森秀年，二宮嘉昭，小川郁子，高田 隆，鎌田伸之：広島大学歯学会雑誌 37, 82-86, 2005.

## B) 総説

- 1 : Down-regulation of Cdk inhibitor p27 in oral squamous cell carcinoma. : Kudo Y, Kitajima S, Ogawa I, Miyauchi M, Takata T : Oral Oncology 41, 105-116, 2005.
- 2 : 歯原性腫瘍の病理診断 : 小川郁子, 宮内陸美, 工藤保誠, 高田 隆 : 病理と臨床 23, 1186-1193, 2005.
- 3 : 唾液腺腫瘍の分子病理 : 小川郁子, 北川雅恵, 工藤保誠, 宮内陸美, 高田 隆 : 日本唾液腺学会誌 46, 57-68, 2005.

## C) 著書

- 1 : 筋上皮腫, 筋上皮癌 : 唾液腺腫瘍アトラス (森永正二郎編) : 小川郁子 : 金原出版 (東京), 51-56, 128-129, 2005.

## D) その他の出版物

## E) 学会発表

- 1 : Molecular analyses of oral cancer in Korea and Japan. : Kudo Y, Ogawa I, Hong S D, Lim J J, Miyauchi M, Lee J I, Hong S P, Takata T : 2nd meeting of Asian Society of Oral and Maxillofacial Pathology (Soul), 2005.
- 2 : Disorder of Aurora A degradation in oral cancer. : Kitajima S, Kudo Y, Sato S, Ogawa I, Miyauchi M, Tatsuka M, Takata T : 2nd meeting of Asian Society of Oral and Maxillofacial Pathology (Soul), 2005.
- 3 : Histologic diversity and differential diagnosis of epithelial-myoepithelial carcinoma. : Ogawa I, Miyauchi M, Kitagawa M, Kitajima S, Kudo Y, Takata T : 2nd meeting of Asian Society of Oral and Maxillofacial Pathology (Soul), 2005.
- 4 : ヒトセメント芽細胞株の樹立 : 北川雅恵, 岡 広子, 齋藤彰久, 小川郁子, 宮内陸美, 田原栄俊, 井出利憲, 高田 隆 : 第 48 回春季日本歯周病学会学術大会 (長崎), 2005.
- 5 : 骨芽細胞の増殖, 分化に及ぼすヘパリンおよびその誘導体の影響 : 齋藤彰久, 吉田真希, 中田朝子, 岡 広子, 北川雅恵, 小川郁子, 宮内陸美, 高田 隆 : 第 48 回春季日本歯周病学会学術大会 (長崎), 2005.
- 6 : ヒト歯髄細胞の増殖・分化に対するエナメルマトリクスタンパクの影響 : 上田浩大, 北川雅恵, 齋藤彰久, 宮内陸美, 小川郁子, 尾田 良, 富士谷盛興, 高田 隆 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 7 : 口腔癌における Aurora-A の分解異常 : 北島正二郎, 工藤保誠, 達家雅明, 小川郁子, 宮内陸美, 高田 隆 : 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 8 : 合成アメリロプラスチンペプチドを用いた歯周・骨再生療法の開発に関する研究 : 吉田真希, 中田朝子, 飯塚新二, 岡 広子, 北川雅恵, 北川尚嗣, 工藤保誠, 小川郁

- 子, 宮内睦美, 高田 隆: 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 9 : 骨芽細胞の増殖分化に及ぼすヘパリンおよびその誘導体の影響: 齊藤彰久, 吉田真希, 中田朝子, 岡 広子, 北川雅恵, 小川郁子, 宮内睦美, 高田 隆: 第 38 回広島大学歯学会総会 (広島), 2005.
- 10 : 口腔癌における Aurora A の分解異常: 北島正二郎, 工藤保誠, 達家雅明, 小川郁子, 宮内睦美, 高田 隆: 平成 17 年度先端歯学国際教育研究ネットワーク・サマースクール (横浜), 2005.
- 11 : 口腔癌の浸潤に関わる新規因子 Periostin の同定: 工藤保誠, 小川郁子, 北島正二郎, 北川雅恵, シリワルデナ サマダラニ, 宮内睦美, 高田 隆: 第 16 回日本口腔病理学会 (盛岡), 2005.
- 12 : セメント芽細胞の増殖および機能発現機構に関する検討. III. PGE2 刺激に対するセメント芽細胞 OCCM-30 の応答性と PGE 受容体の役割について: 岡広子, 宮内睦美, 古庄寿子, 齊藤彰久, 北川雅恵, 坂本宜也子, 飯塚新二, 小川郁子, 野口和行, 石川烈, 高田隆: 第 48 回秋季日本歯周病学会学術大会 (札幌), 2005.
- 13 : ヒトセメント芽細胞株の樹立とその増殖分化に対する代表的生理活性物質の影響: 北川雅恵, 飯塚新二, 坂本宜也子, 川添祐亮, 岡 広子, 齊藤彰久, 工藤保誠, 小川郁子, 宮内睦美, 高田 隆: 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 14 : ヒト歯髓細胞に対するエナメルマトリックスタンパクの影響について: 上田浩大, 北川雅恵, 齊藤彰久, 飯塚新二, 宮内睦美, 小川郁子, 尾田 良, 富士谷盛興, 高田 隆: 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 15 : 口腔癌における Aurora-A の分解異常: 北島正二郎, 工藤保誠, 小川郁子, 宮内睦美, 達家雅明, 高田 隆: 第 47 回歯科基礎医学会学術大会 (仙台), 2005.
- 16 : Aurora A の分解機構と口腔癌における異常: 北島正二郎, 工藤保誠, 小川郁子, 宮内睦美, 達家雅明, 高田 隆: 第 28 回日本分子生物学会年会 (博多), 2005.
- 17 : デンタルキッド・プロジェクト「歯医者さんになろう!」: 二川浩樹, 天野秀昭, 里田隆博, 竹本俊伸, 村山 長, 杉山 勝, 玉本光弘, 原 久美子, 下江宰司, 藤本比登美, 松本厚枝, 田嶋英明, 仁井谷善恵, 小川郁子, 森田敬子, 小原 勝, 末井良和, 高田 隆, 菅井基行, 谷本啓二, 岡本哲治, 栗原英見: 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会例会 (広島), 2005.
- 18 : 金属アレルギー被疑患者に対するパッチテスト, 金属元素分析の有効性: 牧平清超, 二川浩樹, 内山裕絵, 重岡美代子, 中野 香, 三次浩之, 小川郁子, 高田 隆, 濱田泰三: 第 44 回広島県歯科医学会・第 89 回広島大学歯学会例会 (広島), 2005.
- 19 : オーロラと細胞がん化シグナル: 達家雅明, 河合秀彦, 神田暁史, 前田雅代, 太田隆英, 佐藤淳, 北島正二郎, 工藤保誠, 宮内睦美, 小川郁子, 高田 隆: 第 64 回日本癌学会学術総会 (札幌), 2005.
- 20 : 耳下腺腫瘍 (Epithelial-myoepithelial carcinoma): 小川郁子, 西田俊博, 木村隆広, 宮内睦美, 高田 隆: 日本病理学会中国四国支部学術集会 第 86 回スライドカンファレンス (高松), 2005.
- 21 : 下顎骨腫瘍 (Ameloblastic carcinoma, secondary type, intraosseous): 北川雅恵, 齊藤彰久, 岡 広子, 宮内睦美, 虎谷茂昭, 李 薫, 小川郁子, 高田 隆: 第 16 回日本

- 口腔病理学会総会・学術大会（盛岡），2005.
- 2 2 : 下顎骨腫瘍 (Squamous odontogenic tumor) : 飯塚新二, 岡 広子, 中山宏文, 小川郁子, 虎谷茂昭, 李 薫, 芳村喜道, 宮内睦美, 高田 隆 : 日本病理学会中国四国支部学術集会 第 88 回スライドカンファレンス (岡山), 2005.
  - 2 3 : 唾液腺腫瘍 (Acinic cell carcinoma) : 北川雅恵, 齋藤彰久, 工藤保誠, 小川郁子, 杉田敦郎, 高田 隆 : 第 7 回唾液腺腫瘍病理研究会 (東京), 2005.
  - 2 4 : 嚢胞化を伴った oncocytic carcinoma の 1 例 : 小川郁子, 西田俊博, 木村隆広, 齋藤彰久, 北川雅恵, 宮内睦美, 高田 隆 : 第 50 回日本唾液腺学会 (東京), 2005.
  - 2 5 : 下顎前歯部に生じた歯原性扁平上皮腫の 1 例 : 福井康人, 谷 亮治, 虎谷茂昭, 小川郁子, 林 大祐, 芳村喜道, 高田 隆, 岡本哲治 : 第 53 回日本口腔科学会中国四国地方部会 (高松), 2005.
  - 2 6 : 顎下部に発生した木村氏病の 1 例 : 宮内美和, 島末 洋, 重石英生, 小川郁子, 杉山 勝, 宮内睦美, 鎌田伸之 : 第 50 回日本口腔外科学会総会 (大阪), 2005.

#### F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1 : スライドセミナー 唾液腺腫瘍 : 小川郁子, 高田 隆 : 第 16 回日本口腔病理学会総会・学術大会 (盛岡), 2005.
- 2 : 唾液腺腫瘍の病理-病理診断の手順とキーポイント- : 小川郁子 : 第 8 回大阪病理研究会 (吹田), 2005.

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 継続 : 小川郁子 (代表) : 唾液腺腫瘍の発生・進展と特異な形態形成に関わる遺伝子, タンパクの変化に関する検討. (課題番号 15591935), 1,100 千円
- 2 : 科学研究費補助金 (萌芽研究) 新規 : 大上敬子 (代表) : 口腔扁平上皮癌の浸潤・転移に関わる新規因子の同定, (課題番号 17659635)

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許

## 歯科技工室

### (1) 職員並びに学生

歯科技工室長 : 二川浩樹 (併任)

歯科技工士長 : 大倉啓孝

主任歯科技工士 : 山本昌信, 埴生栄作, 大谷吉広, 山本明司,

歯科技工士 : 加藤了嗣

歯科技工士研修生 : 梅谷知弘, 北島 静, 佐伯 恵, 豊島勇志, 西田幸弘, 野村 聖  
村上有紀, 森 和幸, 吉田將純, 吉村智美, 山根弘敬

### (2) 主な研究活動

- 1 : 義歯に埋入する患者データの方法の考案
- 2 : 放射線治療補助装置 (スパーサー) の製作法
- 3 : インプラントの上部構造に関する研究
- 4 : 各種前装歯冠補綴物における審美性の追及
- 5 : 歯科鑄造物の適合性に関する研究
- 6 : 歯科技工におけるコンピュータによる情報処理に関する研究

### (3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

### (5) 学会賞等の受賞状況

### (6) 特許



## 歯科衛生室

### (1) 職員並びに学生

室長	: 岡本哲治 (併任)
歯科衛生士長	: 田村裕子
主任歯科衛生士	: 岩崎代利子, 中岡美由紀
歯科衛生士	: 河島明子, 日高美穂 : 畠山知子, 梶谷佳世, 下田哲子, 宮川久美, 福田晃子 (3月まで), 時数智子 (12月から), 松井加奈子 (5月から), 矢野加奈子, 島 田昌枝 (4月から), 臺信花菜 (4月から), 原奈緒美 (4月から), 山下聖子 (4月から)

### (2) 主な研究活動

- 1 : 歯科衛生士の行う歯科保健指導に関する研究
- 2 : 地域歯科保健の向上に関する研究
- 3 : 歯科診療における歯科衛生士の役割について

### (3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : Longitudinal study of gingival health in children : Nakaoka M, Shimoda T, Miyakawa K, Matsui K, Tamura H : 83th International Association for Dental Research (Baltimore), 2005
- 2 : 卒業後の初期研修を受けて ~この一年間の成果~ : 矢野加奈子, 畠山知子, 田村裕子 : 第20回広島県歯科衛生士会研究発表会 : (広島), 2005
- 3 : 本院における受託臨床実習の教育効果について : 日高美穂, 中岡美由紀, 岩崎代利子, 田村裕子, 小川哲次, 岡本哲治 : 日本歯科医学教育学会 (徳島), 2005
- 4 : 接着性歯面コート材の臨床評価 -失敗例に学ぶ原因と対策- : 下田哲子, 台信花

- 菜, 島田昌枝, 原奈緒美, 北川解士, 柴田暁輝, 畠山知子, 矢野加奈子, 宮川久美, 山下聖子, 尾田良, 白井憲一, 上田浩大, 本山智得, 田村裕子, 富士谷盛興: 日本歯科審美学会 (大阪), 2005
- 5: スケーリング・ルートプレーニングを通して歯周治療の担当歯科衛生士の役割: 畠山知子, 島田昌枝, 山下聖子, 台信花菜, 原奈緒美, 下田哲子, 矢野加奈子, 河島明子, 田村裕子, 河口浩之: 日本歯周病学会中国地区臨床研修会 (鳥取), 2005
- 6: 某病院の教育研修会における口腔保健教育活動の有効性に関する検討: 原久美子, 梶谷佳世, 八重垣幸子, 山本春江, 辻博美, 西村透子, 金久弥生, 丸山たかね: 日本歯科医療福祉学会 (愛知), 2005
- 7: 歯科衛生士教育における客観的臨床能力試験 (OSCE) について: 原久美子, 下田哲子, 畠山知子, 日高美穂, 中岡美由紀, 河島明子, 岩崎代利子, 田村裕子, 森岡志摩, 仁井谷善恵, 松本厚枝: 日本歯科衛生士会学術大会 (徳島), 2005
- 8: 歯面審美コート材-ホワイトコート-: 三島幸司, 本山智得, 大本美樹, 南良いずみ, 引地直子, 下田哲子, 田村裕子, 富士谷盛興: 広島大学歯学会 (広島), 2005
- 9: 1型糖尿病患者の口腔内状態について: 有木美早, 鈴木淳司, 林文子, 武部麻里, 三浦梢, 中岡美由紀, 香西克之: 広島大学歯学会 (広島), 2005
- 10: 1型糖尿病サマーキャンプに参加した小児の口腔内状態について: 有木美早, 鈴木淳司, 林文子, 武部麻里, 三浦梢, 中岡美由紀, 香西克之: 第24回日本小児歯科学会中国四国地方会大会及び総会 (徳島) 2005

#### F) シンポジウム

- 1: 食と命 ～子供の健やかな未来を～ 子供を取りまく食環境を考える 食は口から: 口腔ケアから見えてくるもの: 田村裕子: 中国・四国地区助産師研修会 (広島), 2005

#### (4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (奨励研究): 畠山知子: 音波 (超音波) 歯ブラシの使用による歯周ポケット内の細菌叢の変化. (課題番号 17926009), 760千円

#### (5) 学会賞等の受賞状況

#### (6) 特許

## 医療情報室

### (1) 職員並びに学生

室長	: 香西克之 (併任)
教授	: 天野秀明 (併任)
助手	: 大塚昌彦 (兼任), 田中武志
技官	: 河村明江 (兼務)、柳田徳栄 (兼務)

### (2) 主な研究活動

- 1 : 病院情報システムの開発と運営に関する研究
- 2 : 医療情報学に関する研究

### (3) 研究業績

#### A) 原著 (症例報告を含む)

- 1 : 院外処方情報自動 FAX 送信システム導入後の患者生活圏とかかりつけ薬局の相関関係 : 田中武志, 津久間秀彦, 岩田則和, 野村祐仁, 片山文善, 石川澄 : 医療情報学 25 (Suppl.), 818-819, 2005.
- 2 : 患者参画型病院の実現を支援する患者用コンテンツの利用状況の評価 : 津久間秀彦, 坂田香代, 河村明江, 田中武志, 岩田則和, 石川澄 : 医療情報学 25 (Suppl.), 259-262, 2005.
- 3 : 患者参画型病院の実現を支援する患者用コンテンツの開発 : 津久間秀彦, 河村明江, 坂田香代, 田中武志, 池本かづみ, 池田俊貴, 藤井輝久, 伊藤義広, 藤井園子, 岡壽子, 中村文子, 藤井雄一, 森一朗, 伊藤嘉郎, 江上かおり, 石川澄 : 医療情報学 25 (Suppl.), 1290-1293, 2005.
- 4 : 診療看護過程支援システム活用の効果—看護師を対象としたアンケート結果の分析— : 坂田香代, 河村明江, 杉村美由紀, 吉川文花, 才野原照子, 津久間秀彦, 田中武志, 香西克之, 石川澄 : 医療情報学 25 (Suppl.), 410-411, 2005.
- 5 : 看護実践用語〈看護行為編〉の有効性と活用方法の評価—使用一年半後の活用実態調査の分析— : 河村明江, 坂田香代, 杉村美由紀, 吉川文花, 才野原照子, 津久間秀彦, 田中武志, 香西克之, 石川澄 : 医療情報学 25 (Suppl.), 438-439, 2005.
- 6 : 注射指示安全確認システム稼動5ヶ月後の注射業務の安全性の評価—システムログと看護師へのアンケート結果の分析— : 小谷早苗, 河村明江, 坂田香代, 杉村美由紀, 西中カフミ, 吉川文花, 才野原照子, 津久間秀彦, 田中武志, 香西克之, 石川澄 : 医療情報学 25 (Suppl.), 464-465, 2005.
- 7 : 医療安全と業務効率に対する電子化医療記録の効果 : 坂田香代, 石川澄, 河村明江,

杉村美由紀, 吉川文花, 才野原照子, 津久間秀彦, 田中武志 : 医療情報学 25 (Suppl.), 29-30, 2005.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1 : 院外処方情報自動 FAX 送信システム導入後の患者生活圏とかかりつけ薬局の相関関係 : 田中武志, 津久間秀彦, 岩田則和, 野村祐仁, 片山文善, 石川澄 : 第 25 回医療情報学連合大会 (横浜), 2005.
- 2 : 患者参画型病院の実現を支援する患者用コンテンツの利用状況の評価 : 津久間秀彦, 坂田香代, 河村 明江, 田中武志, 岩田則和, 石川澄 : 第 25 回医療情報学連合大会 (横浜), 2005.
- 3 : 患者参画型病院の実現を支援する患者用コンテンツの開発 : 津久間秀彦, 河村明江, 坂田香代, 田中武志, 池本かづみ, 池田俊貴, 藤井輝久, 伊藤義広, 藤井園子, 岡壽子, 中村文子, 藤井雄一, 森一朗, 伊藤嘉郎, 江上かおり, 石川澄 : 第 25 回医療情報学連合大会 (横浜), 2005.
- 4 : 診療看護過程支援システム活用の効果—看護師を対象としたアンケート結果の分析— : 坂田香代, 河村明江, 杉村美由紀, 吉川文花, 才野原照子, 津久間秀彦, 田中武志, 香西克之, 石川澄 : 第 25 回医療情報学連合大会 (横浜), 2005.
- 5 : 看護実践用語<看護行為編>の有効性と活用方法の評価—使用一年半後の活用実態調査の分析— : 河村明江, 坂田香代, 杉村美由紀, 吉川文花, 才野原照子, 津久間秀彦, 田中武志, 香西克之, 石川澄 : 第 25 回医療情報学連合大会 (横浜), 2005.
- 6 : 注射指示安全確認システム稼動 5 ヶ月後の注射業務の安全性の評価—システムログと看護師へのアンケート結果の分析— : 小谷早苗, 河村明江, 坂田香代, 杉村美由紀, 西中カフミ, 吉川文花, 才野原照子, 津久間秀彦, 田中武志, 香西克之, 石川澄 : 第 25 回医療情報学連合大会 (横浜), 2005.
- 7 : 医療安全と業務効率に対する電子化医療記録の効果 : 坂田香代, 石川澄, 河村明江, 杉村美由紀, 吉川文花, 才野原照子, 津久間秀彦, 田中武志 : 第 25 回医療情報学連合大会 (横浜), 2005.
- 8 : The Automatic Facsimile Sending System of Prescription Information to Pharmacies outside the hospital : T Tanaka, H Tsukuma, N Iwata, N Morimoto, H Amano, Y Nomura, F Katayama, N Noda, K Ishikawa : e-Government & e-Health 2<sup>nd</sup> International conference & Exhibition (Desio, Italy), 2005.
- 9 : The Healthcare Navigation System to assure the Safety Management and Patient Participatory Health Care Support ~ To confirm the patients right and team practice : K

Ishikawa, H Tsukuma, N Konishi, A Kawamura, K Sakata, N Iwata, T Tanaka : e-Government & e-Health 2<sup>nd</sup> International conference & Exhibition (Desio, Italy) , 2005.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

2005年度

広島大学大学院医歯薬学総合研究科・歯学部附属病院  
〒734-8553 広島市南区霞一丁目2番3号  
電話：(082) 257-5555  
編集：広島大学歯学部紹介小冊子作成委員